夕刊
滿洲日報
十二月十八日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

露支の和平正式會議は哈爾賓で開催に決定
委員は東鐵の理事會を以てす
豫備交渉圓滿に進捗

【ハルビン特電十八日發】續行中の露支ハバロフスク會議は十六日新にロシア側はメリニコフ氏を全權委員として加入し支那における勞農領事館及び國營貿易機關の復活問題を討議し蔡全權と交渉を進めたが五月支那軍憲の武力的高壓手段により露國領事館の検擧、家宅搜索を行ひたるは一國政府の代表機關を侮辱するものであるに鑑み將來斯かる暴擧に出ぬやう根本的に排除する意味からロシアは兩國は双務的に兩國領事館の絶對權を尊重すべきである事を要求した、尚東支問題及び其他の正式會議は場所を哈爾賓とし委員は東鐵理事會を以てする事を支那側より提案し交渉は圓滿に進行してゐると

露支兩代表は來廿日着哈

【ハルビン特電十八日發】二十日歸哈の豫定である蔡全權のため東支管理局は六輛編成の貴賓車をポグラに派遣した、露國代表も來哈する由

海拉爾邦人の安否
滿洲里以上に懸念さる

【ハルビン特電十八日發】國際列車の滿洲里行を阻止された一行は支那側の無誠意に憤慨し歸哈する事になつたが海拉爾に於る米國系チャイナツーリスインダストリアルバンクの露國人支配人が露支交戰のドサクサに掠奪をうけ一名慘死し銀行は掠奪されたとの報あり、其他實情を調査する必要あり支那軍の故意に阻止する態度に米代表は憤慨してゐる、海拉爾の狀況は先月廿三日から一切不明で邦人は食料、燃料等を如何にしつゝあるかと滿洲里以上に不安がられてゐる

露軍政下の滿洲里
平穩なるも物價は二倍に暴騰
田中領事の報告内容

【ハルビン特電十七日發】滿洲里の狀況につき出中同地領事から當地日本官邊は今回左の如く詳細な報告に接した

去る十七日滿洲里の支那側代表は田中領事を訪ひ札來諾爾は勞農軍に占領され、海拉爾の撤退も急なく支那軍一部撤退中なれば勞農軍との

調停に立つて欲しい、勞農軍が入市すれば武裝を解除し市内の秩序を依頼すとあり、日本側で三名の委員を設け藤野書記生を派遣し支那側軍司令部員と共に十八日國境八六鐵道に向はしめ勞農軍に對し

一、勞農軍は平和なる滿洲里市民に對し戰鬪行爲を中止すること
二、交渉委員の組織、會見場所、時刻を協定す
三、支那軍は武裝を解除す

の三項につき同意を認め之に對し勞農側は一は承認、二は停戰使を勞農軍に派遣することゝし交渉成立し十九日勞農の砲擊は止んだ、二十日札來諾爾の勞農軍司令部から司令官が來り、田中領事と會見し梁忠甲の支那軍三千を

武裝解除し勞農側は二千をチタに送り一千をダウリヤに駐め戰爭により破壞された個所を修理した此時一部の支那兵は掠奪放火し危險であつたが梁司令の命令で止み、日本領事館に砲彈が流れて來たのは十九日であつた、二十三日市内は全く平穩となり滿洲里の勞農軍は早くも海拉爾に前進し新たに衛戍司令部を設けられ司令官は

ロシアは戰爭を宣告するものにあらず、國境方面の支那軍が屢々平和を脅威するため之を一掃したるにある

と聲明し廿四日迄夜間通行は禁止してゐたが廿五日から八時迄許すに至りロシアの

軍政後は支那軍憲以外の者は自由に釋放しロシア人で無籍の者は露國又は支那の國籍を取得したものは二十五日露領に押送した、貧民階級勞働者に對してはコペラチーブから食料品を供給し自由商業を許し露領から引揚を希望するものは二十一日第一回送還した比較的滿洲里は破壞個所少きも札來諾爾は民家其他に支那兵が防禦陣地を作つたゝめ徹底的に破壞され炭礦は露天掘以外採炭不能である、札來諾爾の邦人九名中

婦人三名は二十一日領事館警察署員が同地に到り保護を加へた上六名を殘し滿洲里に引揚げた

目下市内の通貨は大洋票とチョルオネッツで同一の價格で流通してゐる、物價は二十日前に比較し二倍に暴騰した

滿洲に特に多い愛國の献金
取扱規則の制定が遅れて
拓務省で此頃漸やく成案

大藏省告示を以て國債償還資金の献納が許されることになつて以來、國民の誠意は各方面に現はれ殊に滿洲各地に於ては母國を離れて居る關係からか内地などに比し一層愛國的精神の發露著るしきものあり所謂「献金熱」の流行さへ見て居る。

所が大藏省では未だその献金の献納手續に就て明確な規定を得るまでに至つて居ないので目下攻究中だが何れは其内規の決定を見るだらう。◇

内規に於て先づ定めなければならぬのはその献金に對する納入收納官であるが内地ならば大藏各府縣の長官がこれを取扱ふことになるであらう。

然るに各植民に於てはこれを如何にするか、それ／＼組織も違ふし事情も違ふから一概にきめ難いこと言ふまでもないが、第一献納を許す大藏省告示そのものが内地にのみ公布されて居るもので植民地にもこれを適用されることにはなつて居ない。◇

と云ふと誰しも「ちや滿洲のやうな外國に居住してゐる者の献納は許されぬか？」と思ふかも知れぬが、まア待つた、然う早合點されては困る。この献納金──換言すれば國家に對する寄附金だから一たん許されることになつた以上内地に住まうと植民地に住まうと萬一外國に住んで居やうとも、居住場所の違ひなどで寄附が出來ぬ譯はない。

殊にそれが國民の愛國的精神の發露である以上──内地に於ける愛國的精神は受け入れるが、植民地や外國に居住して居る愛國的精神は受け容れぬ……其麼ベラ棒なことなんてあるものぢやない。◇

若し大藏省告示の適用範圍の關係で該大藏收納官は内地にのみ限るとすれば、内地の府縣、例へば東京府ならば東京府へ、一と纏めにして寄附すればよい譯だ。

東京府に寄附しても、その献金の落ち行く先は九州相良……ぢやない、結局納まる所は政府の國庫だ。◇

だから此の點で行けば献金者は必ずしも日本國民である必要はない、日本の國家の恩惠を受ける外國人、例へば在滿支那人の好意も受けてよい理窟だ。

所で實際上に於ては何うするか實は拓務省邊りでも研究し、ソンなシチ面倒臭い手續きを踏まんでも、矢張り植民地關係官を直接の收納官として受け入れるやう具體案を作り既に大藏省に照會したらしい。

故に實際問題としては案外簡單に片づけられるらしい、只お役所と云ふ所はコンな馬鹿々々しいことにも萬事氣を使はねばならぬといふ話題を茲に提供したのみだ。（東京支社の一記者）

臨時法院問題は年内に解決困難
支那側讓歩せぬ限り

【上海特電十七日發】上海臨時法院改組會議は去る九日以來南京において善後租界の會議を開いたが支那側と列國側との意見の相異甚だしく十六日の會議を最後に停頓に陥り列國代表者は同夜發列車にて當地に引揚げてしまつた支那側の消息によれば今次會議に支那側より提出した案の骨子は大要左の如きものである

一、支那の司法系統を統一するため上海臨時法院を司法行政部の管轄に移す
二、陪審觀審制を廢止す
三、司法警察と監獄を改良す

而して列國側にては右第一項に對しては何ら異議なく承諾の旨を表示したが第二項の陪審觀審制の廢止は領事裁判權に關係するところあるので極力これに反對しまた第三項に關しても、これは一種の自治機關たる上海工部局と關係あるため列國代表者としては飛躍的に意見を發表するを得ず、かくて會議は停頓するに至つたもので列國の訓令到着を待ちて十九日再び開會するはずだといはれてゐるが支那側が、その主張を替へない限り臨時法院問題は今年中には解決するには至らないであらうと觀られてゐる

第三國と關係ある問題には觸れまい
我全權と米長官會見

【ワシントン十七日發電】日本全權一行とアメリカ國務長官との會見につき、一部では若槻全權は英米均勢の問題、一萬噸巡洋艦問題等につき更に突き込んだ意見を述べ日米下交渉は相當廣い範圍に及ぶとなるだらうと考へられてゐるが確聞する處に依れば若槻・財部兩全權と國務長官との會談は第三國との關係ある問題には全然觸れない模樣である

全米國民に好感を與ふ
華府ポ紙社説

【ワシントン十七日發電】若槻全權が渡米第一聲として日本の對軍縮態度を表明したことは全米に多大の好感を與へ、十七日ワシントンポストは社説にて左の如く述べてゐる

日本全權が本國政府の意向其儘率直に述べた態度は激賞に値ひする、日本は太平洋に於けるアメリカ海軍力の如何に拘はらず其比率を保つ決心を示し且つ飽くまで軍備擴張を阻止せんとする誠意を示し其態度は確固たるものがある、アメリカ國民は一方にて一般的縮小に協力する準備と誠意を有し同時に又其國防を强硬に主張する日本國民に對し滿腔の敬意を表さゞるを得ない

日本全權に對し最大の敬意表明
米下院議長の挨拶

【ワシントン十七日發電】若槻全權一行は華府滯在第二日の本日正午過下院議長ロングワース氏を訪問したが、一行が下院に到着するやロングワース自身一行を議場に導き議事は一時中止され、議長は立つて

若槻、財部兩全權並に出淵大使に對し下院は一行を熱心に歡迎し且つ最大の敬意を表す

と述べるや滿場起立急霰の如き拍手暫し鳴りも止まず議場は和氣に滿ちた劇的光景を呈した

滿鐵明年豫算案
一兩日中に主務省へ

【東京特電十八日發】滿鐵明年度豫算認可に關して十六日は大體に於て太田長官の承認を得たが、十七日は更に細目主計主任關東廳に豫算説明材料を持參し水谷地方課長外土木、衛生、殖産、財務等關係各課に説明しかくて特記すべき事項もなく關東廳を通過することゝなつたが同廳では一兩日中直に主務省に向け認可申請書を添へ豫算案一切を送附の筈

警察官七八十名を州内外に增員配置
地方法院の新築は明年度着手
關東廳の新規事業

【東京特電十八日發】昭和四年度豫算に於て議會を通過したるも實行豫算で削減された關東州地方法院新築費は明五年度豫算に於て三ヶ年繼續費二十數萬圓中三萬圓を計上することを大藏省より認められた、又繼續事業費中關東廳通信事話改良費など認められたが、長春局實信事話改良費、旅順郵便局新築費二萬圓、工大圖書館費三萬圓は何れも次年度計上することにして削減された、警察充實費十五萬五千圓認められた結果關東廳では州内外に於て警官七、八十名の增員配置を行ふこととなる筈

鐵道會計豫算解決

【東京十八日發電】江木鐵相は十七日午後五時官邸に井上藏相を訪問し保留された二十三建設線につき協議した、五時半辭去した鐵道會計豫算は之で全部解決す

信陽奪回のため夏斗寅軍進擊中
京漢線方面の衝突

【北平十七日發電】當地に達せる情報に依れば夏斗寅軍は鐵甲車の援護に依り信陽奪回を爲すべく進擊し唐生智軍劉興五十一師と交戰中、蔣總司令、陳誠の部隊の一部は鄭時氏の命に依り夏軍の應援に向ひつゝあり又洛陽附近に在つた徐源泉、王金鈺氏は何成濬氏の命と稱し許昌に向ひ前進し平漢線唐軍の後路を遮斷せんとしたが孫殿英、龐炳勳の三軍と交戰し双方多數の死傷者を出したと

改組派の策動を警戒

【北平十七日發電】多數の改組派黨員を擁し居る北平各黨務指導委員會は聯合辦事處なる機關を組織して省黨部接收事件以來秘密に種々策動し居る爲め官憲當局は武裝巡查を增加し夜間は依然戒嚴令を布き警戒してゐる

市長不信任案と監督官廳の態度
或は監督權發動か

大風一過後に於ける石本市長、市會各派及び民政署側の意見並に情報を綜合すれば大略次の如きものである、即ち先づ市長は既報の

聲明書に明かなるが如く辭意更になく所信を貫くと稱してゐる、市長排擊の市會側では市長の愛市と道義觀念に一縷の望みを囑してゐたが事態茲に至つた以上飽くまで大連市民のため、市政擁護のため石本市長排職運動を進めて目的を貫徹すべく腹を固め、一方民政署としては市會の經過を

重大視し愼重に之が成行を注視してゐることいふまでもない、既に紛糾が表面化したのであるから其成行次第では一乎たる監督權を行使することになるであらうが、目下のところ直に積極的に發動する理由を認めてゐない模樣である

露字紙記者一行大連埠頭を視察
けふ、滿鐵の案内で

十七日來連した在哈露字新聞記者ザリヤ社ウフトモスキー氏外三氏は十八日午後一時繁忙期の大連埠頭を視察すべく滿鐵差廻しの自動車で來り先づ埠頭ビル屋上において關根船舶長、合田機械係長、紅野案内係員等より現在における埠頭の施設及び荷役狀況、特に保管能力等に關し詳細に說明を與へた上小蒸汽車天丸にて港内を一巡し寺兒溝棧橋に上陸豆油重油タンクを見學し次いで新設の數類乾燥場の說明を聞きヤマトホテルに引揚げた、尚十九日も午前九時より到着貨車、荷卸狀況保管狀況カーダンバー、三十一、三十二倉庫の豆粕混保狀況、十號倉庫、船客待合所六號倉庫並に岸壁荷役狀況を視察し最後に第四埠頭の特定ベースを見學すると

旅大視察日程

十七日夜來連した露字新聞記者團一行四名は十八日午前鐵道部を訪問後大藏、小日山兩理事に會見挨拶をなし涉外課員の案内で市内を見物したが午後一時より四時頃まで埠頭設備を見學する豫定、尚十九日も午前中埠頭を視察する豫定であるが午後は福昌華工會社の寺兒溝苦力宿舍、中央試驗所、沙河口工場其の他を見學二十日自動車で旅順に赴き戰跡を視察後旅順發列車で歸途につく豫定

西國獨裁政治廢止

【マドリッド十六日發電】スペイン首相プリモ、ド、リヴエラ將軍は新聞記者に對し明年中に適當の時機に獨裁政治を廢止する意向あることを斷言した

滿鐵東鐵連絡運賃割引

滿鐵、東鐵連絡輸入貨物に對する季節運賃割引は目下兩鐵道に於て協議打ち合せ中なるが前年の例により割引は多分十七、八日頃より實施されやう、該割引は例年翌期までのものであるが本年は其後のものにも適用されることゝなつた、因に主要取扱區間は
▲米沙子──五家間各驛着及哈爾賓管區各驛着
▲米沙子──双城堡間各驛着
▲米沙子──三岔河各驛着
間小口扱、貨車扱とも同様であるが主として日用雜貨品に限定されてゐる

拓務懇談會特別委員

【東京十八日發電】十七日の拓務懇談會に於て松田拓相は各諸問題に關し特別委員を指名したが、諸問題第一號案は左の如し

朝鮮、臺灣、樺太、關東州及び南洋群島における重要產業に關し施設改善を必要とする事項如何

右委員左の如し

宮尾舜治、藤原銀次郎、棚瀨軍之佐、東鄉實、阪谷芳郎、水野錬太郎、下村宏、鵜澤宇八、牧山耕藏外七名

米穀調査委員會

【東京十八日發電】米穀調査會特別委員會は十七日午後一時半より首相官邸に於て開かれ米價基準案を議題として審議したが、物價指數を標準とすべしとの案と生產費及び生計費を標準とすべしとの案と一般物價に米價趨勢を加味して基準を設定すとの三案につき討議したが容易に決定せず其儘四時散會、次回は二十日開會し農業倉庫獎勵案、低利資金融通案、特別會計決損金補填案を審議するはずである

八千代生命整理案

【東京十八日發電】商工省は八千代生命問題につき十七日商相官邸に省議を開き契約金額切下げは二割と決定し、未拂込み三百八十萬圓は理論上徵收するが徵收不能の分は之を切捨ることに決定した

荻川放談　商賈（其四）（134）

支那人の話は續いて、曰く、支那人側は日本人側からする滿鐵石炭値下の叫びが高いので、これはまつぽと儲けて居るものと思ひしに、さて今度の値下を觀ると餘りに少額、而も工業家に對する特別割引までを止めるくらゐにしての此値下からすると、最早これ以上の値下も出來ぬらしく、さすれば滿鐵は、日本人側がいふほど、炭價で人々の生活を脅かしては居らなんだのである、併し其値下額を積れば百五十萬圓にもなると云ふ、これは大きい、こゝじや、若しやつたら、此問題を世間に出さぬ。◇

それで支那人なぞに、滿鐵暴利などを思はすやうなことをせぬ、そつと滿鐵に談判して、其百五十萬圓を懷には入れぬが、斯くまつたものを、何か日本人發展の途に使ふのである、支那人として斯んなことを云へば、莫迦と笑はらるゝに違はぬが、吓は俺が支那人から日本人に位地を換へてのこと、併し日本人は正直である、潔癖である、それに日本標榜しある滿洲での日支共榮共存を徹底させんとしては、そんな芸事は出來ぬ、こゝが我々支那人の有難いとこで、日本人からしての些々たる炭價値下も、日本人に比べて生活の程度低き支那人には、福音である、これでまた日本人との一競爭が出來ますわい。◇

支那人の言ひ草は、滿鐵の炭價値下を、褒めるのか腐すのか判らぬが、その判らぬ裡に面白味を感ずるではないか、詰まるところ外に出て、内輪同志の揉め合ひは、損こそあれ得はなく、其得をば他に奪はるゝ恐れがある、そこで筆を再び、昨今の滿鐵消費組合問題に戻すが、既に述べし如く、滿鐵消費組合にも改革の餘地があらう、滿鐵社員にも此點へ反省を求めたい、されぱと云つて、小賣商側がいつもの調子で、滿鐵消費組合、それは滿鐵のことじやと、攻擊の矛先をたゞそれに向くばかりが能じやあるまい。◇

押寄せ來る時代の趨勢と、内輪喧嘩に漁夫の利得を收めんとする第三者とは、支那人ばかりじやない、旺盛なる滿洲の發展には、外商の眼までが光つて來た、此邊にも充分な考慮を拂ふて、我小賣商の覺醒こそ大切である、聞けば在滿我商工會議所が、其邊に一肌脫ぐことになつたとか、然らば此一肌脫ぐうえに、滿鐵、滿鐵消費組合を目標にするなと云はぬが、こゝ最後に述べたところに思ひを寄せ、啻小賣のことのみならんや、延いては滿洲に於ける我商權の保持確立、發展につき盡瘁するあらんことを希ふ。

人事

十八日
▲遠藤繁清氏（理學博士）出帆香港丸にて内地へ
▲高橋是孝氏（商工省官吏）同上
▲白川友一氏（實業家）同上
▲原田猪八郎氏（同）同上
▲日本國民高等學校生徒一行二十三名　野々山彥猛氏に引率され同上
▲松永傳事氏（大津丸事務長）十八日出帆大連丸にて青島へ

大觀小觀

陸軍部内の猛運動も甲斐なく、前朝鮮總督陸軍大將山梨半造閣下朝鮮疑獄事件で遂に起訴さる。◇

時も時、日を同じうして前文相小橋一太氏は越後鐵道事件で愈々檢事局に召喚取調を受けた。◇

植民地の統治主腦者や文教の最高府にある者にしてこの忌まはしき疑獄事件を見るは歷代不祥事の極。◇

自國軍の非違を蔽はんがために國際列車の運行を阻止する支那軍が、住民に爆彈飛機の襲擊をされたのは當然。◇

治外法權撤廢が遲れる原因が、支那自體に存すること、之でも判る。◇

露支正式會議、愈々ハルビンで開くに決定、交渉の圓滿成立を望む。

天氣豫報

十九日（西の風）晴れ

	昨日最低	十一時
大連	零下一一、九	零下一〇、六
旅順	同一〇、七	同一八、四
營口	同一七、八	同一二、五
奉天	同二一、一	同一五、五
長春	同二〇、三	同一六、七

前文部大臣小橋一太氏 今朝遂ひに召喚さる
警視廳刑事と同行し檢事局へ
越鐵事件の收賄嫌疑

【東京十八日發電至急報】豫て病氣の理由で東京檢事局の召喚に應じなかつた小橋前文相は十八日朝七時五十分拘引狀を發せられ警視廳刑事と同行檢事局に連行直に石郷岡檢事の取調が開始されたが、右は越後鐵道事件て佐竹三吾氏を通じ二萬圓を收受したる嫌疑に因るものである

山梨前總督を繞る 詐欺收賄瀆職事件
道廳移轉と取引所運動が中心
けふ記事解禁さる

【東京十八日發電】所謂朝鮮事件として大田道廳移轉問題釜山取引所事件に關し山梨前總督を中心として總督府囑託尾間立顯京城の有力者大村百藏谷野滿藏等の詐僞收賄瀆職事件は新聞記者の恐喝事件に端を發して昭和四年六月檢擧引續き審理中の處事件は次から次と芋蔓的に發展遂に山梨大將の身邊に累を及ぼすに至り當局は朝鮮統治上重大關係ありとして新聞記事の掲載を禁止し審理を進めつゝあつたが、山梨大將は陸軍首腦部の勸告たる一切の位記を返上して謹愼する模樣もなく濱口首相は十七日渡邊法相宇垣陸相と長時間に亘り凝議の結果遂に起訴手續を執る事となり本日午前十一時に御裁可を仰ぎ一切の手續を終り本日午後三時記事の解禁を行ふ事となつた

取引所新設の運動費 金五萬圓を受取る
事件は東京に移し取調

【東京十八日發電】事件發覺と同時に東京地方裁判所よりは北條檢事が京城に出張各種事件につき嚴然なる取り調べを行ひ中心人物たる

肥田理吉 を京城より東京地方裁判所に護送審理を續行したる結果、山梨大將の瀆職嫌疑は漸く濃厚となり數次に亘つて司法首腦部會議を重ね十一月二十日遂に任意出頭の形式を以つて鎌倉の別邸より東京地方裁判所に召喚し北條檢事が取り調べたる上更に秋山豫審判事に依つて朝鮮内地の詐欺事件（被告肥田理吉）の證人として取り調べを行ひ歸宅を許し二十二日再び召喚訊問をなしたのであるが

その結果 昨年十二月中四谷大番町の自邸に於て川崎商事會社々長川崎德之助氏より金五萬圓を收受した事は自白したが取引所新設等の事につき便宜を與ふる内諾の下に收受したものではなく政治的の意味合ひから寄附的に融通を受けたもので、後日に至つて肥田の策動があつて右の如き不純な金だと知つたから之れを突き返したと述べ此の日も歸宅を許されてゐたが、取調べの進捗と共に當日川崎德之助氏より取引所問題には一言も觸れなかつたが

同席して ゐた肥田氏は露骨に金錢贈與の意味を取引所設置に關する運動金なる旨を云つた事判明するに至り檢事局に於ては直ちに起訴する意嚮であつたが、政府部内に於ては山梨大將が一切の位記を返上して謹愼の意を表すれば事件は朝鮮統治上にも重大なる影響あり不起訴とする意見を有し陸軍首腦部より種々勸告する處あつたが大將は此の勸告に對して何等誠意なく遂に起訴を決するに至つた、此の間十一月二十一日辯護士大井靜雄ブローカー後藤長等、波津久劍の三名を

召喚して 何れも肥田と共に策動した事實明瞭となつたので直ちに瀆職並びに詐欺罪として起訴收容するに至つた

關係者氏名

山梨半造 前朝鮮總督 陸軍大將（起訴決定一兩日中御裁可を仰ぐ筈）

肥田理吉 （十一月十二日京城地方法院より東京檢事局に護送、同日市ケ谷刑務所に收容「瀆職罪」として起訴）

川崎德之助 日本橋、川崎商事會社々長（十一月廿三日不拘束のまゝ「贈賄瀆職罪」として起訴）

川崎謙三 德之助の嗣子（父と同樣の罪にて不拘束のまゝ十一月二十三日起訴）

大井靜雄 府下大久保百人町三十一番地、辯護士（十一月二十一日收容「詐欺並びに瀆職幇助罪」として起訴）

後藤長榮 府下蒲田町北蒲田五八八番地（十一月二十一日收容「同上」起訴）

波津久劍 第二復興局疑獄で服役中（十一月二十二日「同上」起訴）

大村百藏 京城府元町一丁目七八（本籍福井縣福井市佐佳枝上町四〇）元京畿道評議員、會社員

谷野滿藏 京城府太平通二丁目二三六（本籍鳥取縣西伯郡高麗村）會社員

尾間立顯 （本籍東京市赤坂區青山原宿）元總督府囑託、無職

瀆職罪として 山梨氏起訴
けふ上奏し御裁可

【東京至急報十八日發】濱口總理は十八日午前十一時館内閣書記官の手で山梨前朝鮮總督起訴の上奏手續をとり御裁可を得た東京檢事局では直に同氏を瀆職罪で起訴した

平渡氏と對質訊問
宮田氏大阪檢事局出頭

【大阪十七日發電】和歌山縣廳新設問題に絡まり平渡信氏より七萬八千圓の金を受け取り問題の渦中に捲き込まれて金は引き出したもの、警視總監の要職を棒に振つた元警視總監宮田光雄氏は起訴か不起訴か各方面から注目されてゐたが、十七日午前九時大阪着の列車にて密かに來阪した宮田氏は直ちに大阪檢事局に出頭夕刻に至るまで長時間の取調べを受けた、同氏は嚴に取り調べられたる際も右の七萬八千圓は全く運動資金等とは思はず單なる政黨への寄附として受け取つたものだと抗辯し續けて居り目下豫審中の平渡信氏と對質訊問の上起訴不起訴の決定が與へられる模樣である

熊本縣下の 堤防決潰
被害莫大

【熊本十八日發電】八代郡金剛村明治新田の堤防は十六日朝十時の滿潮時ごろより決潰し始め十一時に至り四十間破壞し海水は新田内に浸入したので村民は命からぐ避難し浸水家屋五十戸、田畑四百町歩に及んだが、十七日朝滿潮時には十六日よりも三尺高く浸水家屋は三十戸を増し、何れも屋根だけが浮び居る有樣で倒壞流失家屋數あり牛馬鷄豚は流され村民は着のみ着のまゝで避難するなど慘狀目も當てられず、殊に測候所にては十七日暴風警報を發したので日奈久警察署では青年團在鄕軍人消防の總動員を行ひ警戒に努めてゐる、なほ大坪川尻の樋門は破られ金剛村敷川の田畑は浸水し金剛、日奈久沿岸は大混亂を呈した

歐洲遠征の 愈よ壯途に上る
來る廿五日奉天出發
醫大アイスホッケー部選手

【奉天特電十八日發】滿洲醫大アイスホッケー部選手一行は十川教授に引率され愈々二十五日花々しく歐洲遠征の途につく事になつたが、本年始めて日本から遠征の途に上る重大な責任があるだけに各選手の意氣込み物凄く毎日朝夕の二回に亘り猛練習を續けてゐる、既に準備も萬端整つたので十六日午後四時から體育館に於て選手一行の前途の成功を祈れる壯烈な送別會が開かれた、猶旅行日程と試合日程は左の如く決定した

旅行日程 ▲十二月廿五日十五時三十分發安奉線急行で出發▲同廿六日釜山着▲同廿七日下關發▲同日京都着▲同廿八日敦賀出帆▲同卅日浦鹽斯德着▲同卅一日浦鹽斯德發ウスリー線經由赴歐▲一月十二日伯林着▲同二十二日瑞西着▲同廿五日佛國シャモニー着▲二月三日パリー着▲同六日倫敦着▲同十一日伯林着▲同十三日歸國の途に着く（西比利亞線經由）▲三月三日六時廿分歸奉

試合日程 一月十二日より伯林において伯林學生チーム並に伯林倶樂部その他二、三のチームと試合▲同廿二日より瑞西に於てインターナシヨナル倶樂部その他歐洲各地より來れるチームと試合▲同廿五日よりシヤモニーに於て全歐洲スケート選手權大會でカナダ、トロント大學チームと試合▲二月三日よりパリーに於て倶樂部チームと試合▲同六日より倫敦に於てオクスフオード及びケンブリッヂ兩大學並に倫敦倶樂部チームと試合▲同九日より伯林にて練習見學

年賀郵便の 差出しに注意
取扱ひは二十日から

大連郵便局では例年の通り本年もこの二十日から二十九日まで年賀郵便特別取扱を開始するが、昨年から取扱種別が第一種郵便物（書狀）第二種郵便物（葉書）第四種郵便物の内名刺の三種類に限定されたから從前の樣にカレンダー類の嵩高郵便物は取扱はない、殊に名刺入小形開封ものは取扱上不便なばかりでなく往々間違ひが多いから出來るだけ避けられ度いと局では希望してゐる、また差出しに際し少數の時は封筒に納め、多數の場合は別途配布の「年賀郵便特別取扱」の宣傳ビラを使用するか又は表面に成る丈け「年賀郵便」と朱書し結束の上差出すがよろしいとのことである

尚ほ十二月三十一日から一月五日迄は一般郵便物が非常に輻湊するから内地及び朝鮮行の通常郵便書は幾分遲延するから急ぐ通信は封書（四匁毎に三錢）又は封緘はがきを用ゆる方が便利で肩書は詳しく書かれたしと

ラ式争覇戰へ
醫大奉中出場

全滿インターカレッヂラグビー選手權大會の覇者奉天醫大豫科及び中等學校の優勝校奉天中學兩チームは來春早々花園（前者）及び甲子園（後者）グラウンドで擧行される全日本專門學校及中等學校優勝ラグビー蹴球大會に出場する事となり、醫大チーム一行二十五名は二十七日大連出帆の定期船で内地に遠征する事に決定した、また奉中は三十日に出發の豫定

大連航空線 急行便
四月から開始

【東京十八日發電】日本航空輸送會社の東京、京城、大連間の航空路は早朝東京を出發した乘客は其の日福岡に一泊し翌日でなければ京城に行けず、又大連を早朝に出發すれば同じく福岡に泊つて翌日でなければ内地に行けぬ有樣にあるが、此の不便を除くため新に急行便を開始し明年四月より福岡に一泊せずに東京、京城間は約九時間、大連、福岡間約七時間で直行するやうにされることゝなつた急行便の回數は一週一回とする計畫であるが都合に依つては當分上下の内一線だけにとゞめるやも知れぬと

共産黨の公判 明春に延期
二月頃から再開續行の豫定
被告五名が保釋出獄

滿洲共産黨事件公判第六日目は愈々十八日午前十時より證據調に移る筈のところ昨日來風邪の爲發熱を押し出廷してゐた川畑陪席判官は本日遂に缺席したため公判を延期し證據調べ及び辯論は來春二月頃再開續行する豫定である、尚未決收容中の五被告は夫々保釋金五十圓を納め十八日保釋出獄を許された

松田豐市内八幡町二古賀辯護士方△伊藤進止郎同△田中輝男市内伏見町十四番地三の二迫喜平次方△廣瀨猛市内聖德街二百一九七立川辯護士方△小林周三同

ダグ夫妻が 撮影所へ
けふ奈良見物

【京都十七日發電】京洛に於て沸き返る歡迎を受けてゐるダグ夫妻は午後三時から各撮影所を訪問した先づ日活では山本嘉一、大河内傳次郎、酒井米子、夏川靜江等のスターと握手を交し太刀を拔いて振り翳す等愛嬌を振り撒き次で阪妻を訪ひ妻三郎から「波平行安」の銘刀を贈られ更に牧野東亞を訪ひメリーは「皆さん左樣なら」と日本語で別れを告げ更に松竹の下加茂撮影所を訪れダグは鐵扇と陣笠メリーは友禪の振袖を贈られ子供の樣に喜び夕闇迫る頃物凄い人波を分けてホテルに歸つた尚明日は奈良に向ひ夕方大阪放送局からファンに向つてラジオで挨拶をなす筈である

靜岡高校の 同盟休校
試驗延期から

【靜岡十八日發電】靜岡高等學校では選手制度廢止問題につき學校當局と生徒間に十餘日に亘り睨み合ひを續けてゐたが、堀校長の同制度廢止撤回と云ふ事で解決を告げたが、生徒側は右事件の爲め試驗準備をしなかつたから試驗を來春一月迄延期され度いと陳情したが校長は之を拒絶したので全生徒六百名は十七日午後六時全生徒大會を開き十八日より同盟休校を爲すことを決議した

雪で滑つて落命
けさ檢番の車夫が浪速町で

十八日午前十時頃市内美濃町大連檢番方車夫李元貴（三〇）は藝妓を乘せ浪速町伊勢町角に差蒐りたる際昨日來の寒氣の爲め凍結した路上に足を滑らし轉倒したが腦震盪を起し人事不省に陷つたので直ちに小崗子宏濟病院に擔ぎ込み手當を加へたが死亡した

天滿屋ビル 近く許可
救助袋を用意

先月末既に竣工したが設備不完全のため營業を許可されぬ市内常盤橋際天滿屋ホテルに關しては十七日午後大連署原田保安主任現場に赴き實地調査したが、營業者側の懇請に依り來春解氷期を待つて非常梯子を取り附ける事を條件とし取敢ず救命袋を用意せしめて數日中に營業許可する事に決した

雪に埋つた郊外の支那部落

市外電話線 殆んど全通
市内線に故障

電信電話の復舊狀況は既に電信は殆ど全線復舊し瓦房店と普蘭店以遠も本日中には全通の見込である、市外電話も殆ど全通し最早一般の利用上別段支障なきに至つた、近距離線も開城市線を除き全部回復した

然るに大連市内線は昨十七日の寒氣のため俄かに故障續出し今朝約百回線の障碍を有する狀況であるが目下應急修理のため別に市内班を組織し極力復舊工事を急いでゐるので間もなく回復するものと見られてゐる

岸上博士遺骸
十九日上海着

【上海十七日發電】長江魚類調査中四川省成都に於て客死した岸上博士の遺骸は十九日日清汽船大古丸で當地着の筈であるが、當地では重光總領事發起で二十日告別式を行ひ遺骸は茶毘に附し博士の長男俊吉、次男多喜雄氏が二十二日發巴里丸で持ち歸ることゝなつた

支那人の凍死

十八日午前七時市内淺間町二四福昌公司新倉庫内に氏名不詳年齡二十三、三歳位の苦力態の支人が凍死してゐるのを發見取調べたところ前夜倉庫内に入り込み袋を使つて寢つた儘窒息死し更に寒氣のため凍死したものらしい

昨夜大連で 地震を觀測

昨夜七時過ぎ近來稀なる強地震あり大連測候所の觀測に依れば初期微動時は七時、七分五十八秒、初期微動繼續時間は十分四十秒、最大動廿七分十一秒に起り其全振幅は六千三百五十ミクロ、週期は五秒五、全震動は一時間五十分四十八秒、震源距離は大連より四千九百六十キロメートル東京の遙か東方三千キロメートルの海底で東京附近は相當大きく震動を感ぜられたことゝ思はれるが發震地が海底で且つ遠距離であつた爲め陸地には被害はなかつたものと觀察されると

家出人歸る

本紙夕刊既報の當時浪速ホテル止宿高畠實（二一）は東京の實母より保護方を大連署宛依頼して來た處同人は十六日外出の儘歸宅せず懸々心當りを搜査中であつたが十七日午後六時頃同ホテルにひよつこり歸宿して來たので直に大連署にては保護を加へ實母の引取りを待つてゐる

台所メモ

品名	單位		
いか	百匁	四五	三〇
たこ	同	三五	一五
ちぬ	同	四〇	二〇
かき	同	一六	一〇
なまこ	同	一三	七
にんじん	同	三	二
ごぼう	同	七	五
さと芋	同	六	四
かぶら菜	同	二	二
白菜	同	三	二
ほうれん草	同	七	四
ねぎ	同	四	三
大根	同	四	二
水菜	同	二	一
ウド	同	二〇	一一
蜜柑	同	一三	八

昭和四年を顧みて
金融界（下）
特産資金を除いては資金過剰に終る

次に手形交換高を見るに本年十一月までの最高は十一月中の三萬一千六百九十六枚金額一億五百二十一萬圓にて、最低は二月中の二萬二千五百七十三枚、金額七千百四十五萬四千圓であるが昨年各月に比し本年は一月以降枚數、金額共に著るしい増加を告げてゐることは昨年に比し

◇…資金移動の繁忙を物語る…◇

ものである、更に銀行に於ける最高は十一月中の枚數一萬一千七百七十一枚、金額六千二百三萬一千圓、最低は二月の枚數五千九百五十六枚金額三千四百六十六萬二千圓である、即ち金銀交換高共に最高は十一月最低は二月であることは、結局十一月は特産資金の移動繁忙の反映であり、二月は輸入銀税の引上げに一時輸入品の手控へが原因してゐるものと見られる即ち各月別に大連組合銀行交換高を示せば左の如くである（單位千圓）

金手形

月	枚數	金額
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

銀手形

月	枚數	金額
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

◇…組合銀行の爲替受拂高を…◇

總じて本年十一月までの受拂に就て概するに金爲替は二、五兩月を除いて昨年各月に比し受拂共に著るしく増加してをり、こゝでも資金の移動は前年より活潑であつたことを示してゐる、之れに反し銀爲替は前年各月に比し受拂共に概じて減少を示し、殊に支拂額の著減は銀相場の大暴落による支那人側の購買力減退を如實に物語る好個の資料であらう即ち各月別に金銀受拂高を示せば左の如し（單位千圓）

爲替受拂

月		受入高	支拂高
一月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
二月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
三月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
四月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
五月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
六月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
七月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
八月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
九月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]
十月	金	[illegible]	[illegible]
	銀	[illegible]	[illegible]

以上昭和四年に於ける金融事情を概説したに止まるが、要するに本年は上半期と

◇…下半期との事情に稍變化…◇

あるといへど財界は未だ議戰の整理期を脱せずして新規事業の勃興を見るに至らず特産資金を除いては金融界は依然資金過剰と放資難に終始した、而して新たに迎へんとする財界の前途には金解禁てふ重大問題が横たはつてをり、なほ波瀾に富める難局に遭遇するものと見られる（完）

奉天商議が大連商議と提携
先づ野添書記長來連打合
全滿的に擴がらんとする消費組合對抗運動

滿鐵社員消費組合問題の烽火が大連商議の手に移つてから沿線各地商工會議所に於ても大いに刺戟されるところあり、各地呼應して漸次氣勢を高めつゝあるが奉天商議書記長野添孝生氏は十八日來連、大連商議理事者を訪問し之が

連絡打合 せをなすところあつた、この結果沿線における消費組合の市中商人に對する壓迫は一層甚だしきもあり社會問題的見地から解決すべき事態の急務に迫られてゐることが判明したので聯絡提携の下に起つことに一決し各地商議にも檄を飛ばすことゝなる模樣である、この結果必然的に全滿商議聯合會を

開催する ことになるであらうが、聯合會開催には相當の時日を要するので之を簡略して各地商議協議會の如きものを近く大連に於て開き大々的運動を起すべく下相談が行はれてゐる

奥地に入る程打撃は大きい
最早や默過出來ぬ
◇…野添書記長語る

右に就き沿線の情況につき野添奉天商議書記長は語る

消費組合存在の打撃は大連より奥地に入るほど痛ましい、奉天商議では十六、十七の兩日に亙り會合の上之が對策につき協議したが何分にも消費組合が創立主旨を沒却し、かつ特殊地域といふ事を無視して殆ど營利團體と異らざる營業をなし在滿商人を追壓しつゝある現狀に對しては最早や默々としてをられぬ、故に我々としては單なる滿鐵を相手に兎や角いふより寧ろ拓務省も出來たことであれば運動の中心を中央に移して再び斯る内輪を喧嘩海外に於て繰り返さざるやう今度こそは根本的解決を行ひたいと思つてゐる、これには一致せる全滿の輿論を喚起する必要があるので大連商議に打合せに來た次第である

同業組合の意見聽取
商業部會で對策を練る

大連商議商業部委員會では十八日午後三時から部會を開會しさきに役員會より一任された滿鐵消費組合問題につき對策案を練ることゝなつた、而して同委員會では市中各同業組合の意見を徴して大連としての一致せる輿論を作り更に沿線商議とも連絡を取つて最後的解決案を樹立すべく準備を進めてゐる

ドイツ二大電機會社の外資が喧しい論議の種
非愛國的なりと非難を喰ふ

最近ドイツの財界で喧しく論議されてゐるのは産業と外資の問題である、産業の發展に連れて企業家は資金が入用であるが、今日ドイツ國内には金がない、致し方がないから外資にするが、アメリカはドイツを絶好の投資市場と心得て金を出す、が同時に資金の力で自國勢力の扶植に努める問題は此所である。外資はよいが餘りに過度に之を入れると産業の實權が外人に移る虞れがある、ドイツ人は之れを「過度の外國化」だといふ、そして之れに對して是非の議論を昨今盛んに闘はしてゐるのである

◇

今春から今夏にかけてアメリカのゼネラル・モータース、フォード、ゼネラル・エレクトリック等が相次いでドイツの産業に侵入して來た、最近にはアメリカのインターナショナル電話電信會社がある、之にはドイツの二大電氣トラストの一たるアー・ゲー（アルゲマイネ電氣會社）が關係してゐる、アルゲマイネ電機會社（略して一般にA・E・Gと呼んでゐる）は今回資本金を二億一千萬マルクに増加すると同時に株式の十五パーセントをアメリカのゼネラル・エレクトリックに讓り渡し、數名のアメリカ人を重役會に入れた、其處へ持つて來て今度はA・E・Gが前記のインターナショナル電話電信會社と提携して新に持株會社を拵らへ其持株會社をしてシュベルト會社外二つの電話機械製造會社の株を買收せしめた、金は勿論アメリカ側から出てゐる此のA・E・Gの行動を目して非愛國的なりとし非難の聲が擧がつてゐるのである（つゞく）【在伯林塚本義】

擔保の土地、家屋を銀行から切離す
姉妹會社に移管する計畫
某銀行で既に調査

大連に於ける各銀行の土地、家屋の所有件數は夥だしき數に上り、殊に鮮銀、正隆、滿銀の各行は大家主として知られてゐるが最近銀行間に土地、家屋を管理又は經營することは、金融業者の立場から不合理であり、内地銀行といへど斯る地主と家主とを兼ねるといふが如き變態的營業をなしてゐるところは殆どなく、この意味から滿洲に於ける銀行經營に根本的改革を斷行する必要ありとの議論が擡頭して來たが、某銀行では既にこの點に鑑みるところあり、銀行の手に移つた土地、家屋の

擔保物件 はこれを全然銀行の手から切離して姉妹會社を設立して之に管理又は經營さすべく目下しきりに調査を急ぎつゝあるこの制度は既に東拓に於て採用してゐる、即ち擔保としてとつた土地家屋が東拓の手に移つた場合は直ちに之を姉妹會社たる鴻業公司に移管してゐるといふが如き制度であつて、苟くも金融業者が他の營業を兼ねるといふことは使命の上から云つても不合理であり殊に整理途上にある滿洲各銀行としては、最も必要な營業政策と云はれ各銀行でも攻究中であり各方面の注目を惹いてゐる

撫順の出炭
レコードを作る
八日は九百十六車

撫順炭の最近の出炭狀況は本年度上期中に例の南支方面の日貨排斥、内地方面の送炭制限等の影響で商談不振を來し滿鐵販賣課では山元に出炭手控へを爲さしめつゝあつたが下期（十月以降）に入ると同時に上期手控の反動と内地、南支仕向けとも活況を帶び始めた爲め昨年十二月に入つて漸く一日平均八百五十車の出炭計畫を樹てたのが本年は十月頃より八百五十車となり、爾來累增して遂に本月八日九百十六車と云ふ數字を示し撫順炭礦創業以來の出炭レコードを作つたが、販賣課では例年出炭率の著るしく低下する支那正月を前に控へて喚起となり本月下旬より九百五十車の計畫をたてるに至り目下山元と打合中であるが埠頭の荷役も天候の障害と特産輸出等が錯綜して喘調を續ぎ目下旅順二バース、大連四バースを使用して積込作業に未曾有の繁忙を呈してゐる

經濟雜叢

在外正貨が俄かに殖えた
八千萬圓から三億に
何うして出來た？

天から降つたか地から湧いたか我が國の在外正貨は何時の間にか三億圓以上に激增してゐる

◇

今は淡い思ひ出の種であるが、我が國の在外正貨は大正八年十月十八日に最高レコードに達し、實に十三億五千萬圓を超えたのである、それが其後段々と減つて、本年六、七月の頃には憐れや唯の八千萬圓ぐらゐになつてしまつた

◇

國民は銀行の預金の殘り少くなつた樣な物さびしい感じで、在外正貨の細りゆく態を眺めてゐたところが何と景氣のよい話ではないか、その在外正貨が今日では三億圓以上になつたといふのである

◇

正貨を現送したのでもなく、外國で金を借りたのでもなく、輸出品が俄に受取勘定になつたといふのでもなく、唯井上さんが大藏大臣になつた丈けで在外正貨がこんなに殖えたのである、狐につままれた樣な話で、とんと合點がゆきかねる

◇

ここに一人のサラリーマンがある、彼の月給は百圓である、そして彼の生活は一ヶ月百圓かかる彼には銀行に十圓の貯金があつたこれがいつの間にやら三十圓に殖えて居た、彼の妻君は大に喜んであれやこれやと買ひたい物を心の中で描いてゐた、ところが豈計らんや、この貯金の增加は彼の收入が增加したのではなかつた、月の中途で月給の内から二十圓前借してそれを銀行に入れて置いただけの事であつた、月末には八十圓しか貰へない、彼の收入は依然として百圓なのである、妻君の喜びは糠喜びであつた。

◇

我が國の在外正貨の激增は早くいへば右のサラリーマンの預金の樣なものではなからうか、我が國の國際收支が改善され、受取勘定が激增して在外正貨が殖えたのではない、政府が正金銀行に命じて輸出ビルを買取らせ、それで拵へた一夜作りの在外正貨である、輸出ビルといふのは我が國の對外債權である、もつと平たく言へば生絲その他の品物を外國に賣つた代金である、其の債權を政府が買取つて在外正貨としたのである、品物が餘計に賣れたのではないから對外債權その物は增加してゐないのである

◇

收入が增加したのではなく、唯金の置き場所を變へただけである何處に置いても入用の金は矢張り入用である、輸出代金の對外債權は輸入代金の債務償還に使はねばならぬ、既に使ひ途の定つてゐる金を唯暫くの間在外正貨として眺めて居るだけの事なのである、三億圓あるからと言つて喜ぶ程の事ではない

◇

今回の在外正貨激增は政府の懷から出てゐるのである、政府の金を日本銀行に預けて置く代りにアメリカの銀行に預けただけの事である、そして金解禁後在外正貨は日本銀行をして保有せしめ運轉せしめるのだといふから、アメリカの銀行に預けた政府の金は日本銀行のものとなり、日本銀行はその代金を政府預金に記入する、政府の懷から出た金はこれで又元の政府の財布に戻る譯である

◇

來年の上半期の入超期に爲替資金の必要が起つて正金銀行其他の爲替銀行が在外正貨の賣拂を受ける場合には、爲替銀行は日本で日本銀行に紙幣を以て在外正貨買取代金を納入せねばならぬ、それ故に在外正貨の減少は國内に於て同額の通貨縮小を來すものである、正貨の流出さへなければ通貨の縮小はないと思つてゐると大間違ひである、在外正貨を國内の正貨準備に入れてなくても右の如き次第で國内紙幣流通高に影響する、在外正貨は國内の紙幣流通高に關係のない別勘定の樣に考へる譯には行かない

◇

然らば井上藏相が三億圓の在外正貨を蓄積した事は無益の人爲的政策であるかといふに決してさうではない、正貨現送の機會をなるべく少くする事は最も必要な措置である、只遺憾な事は今回の如き在外正貨の蓄積が何時でも出來るといふ譯には行かない事である。（了）

黄塵

◇…歳末の株式界は全く受難時代で取引所株も示さず安値沈衰の瀬にあるがこは金解禁への不安人氣によることは言ふまでもない。

◇…それで東株市場關係者等はこれをこのまゝ放任せんかいかなる不祥事の勃發をみるやも知れぬと言ふので財界不安一掃の具體案を作成して政府に陳情するといふ。

◇…吾が大連においても證券市場は慘憺たる狀態で殊に内地以上に不振たるは金融市場の後援が全くないためである。

◇…株式好況時においては幾分放漫の貸出を敢てする銀行者の不況時に際しての緊縮振りはあまりに過酷過ぎるものがある。

◇…救濟とまで行かずとも逆潮時代には幾分か緩和的態度に出る餘裕こそ望ましきものである

東亞煙草總會

内容整理を急ぎつゝある東亞煙草會社は今なほ二百萬圓の債務を有しその爲めに今期の利益金も之が償却に充當する事となつたが同社では來る二十六日午前十時より株主總會を開き今期利益金處分案を附議する筈、尚期は無配であると

重要物産取引人組合臨時總會

大連取引所重要物産取引人組合では十九日午後三時より取引所會議室に臨時總會を開催し擔保證券受渡に關する件につい て協議する筈である

市況

特産
奥地高を移して大豆は强調

今朝の定期は大豆は奥地の堅調を移して手堅く豆粕は買氣添はざるも大豆高に案外下値淋しく鞘取り商狀を呈し豆油も强保合を辿り高粱は青島筋の買氣ありて現物上伸したが結局弱保合を示した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（車建）[illegible] ▲豆粕 ▲豆油 ▲高粱 — 各限月 寄付 高値 安値 大引 [illegible]

◇現物前場（銀建）

▲普通大豆（出來不申） ▲包米（出來不申）

◇定期喰合高（十七日帳入）（前日對比増減）

錢鈔
標金高に鈔票軟調

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十二片八分の三と（十六分の三安）先物二十二片十六分の七と（八分の一安）紐育は四十八仙四分の三と（四分の一安）孟買銀塊は五十一兩八分の一と（八分の一安）[illegible]は六十九兩八七五、[illegible]は七十一兩八五、大洋は百一圓八十錢、日米は四十九弗十六分の一と（同事）英米クロスは八十八仙三十二分の五と（三十二分の三安）米支は五十四弗八分の三と（八分の一安）上海標金は四百三十六兩四と寄り三十六兩三と止めて當市の銀價は軟調を呈してゐた

◇定期取引（單位錢）

◇現物取引（單位錢）

商品
前場

麻袋（軟調）[illegible]

株式
内地保合乍ら五品軟調

[illegible]

市場電報（十八日）

銀塊及爲替　棉花　大阪株式　東京株式　大阪期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　神戸豆粕　横濱生糸　印度麻袋

前場 / 後場（軟調）

上海爲替情報　爲替相場（正午）　上海標金

鮮銀（金勘定）　手形交換高（十八日）

奥地市況（十八日前場）

特産　▲大豆　▲高粱　▲小麥　錢鈔

平安異香 (203)

葉多默太郎作　中一彌畫

奔流（一）

淨瑠璃の辻の立札——

何か起つたことでも起つたのかと思ひ、もしや尋ね人の札ではないかとも思つて群衆の肩越しに覗くと、質白の板に、目に痛いやうな濃い墨で

大菩薩山の賊徒の張本冷泉夢之助の首級を持參したらん者には、勧賞所望にまかすべし。

治承四年八月　檢非違使廳

そして巧な似顔の圖が、立札の大半を占めて、あざやかに畫かれてゐる。

幸は思はずはつとなつた。が、人に疑はれてはと、被衣を額深く下して顔を包んだ。が、人の噂が聞きたくて、傍に立去ることは出來ない。

「持參したらん者には、勧賞所望にまかすべし、か。おい、所望にまかすべしだとよ。夢之助の素首を掻いて、黄金五百枚でもせしめるか」

「黄金五百枚、大きな話だ。だがおぬしなら黄金五百枚よりも、もつと欲しいものがあらうが」

「欲しいもの？何だな」

「所望にまかすべしだから何でもしてくれる。お姫坊と添へますやうに、一つ頑固な親父を説伏して下さりませ——どうだ、さうだらう」

「馬鹿なことをいふな。人が笑つてゐる」

つまらない話なので、左の耳へ來る話に耳をすます。

「今更、足下から鳥が立つたやうに——何かあつたのでせうかね」

「近頃、夢之助が一味徒黨を引連れて、京に潜伏してゐるといふ噂を聞きましたよ。だから……」

「さうですか。そりや大變だ。今に何か始めるでせうな」

「どうもね、さうらしい。何しろあんな男のことだから」

「しかし、お前さん、私共貧乏人は大丈夫でせうな。夢之助といふ男は、賊は賊でも大物ばかり狙ふて、弱い者いぢめはしないさうぢやありませんか」

「いや、なんでも、此度やらうといふのは物盗りやなんか、そんな小ぼけな話ではない。天下を奪らうといふ大それたことを目論んでゐるのださうですよ」

「それぢや、やつぱり源氏方ですかな」

「それは分らない。源氏の騒ぎに乘じて、火事場泥棒をやらうといふつもりかも知れません」

「それぢやどつちにしても一騒ぎですな。こりやどうも困つたことだ」

彼方の話も此方の話も大體これに似たやうな話、つまり夢之助が一生一代の大仕事をやらうとして、既に一味と共に京洛の何處かに潜んでゐるらしいといふのだつた。

聞いてゐるうちに、幸は落着かぬ心持になつた。一刻もぢつとしてゐられないやうな不安が、胸を渡うたせるのだつた。春光に取返しのつかぬ事が起りかけてゐるやうな氣がしてならない。どうでもかうでも探しあてゝ、此度こそは放したら最後、もう二度と會はれないかも知れない。それにしても何處を探せばよいのだらう——心はあせるが、足の向けやうもない。

ふとして、この群衆の中に、姿を變へて紛れ込んでゐるやうなことはあるまいかとも思はれて、つぶさに一人一人の顔を見廻したが、それらしい者は見つからなかつた。

とにかく、廻り會ふまで、歩き廻つてみるより仕方がない——

踵を返して歩き出した。

その時、群衆にまぢつてあんぐり口を開けて立札を見てゐた一人の男、手頃な木箱を肩から腋へかけ、大きな黒傘を提げた鏡磨師らしい男が、かたはらの百姓風體の小兵な男に、意味ありげな目をくれた。

同時に、百姓男は歩きだしてゐる、幸の後から附かず離れず——

映畫と演藝

浪速館のプロ　松竹映畫編入

浪速館にては既報の如く南帝國館主より松竹映畫を毎週一本づゝ配給を受けることゝなりその上映期は未定であつたが、愈々明十九日よりプロに編入することに決定し第一回は右太衛門映畫「三下野郎」を上映すると、尚經營者その他の名義一切を吉田氏に書換へるとのことである

協和會館映畫會

久し振りで滿鐵社員倶樂部主催の下に十九日午後六時半より協和會館で映畫會が催されるが、物はジヤツクロンドンの「海の狼」七卷と「大西洋横斷」八卷で會費は五十錢と三十錢會員外八十錢である

噂話

小波氏の葬儀で上京を一日延期した長大日活館主はけふの船で正月のプロ編成に内地へ▲大日活の食堂はけふから愈々開業することになつたが、日本間はまだ未完成▲浪速館を名義上經營することになつた吉田氏は館の從業員を慰勞招待して今夜館つなぎをやる▲大日活の滿日讀者慰安映畫會は連日雪の惡天候であつたが素晴らしい景氣で昨日盛況裡に終つた▲けふから寫眞替であるが既報の番組以外にダニエル嬢の「女シーク」を加へて三本立になつた▲帝國館は「江戸育ち」と「鳥邊山心中」で長二郎週間と言つたところ▲演藝館はモンテイバンクスの「無理矢理空の大統領」を上映して譯もなく笑はしてゐるが竹井昌二郎氏が解説

汽車汽船で御旅行の事は何でも御利用下さい　ジャパンツーリストビューロー　大連案内所

◇◇百面相◇◇ 滅び行く江戸寄席藝人の狂態を描いた小杉勇主演梅村蓉子助演の日活現代劇作品で如月敏の原作脚色伊奈精一の監督になる十卷物（大日活上映）

映畫案内

俄然……松竹映畫との提携なる　十九日封切　市川右太衛門主演映畫　三下野郎　中村吉松、高堂國典助演

マキノ時代劇部秋期超特作　名トリオ原作脚色…山上伊太郎　監督…マキノ正博　キヤメラ…三木稔　首の座　谷崎十郎、河津清三郎　櫻木梅子助演

マキノ御室スタヂオ　小品時代映畫　怪談　狐と狸　桂武男、市川米十郎、泉清子共演

浪速館　階下二十錢　この番組でこの料金！

時代劇週間　十六日より　江戸育　原作・脚色・監督…友成用三　林長二郎一人二役　若水絹子…助演

原作・脚色…木村不二夫　監督…悪麗之助　冷眼　市川右太衛門主演　鈴木澄子入社第一回出演　原作・脚色…藤原忠　監督…多島泰三

帝國館　十七日封切　鳥邊山心中　林長二郎主演　若水絹子、若月雀助演

市川百々之助主演映畫　◆黒駒の勝藏◆　甲斐の黒駒鬼より怖い鬼の涙も持ちやせぬ……百ちやん獨特の劍劇陣…大殺陣

帝王映畫我等の珍優モンテイバンクス氏大脱線演出　◆無理矢理空の大統領◆　ソラ、ソラ空の亂舞空中ジャズ、大空征服の大レビュー　おとぼけモンテイ得意絶頂

◆お〻母よ（原名 母性愛）◆　鷹岡林太郎、高律愛子共演

演藝館　階下三十錢　◆切抜御持參下さい一枚で三名迄通用◆

十八日より大公開　階下席五十錢　日活特作時代映畫　大鬪陣　澤川牡司、常盤操主演

パラマウント映畫社特作大喜活劇　女シーク　巨匠クラレンス・バッジャース監督　お馴染・ビーブダニエルス嬢主演　美優・リチャード・アーレン氏　素晴しいギャグとイットユーモアーの解禁大脱線

日活特作現代映畫　百面相（三朝小唄・秋内閣挿入）　原作 如月敏・監督 伊奈精一　名花 梅村蓉子　名優 杉勇　主演

亡び行く寄席藝人の末路悲惨の純日本趣味豊かなる藝術作品……暖かで衆に觀られる

大日活

十八日より公開　大東映畫提供　吾妻三郎主演　長袖の劍士　監督 山口好幸

階下 貳拾錢にて解放

現代劇　嘆きの白百合　青木紫、川島奈美子主演

團徳麿主演　首賣權三

[illegible]館

打ち解けた空氣の裡に漸く意見の接近を見る

スチムソン米國務長官とわが全權の會見

【ワシントン十七日發電】國務卿スチムソン氏と若槻、財部兩全權の會見に當てられた國務長官官邸大廣間にはファイア、プレースに赤々と薪が燃へてアメリカ側からスチムソン、モウロー、キャッスル三氏、日本側から若槻、財部兩全權、出淵大使、齋藤情報部長出席それぐ安樂椅子やソファーにより極めて打解けた空氣の裡に午後三時から二時間半に亙つて隔意なき意見の交換が行はれ午後五時半終了した、議題は補助艦七割保有問題及び一萬噸巡洋艦、潜水艦問題に就いて若槻全權より日本の主張を披瀝して諒解を求める處ありその理由及び根據に就て懇切詳細に説明すると共にアメリカ側の主張を聞き、これに對する我が國の意見を開陳した由で『制限よりも縮小』なる我が國の要望に就ては彼我の意見漸く接近せるものゝ如く、ロンドン會議の第一階梯として先づ最初の諒解を得るまでに漕ぎつけたものゝやうである、終りに近くアメリカ側臨時にジョンス少將も座に加はりスチムソン夫人自らお茶を入れて一同に饗なし和氣靄々裡に若槻全權等は辭去した、十九日午前十時より國務省にて會議を續行する筈である

若槻全權欣然語る

【ワシントン十七日發電】本日午後若槻・財部兩全權及び出淵大使はアメリカ國務卿スチムソン氏と會見したが、會見後若槻全權を訪へば上機嫌にて語る

ステートメント中に發表すること以外には一切話せぬが、スチムソン夫人手づから紅茶のもてなしをして吳れた位ゐだから察して貰ひ度い、スチムソン氏は風邪をひいてゐたが、それを押して話を進めるので先方の熱誠と其意嚮が窺はれる、內容は話せぬが滿足すべき空氣の裡に話が進んでゐる

スチムソン氏病氣の爲め同氏の私邸で行はれる事に變更された

米國務省の聲明書

【ワシントン十七日發電】本日午後國務長官スチムソン氏邸における日米豫備交渉後國務省より左のステートメントが發せられた

日本全權及びスチムソン長官は双方ともロンドン會議に關係ある海軍縮小問題の根底に横はる原則につき率直且つ友人的態度で論議を進め、若槻全權もスチムソン長官も共にロンドン會議が成功裡に終るべく、從つて日米兩國間の親善も增進すべきが海軍問題の解決は更に此の增進せる親善關係の維持に貢獻するであらうとの樂觀的希望を披瀝した

る出淵大使の公式晩餐會に列席した

大審院長訪問

若槻財部兩全權

【ワシントン十七日發電】若槻、財部兩全權は今朝出淵大使に伴はれて大審院長タフト氏を訪問した、タフト氏は兩全權の訪問を受けたタフト氏は階上に招じ入れ先年日本を訪問した時の懷舊談を爲し殊に明治大帝の御遺徳につき種々思出を語つた、尙スチムソン國務長官との會見は

我兩全權らベルモント氏訪問

【ワシントン十七日發電】本日午後スチムソン長官邸の會見を終つたのち若槻、財部兩全權、財部夫人、スチムソン氏夫妻、出淵大使夫妻等はベルリ提督の孫に當るベルリー、ベルモント氏の招待でニユー、ハムプシア街の同氏邸に赴き茶菓の饗應を受けたのち一同打揃つてメーフラワーホテルに於け

無產黨の選擧協定

日本大衆黨提唱

【東京十八日發電】來るべき總選擧に於ける無產黨の選擧協定は無產黨の進出が必須條件であるとして日本大衆黨では既に大會に於て之が提唱をなすことを決定したが十七日の同黨中央執行委員會に於て左の如く決定した

一、社民黨並に勞農黨に對しては黨本部より協定委員會設立の提唱をなし具體的交渉をなす

一、各地方無產黨に對してはそれぞれ各府縣聯合會をして交渉せしむること

右の決定に基き二十日更に常任執行委員會で審議の上各黨に交渉を開始する筈

樞府本會議

【東京十八日發電】樞密院定例本會議は十八日午前十時から宮中東溜間にて開會

一、日本國と玖馬共和國間通商航海條約改定取極に關する件

一、日本國と南米秘露共和國間通商航海條約更正に關する件

を可決し午前十時半散會した

本田彌一郎氏

民政黨で公認

【東京十八日發電】民政黨は大阪第四區再選擧に於て本田彌一郎氏を十八日公認候補として決定發表した

民政黨議長候補

賴母木、本田兩氏中推薦

院內筆頭總務には藤澤氏

【東京十八日發電】民政黨の院內總務につき十七日の總務會で銓衡を一任された富田幹事長は散會後首相官邸に濱口總理を訪問し打合せをなし首相の裁斷に依り愼重審議することゝなつたが、院內筆頭總務には賴母木桂吉、小山松壽、中村啓次郎氏等の意向あり決せぬので結局藤澤幾之輔氏に大體決定した、其場合は小山氏は院內に入り藤澤氏を助け、然らずんば來年一月の黨大會で本部總務となることになつてゐる、又藤澤氏は最初から議長候補となり居るが院內筆頭總務となれば今回だけ賴母木氏か或は本田恒之氏を議長の上推薦候補に立て藤澤氏は解散後の議長として必勝を期したが良いとの意嚮が有力となつて來た

近頃、關東廳として珍らしい大異動

課長級、民政署長、警察署長など

藤原鐵太郎氏は勇退

關東廳の人事異動は既に同廳首腦部の間に腹案成り現に發表迄の必要なる手續をとりつゝあるものと見られてゐるが、其內容は秘中の秘ながら、大體新陳代謝と內地との入換斷行の根本方針の下に、既報の學務課長藤田俱治郎、保安課長和田秀夫、奉天署長乾武の

諸氏は 內地に轉任、代つて內地から廣島縣學務部長御影池辰雄氏、松田岡山縣保安課長、田邊休職熊本縣學務課長等が來任することになつてゐるが、警務局では中谷局長が任官年限の關係上明年の夏までには勅任に陞進し得ないので、それ迄は課長の椅子を兼任する必要があり、現に高等課長を兼ねて居るが、今度は高等課長に新人物を當て、局長は保安課長を兼ねるか或は課長の

顏ぶ揃 へるために現在田中民政署長が事務取扱をしてゐる事實局長を中谷局長が兼ねるかとも云はれてゐる、本廳以外では旅順民政署の藤原鐵太郎氏が勇退するに決定した、同氏に對しては大田長官も勅任陞進の途に就いて色々配慮したらしいが、藤原氏は此際會に實業界に轉ずる決意を固めた模樣である、奉天署長の後任には現警務局衞生課長川合又一氏、衞生課長の後任には旅順民政署庶務課長增田道義氏の

呼聲が 高く、かくて課長級民政署長、警察署長等に亙り關東廳としては稀らしい程の大更迭が行はれる筈である

藤原氏の略歷

勇退に決した藤原旅順民政署長は長崎縣南松浦郡の生れ、明治四十五年東京帝大法科を出で高文試驗に合格して大正二年關東廳警視を振り出しに同六年警視、同八年關東廳警視に轉任、十年同廳事務官高等官三等に陞敍され關東廳衞生課長を經、十五年歐米を視察して歸朝直に旅順民政署長に任じ今日に至つた、明治十七年生れの今年四十六歲、なほ年齒に富み今後大に實業界での活躍を期待してゐる【寫眞は藤原氏】

張學良氏に嚴談方

奉天領事團に電請

滿洲里海拉爾の外人に餓死迫ると

哈市領事團から

【ハルビン十八日發電】滿洲里海拉爾方面の外國人救濟問題の世論喧囂を極めてゐる折柄、國際列車は目下支那軍の不誠意の爲め布哈圖に立往生し滿洲里の邦人二百名海拉爾の邦人百餘名ほか外國人の食糧燃料は僅かに二週間を支ゆるに過ぎず、この儘推移せば零下三、四十度の嚴寒のうちに餓死しなければならぬ事になるので、ハルビン領事團もこれが救濟に蹶起となり奉天領事團に對して國際列車の前進方に就いて張學良氏に嚴談され度き旨を電請した

布哈圖以西は殆ど無人の境と化す

鐵道從業員十二名のみが殘留

支那側國際團を敬遠

【ハルビン特電十八日發】布哈圖に餘儀なく十七日引返した國際列車は最初札蘭屯で二三日滯在し露支兩軍當局と折衝する覺悟で出發し布哈圖に向ひ免も角免渡河の最前線に辿り着いたが、布哈圖以西は流石に

戰時氣分 が濃厚し住民は露支人共避難し僅かに鐵道從業員が止まり二千の人口を有した免渡河は十二名の從業員が居るきりで民家は大部分軍隊に徵發され唯一つすら殘つてゐないといふ狀態で壞され慘澹たるものである、電信技師で拉海爾から避難する際車內に監禁された者あり、家族は同地に置去つた者もある、此等從業員は一行の海拉爾、滿洲里に向ふと聞いて可愛い妻子に音信を托しリストン

米副領事 の如きは旅行で持切れぬまでに依託された、彼等は一行に對しその身の上を傳へ一日も早く、滿洲里に行けば仕事があるだらうかと不安さうに語る、もの悲しい身の上を憐れみを感じた、露人從業員は今までソヴエート國籍を有し

奉馮妥協を畫策

吳光新氏近く赴奉

【奉天特電十八日發】日本內地に閑居して支那側政局の成行を凝視してゐる吳光新氏は近く來奉し張學良氏と會見の上根本的露、奉妥協策を講ずると傳へられてゐる

惠まれる遞信局現業員

正月二日間休める

警察官吏の增員は百二十五名

關東廳の新規事業

【東京特電十八日發】各特別會計豫算は二十日の閣議決定後發表される筈であるが、そのうち關東廳豫算は他の殖民地と同樣相當削減の憂目に遭ひたるも當事者の努力により一旦四年度の實行豫算で押へられたものが復活、新規要求の承認等相當多く認められ

新しい 設備も大分出來る模樣である、昨報のほか認められた新規費は遞信局現業員休暇附與費八萬圓で、これは一月に二日の休暇を許す施設である、また繼續事業費のうち國勢調査費豫算九萬餘圓その他長春局電話改良費（自働交換設備費）大連上水道第三期第二次事業費、同第四期の事業費電信電話改良費などいづれも認められた、滿鐵地方費補助二十萬圓も認めらる、なほ地方法院

對支文化事業の支那委員總辭職す

今後同事業に參加する勿れと

行政院に對し命令

【上海特電十八日發】國民政府は行政院に對し教育外交兩部をして日支東方文化事業總委員會委員柯劭忞氏等及び同上海自然科學研究會支那側委員奏汾氏等十數名の支那側委員を辭職せしめ再び同文化事業に參加せしめざるやう命令した

滿鐵明年度の豫算

事業費四千五百八十一萬圓

營業純益金は四千七百十四萬圓見當

竹中部長ゆふべ上京

滿鐵昭和五年度豫算については十八日來より神鞭理事及び竹中經理部長等が赴旅關東廳に對し説明をなしつゝあつたが十七日いよく

認可を得 たので竹中經理部長は十八日廿一時卅分大連發急行にて豫算書類を携行政府の認可を求むべく上京の途についた、豫算內容は仄聞する所によると事業費に於て本年度の四千九百七十九萬圓に比し三百九十八萬圓減の四千五百八十一萬圓、營業收支による純益は百十二萬圓增の四千七百十四萬圓見當であるが、その內譯は大要左の如くである

事業費

項目	金額
鐵道	一、七七三萬圓
工場	二八萬圓
港灣	五〇九萬圓
鑛山	一、〇七〇萬圓
製鐵所	二四六萬圓
地方施設	二三六萬圓
雜施設	二一九萬圓
豫備費	五〇〇萬圓
合計	四、五八一萬圓

營業收支

收入の部

項目	金額
鐵道收入	一三、三一九萬圓
港灣收入	一、一九八萬圓
鑛業收入	九、三二一萬圓
製油收入	三七八萬圓
製鐵收入	一、一八六萬圓
地方收入	四五五萬圓
利息收入	六〇五萬圓
雜益	一一七萬圓
合計	二六、五七九萬圓

支出の部

項目	金額
鐵道經費	五、一〇三萬圓
港灣	九六五萬圓
鑛業	八、〇一五萬圓
製油	三九〇萬圓
製鐵	一、〇四七萬圓
地方	二、一四一萬圓
總體費	一、四七五萬圓
支拂利息	二、二二六萬圓
雜損	二七二萬圓
社債差額償補金	一三一萬圓
豫備費	一〇〇萬圓
合計	二一、八六五萬圓
差引純益金	四、七一四萬圓

尙事業費に於て本年度より約四百萬圓減を見たのは政府の緊縮政策を加味されたことゝ、金解禁豫想による物價安からであつて

物價安に よる削減は地方施設に於て六分減その他は大體七分減を見たものである

檢查委員會立會ひ瀨谷助役より拒絕

意見書は違法なりとの確信を得

案外强硬な市當局

十六日の大連市會で選定された檢查委員會は十八日午後二時半より市長室にて開かれ「市制第十一條第二項に基き本日より檢查するので同施行規則第三十五條に依り檢查の執務者……」との承認し從いから立會員立會相成度」旨文書を以て請求した、市當局では市長が赴旅中のため瀨谷助役より

市長の 意志なりとして口頭を以て「檢查委員會は違法に成員を指名する要なし」と拒絕した因つて委員會では、協議の結果第二段の方策として、規則を研究した上で部分的檢查が出來ればこの檢查を執行することゝし、若しこれが出來なければ監督官廳の指揮

市規則

に照し文會は一兩日後行はれ市當局が右の如く强硬なる理由を推測するに、……意見書提出は違法なりや、意見書提出問題に關するものに……

意見を

述べた……

小マクドナルド君の批評

滿洲の將來

太平洋調査會の反響

（五）……保々隆矣

京都會議に出席せる外人中に特に人の眼をひき、大もてに、もてた一人は現英首相マクドナルド氏の令嬢であつた。親爺の光もあるが又現在下院議員であるロンドン市會議員でもあり若くて、明るい人であるからである。不肖でない此子の父は恰もチャタムが子のピットを讀へたる樣に此親爺は此日英國の大宰相にでも仕立つる考からか、其小手調べにとて日本見物をかねて此小國際會議にヘルシャム卿と共に出席せしめた。言ふ迄もなくヘ氏は保守黨の一方の首腦であり、前內閣の一員で上院議長でもあつたので、小マック君とは反對黨であるこれが日本ならば平家の公達が源氏の大將と同道する譯で六ケ敷い皮肉ばかりであらうがそこが英國政界のフェアな點で、佐原君の話によると二人は極めて仲好しで何時でもキャッくと言つて居る、小マ君は京都の有志から毎日招かれて、秋の紅葉に旅の疲れを慰しゲイシャガールの美しい且つ不思議な服裝を面白くも奇しくも感じ喜んで居た或る夜の事日本人から盃器の立派な盃を貰つて嬉しくなつた、彼の滿座の中に立上つた英米人一流のウイツトのスピーチである

僕は此立派な盃を親切な一日本人からもらつた、これを親爺への土產にする考へだが、親爺はさぞ喜ぶだらう……いやくこれを持ちかへる時分には、政權は反對黨に移つて居るかも知れぬ、すると切角の此盃で飮むあの親爺の顏は一層輝かぬものが映るかも知れぬ……

と一場にヒヤくと興りにヘシャム卿白髮頭がある、……

……

滿洲問題に關しては自分の意見は差控へるが、只一言すれば僅々廿四時間滿洲に滯在して感じたのは世界の如何なる地方よりも戰爭氣分一諸事が不滿の情態に置かれてあることゝである。

余は太平洋調査會の非常なる信者である、かゝる會の精神が廣がり各方面に亙り諒解が出來れば地上より戰爭を除去することが出來るのである。

……反之、支那側は奉天の暗殺（張作霖事件）や、滿洲に於ける治外法權に對する批難や、日本が滿洲で經濟的のみならず政治的野心を有して居ることを怖れて居ることゝやを訴へて居つた。双方とも能く論じては居たが、双方とも對手方の言分に多少は何か感じた點が在つた樣であつた。

……防止能力なきことを極めて見事に論じた

土露兩國の調印成る

條約更新議定書

【コンスタンチノープル電】一千九百二十五年ウエートロシア間の中立條約を更新する議定書…

滿鐵衞生課庶務係主任後任

鳥井重…氏に

露紙記者團ゆふべ招待

高柳本社長

數週主義

學校教員資格問題

はいかる丸

定期後場

現物後場

後場

大阪株式

東京株式

大阪綿糸

大阪期米

神戶特產

滿洲日報

議會は解散か
無產黨と新政黨

議晩匆忙の折柄、帝國議會は例の如く開院式を擧げるのだが、實際の政治シーズンに入るのは來年一月末頃からであらう。解散斷行か、解散されたら何うなる乎、民政黨が全勝する乎、政友會はどんな風になる乎、一切の疑問を乘せて本年は暮れるのである。斯うした政治上の疑問は、來年になれば自ら解るであらうが、こゝに吾等の注意を惹起する一事は、無產政黨の現狀と新政黨の芽生え來つた事である。これ等の政治的新興勢力が議會政治のうへに實際的威力を示し來るのは、前途尙ほ多少の歲月を要するものとして、普選實施の今日、その邊の觀測をなすのも無益ではなからう。

◇

議會の解散された場合、無產政黨たる社會民衆黨と農民勞働黨とが選擧場裡にどんな活動をなすであらう乎、既成政黨に對する物議の多くなつた時節柄、彼等の行動如何は興味ある一問題である。だが恐らく太した活動は能きまいと思ふ。既成政黨といふ大敵を眼前に控へながら、彼等は相變らず同士打ち共喰ひ喧嘩をし、內輪揉めの醜態を暴露し、小異に捉はれて大同に就き得ないからである。政治界にも、經濟界にも、社會の間にも、我國には小異の爭ひが餘りに多過ぎる。大連市會の紛擾も煎じつめて見れば小異の爭ひに外ならぬ。小異の爭ひが多いのは、封建的割據思想の拔け切らないためと、島國根性がまた何處かに殘つてゐるためと、この二ツが原因であるかも知れない。斯んなことでは紛擾の絕えない封建的の支那を嗤ふわけにはゆくまい。

◇

單に芽をふき出したと云ふばかりで、どんな花を咲かすか、どんな實を結ぶか、總べて未知數に屬するも、日本國民黨と愛國大衆黨との結黨は、我國の政界における一新現象として、注目に値ひせぬでもなからう。日本國民黨は十一月廿六日東京の靑山會館において結黨式を擧げ、愛國大衆黨は十二月一日第一回全國準備委員會を靑山神宮講會館において開き、來年二月ごろに結黨式を擧げるとのことであるが、その綱領や政綱および政策をみるに、無產政黨のそれを取入れたところがあり、そしてどちらも似たり寄つたりのものである。こゝにも大同に就き得ない小異の確執が窺ひ知られる。但しその質を吟味すると、前者は急進派の變形又は新裝、後者は保守派の變形又は新裝であつて、質と歷史からいへば、一體にあり得ないものと考へられるが、それにしても、似たものゝ對立といふことはおかしな現象である。

◇

試みに日本國民黨と愛國大衆黨との政綱を檢討して見やう。曰く一君萬民、君民同治、曰く重要產業の國家的統一、全產業の國家統制、曰く農民勞働者と小市民大衆の生活權の擁護、農民大衆と都市勤勞生活者との利害の調和、曰く有色人種の世界的解放、有色諸民族の解放、等々、いづれも似たり寄つたりのもので、根本に大きな相違はない。資本主義的特權政黨と國體を無視せる直譯的マルクス主義の無產政黨と鋭く對立し、その克服を期す、といふ點も兩黨相ひ一致してゐるやうである。前に述べた通り、その異なる點は、前者が急進派より、後者が保守派より生まれたといふ、唯この一ツだけだ。この新興勢力たる芽生えの新政黨と社會民衆黨および農民勞働黨とが對立し、更に既成政黨たる民政黨と政友會と對立する事になれば、それは勿論近き將來に現はれぬにもせよ、我が議會政治の上にやがては一新期を作ることになり、惡くすると、ドイツやフランスのやうな小黨群立時代を現出するかも知れない。日本國民黨と愛國大衆黨とが社會民衆黨や農民勞働黨の如く大衆の生活權擁護を標榜してゐることも、注意すべき要點で、こは時代思潮の一反映と認むべきであらう。

◇

政府とその與黨とは議會解散を望んでゐる樣であり、反對黨の政友會はこれを回避せんと工風してゐる樣であるから、解散の如何はまだ分らない。しかし若し解散されたら、純社會主義の無產政黨と勞働階級の生活權擁護を標明せる芽生えの新政黨とは、選擧場裡において、何等かの活動[illegible]ことであらう。解散と共に問題となつてゐる選擧界の廓淸が行はれるなら、これ等の新興勢力にとつて都合のいゝ結果を招徠するかも知れないが、彼等のうちより多數の代議士を出すのは、まだ〳〵であらう。唯こゝに認められる一事は、議會の解散毎に、我國の政界も漸次その面目を一新し來るであらうといふ事である。

先帝三年祭を迎へ給ふ
皇太后陛下御近狀
入江皇太后宮大夫謹んで語る

大正天皇葉山の宮居に神去りましてより早くも滿三年の星霜は流れて來た、來る二十五日には多摩陵と宮中皇靈殿で涙新たに三年祭が行はれる、この三ケ年の御歲月を靑山東御所に御謹愼のうちに過させられる皇太后陛下の御近狀につき入江皇太后宮大夫は左の如く謹話した

◇

先帝神去りましゝより早既に三年になりまして今日より御大故當時を回顧致しまするど、實に恐懼に堪へざるものがあります。

◇

皇太后陛下には此の三年の間、御謹愼の上にも御謹愼遊ばされ、止むを得ざる時の外は公式の謁見並に行啓等の御事なく、固より御避暑、御避寒も仰せ出されず朝夕先帝の御影殿に御禮拜遊ばされ、さながらいませる君に仕へ給ふが如き御行には景仰し奉るほかありません。

◇

兩陛下を始め奉り御直宮、內親王及び皇族方の御訪問による御面謁其他臣下の伺候の時御對面遊ばさるゝ外は御書見御修養等にいそしみ給ふのであります、大凡斯くの如き御日常にて別段定りたる御運動など遊ばされざるも御健康は頗る御良好にて三年の間是と申す程の御障りもあらせられざるは最も幸慶とする所であります。

◇

多摩陵には折々御親拜あらせらるゝ外、毎月二十五日の御日祭には御代拜として女官を差遣はされ御心盡しの御品々を御供へ遊ばされます、來る廿五日には御思出も深き御三年に相當致しますから其の前後にかて御陵に御親拜あらせらるゝ事と拜察致します。

◇

當東御所は假御所とは申しながら至つて御手狹にて御路に咫尺し、物の音響がしきも一向嫌はせらるゝ御樣子も拜せず總て御簡素に住まはせ給ふは誠に恐れ入りたる次第であります、目下御造營中の大宮の新御殿は稍閑靜なる地點なれば定めて御心靜かに過させられむ事と存じ上げます、新御殿は御趣味をも參酌して造營せられたるものにて至極御質素なる日本造であります、御間數等も御必要を超えざる程度のものなれど却て思召に叶はせらるゝ事と存ぜられます。

◇

三年の御心喪も來る廿五日にて終らせられ來春は高松宮殿下の御慶事新御殿御引移り等御目出度き事打續き晴々しき御樣子も拜する事でありませう、併しながら來年よりの御行啓等に就きましては世間にては色々と御想像申上げ說をなす向もありますが今の處にては未だ御治定の事も御豫定の事もこれなく畢竟來年となつてから追々仰出される事と思ふ次第であります。

首相令息のお芽出度　濱口首相の二男巖根氏（三三）と樞密顧問官水町袈裟六氏の三女綾子孃（二二）とは豫て婚約中だつたが愈よ十四日日銀總裁土方久徵氏夫妻の媒介で結婚式を擧行【寫眞は前列新郎新婦、後列左より濱口首相夫妻。土方氏夫妻。水町氏夫妻】

鮮農自警團に解散を命令
支那官憲が不逞鮮人團から收賄

【吉林發】敎化縣黃土河子地方在住鮮農等は本春頃同地に設置された不逞國民政府支部の爲めに金品の强要を受くるに至つたので、同支部を倒壞して彼等不逞徒を驅逐する目的で自警團を組織して之れに對抗して居た所、支那官憲は「何等の許可もなく斯る團體を組織するは不都合である」と折角鮮農等の組織した團體にのみ解散命令を發した、そこで彼等鮮農等は數回に亘り代表を出して支那官憲に交渉を試みたが遂に容れられず、解散するの止むなきに至つた模樣であるが、右解散命令の裏面には支那官憲が不逞國民府より大洋一千元を收賄し居る結果として不逞徒を庇護するのであると言はれて居る

朝鮮法官異動

【東京十七日發電】本日の閣議にて朝鮮司法官の異動左の如く決定した

京城覆審法院判事　總督府判事　男爵　眞鍋十藏

退職を命ず

京城覆審法院檢事長　總督府檢事　草場林五郎

任總督府判事（一等）補京城覆審法院長

咸興地方法院檢事正　總督府檢事　堀勘治郎

昇敍高等官二等依願免本官　釜山地方法院長　總督府判事　橋本寬

昇敍高等官二等退職を命ず　京城地方法院檢事正　總督府檢事　長尾戒三

補大邱覆審法院檢事長　大邱覆審法院檢事長　總督府檢事　境長三郎

補京城覆審法院檢事長　平壤地方法院檢事正　總督府檢事　赤井定義

任總督府判事（二等）補高等法院判事、退職ヲ命ス

露支交渉は廿日終了
正副管理局長直に實現か

【ハルビン十七日發電】ハバロフスクに於ける露支會議は十四日開始以來順調に推移しつゝあり、廿日午後には會議を終了し、奉派代表蔡運升氏は歸哈する豫定であるが、同時に新勞農正副管理局長ルウデイ、デニソフ兩氏外勞農幹部も一行と共に哈爾賓に乘込み正副管理局長の就任その他實際的解決を實現するものと觀測されて居る尙十七日東鐵管理局からは特別列車六輛をボグラニチナヤに向け一行出迎への爲め輸送した

南征雜錄（62）
難波勝治

遺された沃地

東部臺灣と外界との交通に就ては、右の如く當局者不斷の行政的努力が傾注されたが、司區域內、即ち花蓮港臺東二州の縱貫鐵道にも苦心の痕が認められる、臺東線の敷設は明治四十二年度から九箇年繼續として着手され、大正六年十一月花蓮港王里間五十五哩の開通を見たが、更に大正十年七月より王里、里壠間二十四哩餘の三箇年繼續事業を開始し、その間臺東開拓株式會社所有の里壠より臺東に至る

二十七哩 の既設線を買收した、併し頭人埔、池上間の殘餘に殘つた爲に、全部開通したのは大正十五年三月で執轄一吋六时延長百七哩八分の鐵路建設に、前後十七年の星霜を經過した譯であるが、之は無人口の稠密な富源の多い西部の開發策に忙殺された結果であらうが、人地生疎の東部施設が如何に困難不便であつたかを語る者である、交通機關の增設、殊に鐵道の開通は多大の刺戟を東部臺灣に與へた、それが著るしく今後の土地發展に資すべきは勿論

過去幾年 間に培かれた官業並に民業に力强く氣を鼓吹した、土地の面積からいへば總計僅かに五百二十八方哩、人口十三萬（一千五百（昭和二年末）に過ぎぬ而も山地の分布に於て平地七十六七方哩、種族の類別に於て蕃人七萬三千九百八十九であつて、到底本島の他の諸域と同日の論でないが、堅實な農業基礎を建設せんとする者に取つては實に有望な處女地である、北緯二十一度四十五分から二十五度三十分の間に橫たはる臺灣が、如何に植民的一大要素たる

氣候風土 に惠まれた地域なるかは言ふ迄もない、その中でも東部臺灣は南北中和の位置を占め、一年の平均溫度七十一度乃至七十四度、それが溫熱兩帶圈に跨るだけ植物の種類も非常に多い、唯問題は雨期に於ける河川の氾濫と、近く太平洋に直面する爲の颱風襲來とであるが、農業生活に就ての總ての要素を具備して居る、殊に西部が殆んど支那系の本島人に依つて壟斷されて居るに反し、東部は內地農業者の入耕すべき土地が多分に遺されて居る、之ほその原因たる久しく蕃人の

橫行濶步 して居た爲であるが、それ等の種族も今は日本行政の治下に安住し、慓悍であつた蕃時の野性は消滅して、寧ろ献身素朴な勞働力を重寶がられるやうになつた、試みに昭和二年末に於ける人口種別を見れば

種別	花蓮港	臺東廳
內地人	一一、四五五	三、七五八
本島人	一九、六九九	一一、七六六
朝鮮人	一九	一〇
高砂族	三三、六〇八	四〇、三八一
支那人	一、三三〇	六〇〇
計	六六、一〇三	五六、五一五

この中農業者は花蓮港廳に於て全人口の六割四分五厘、臺東廳に於て約八割を占め、昭和二年度の

耕地面積 は左の通りである

廳名	田	畑
花蓮港	七、五三五	一三、五三六
臺東	五、〇〇四	九、一四四
計	一三、五三九	二三、六八二

即ち田畑の合計三萬の四千二百一甲歩だが、之を全可耕地面積に比すれば猶言ふに足らぬ、この事實は一たび東部臺灣を旅行した者の直ちに氣附く問題で、鳳林と玉里との間に大和平原あり、頭人埔から鹿野までの間に與蘭、月野の諸原野あり、更に臺東市西の卑南平野を望むに及んで、この小行政區域內に彼の如き

大未墾地 ある事を驚嘆せざるを得ぬ、左れば久しく蕃人の巢窟として其橫行に任せた東部臺灣は、何れの日か之を開拓すべき新しい未耕者の爲に、保存されて居た約束の地だといへぬ事もない（寫眞は勤勉なアミ族女子の植栽）

相談
投書歡迎
中傷を目的とするものは採らず　新聞行數五十行以內のこと

滿電當局に注意
星ヶ浦住人

十三日午後二時から翌朝まで星ヶ浦線電車は事故のため全然不通となつたので滿電では臨時にバスを運轉してくれた、然し車臺が少かつた事と不潔の苦力の傍若無人の振舞とのため多くの乘客は實に長時間吹き卷くる雪と烈風の中に立往生するの外なかつた、殊に放課後の少年少女達はじめ多數の日本人達は見るも氣の毒で有つたが丁度來合した中山滿電重役が之を見兼ねて吹雪の中を聲をからして斡旋し日本人少年少女達を優先的に自動車に收容して送り屆けさした事は目覺ましい働振りであつた只遺憾な事は水源地の滿電當事者は斯かる長時間の事故に對して何等の揭示も說明もしない、殊にバスは動く時間より遊ばして置く時間が多かつた事と苦力の暴虐に對してポカンとしてほて居た事等の野呂間さ加減である、最後にトホテルのバスが自發的に出動してくれた事は感謝に堪へなかつた、滿電當事の反省を促す

電氣會社へ願ひ
一中學生

中等學生の滿學回數乘車券は乘換が出來ませんが之が出來るやうになれば我々中等學生は助かるかわかりません、この當今の緊縮時代に適ふのではないかと思ひます、何卒御一考ふ、出來る事なれば來春よりして下されば結構です

滿日地方版

奉天

國際運動場 愈よ設置に決定 十七萬圓で昭和六年に完成

奉天に國際運動場を設置する問題は[illegible]その後準備も出來上り[illegible]十七萬圓の建設費で愈々昭和六年度に完成することになり明年度は野球場と陸上競技トラック、水泳プール等約半分を解氷を待つて竣工することになつた

太田前所長功績 在任は二年一ケ月

當地巷間で種々噂されてゐた太田地方事務所長の後任は愈々社會課長の小倉鐸二氏が任命發表されたが太田所長は直に事務の引繼をなし年末大連地方部勤務となり來春早々歸省し二月横濱出帆米國を振り出しに約八ケ月間の視察を終へ十月ごろ歸連の豫定である

同氏は昭和二年十一月安東より平野所長の後任として着任し爾來二年一ケ月その間奉天における社會施設及び公務に努力しその功績砂からずこれまで氏の手によつて完成せるものは新給水塔、婦人病院、屠畜場、豫備商埠地の新堤防、上下水道改築等事々即ち置土産として國際運動場の新設で各方面から非常に惜しまれてゐる人であつた

猶太田氏は十代目所長で所長在任期では第二位を示し他の所長は平均一年二ケ月となつてゐると

百姓から巧に詐欺

田舍出の支那農民を相手に巧妙な詐欺に掛つた話…十六日午前九時瀋陽より來奉し千代田通りを城內に向ふ途中一名の支那人が彼の側に來り「自分は田舍から來たもので奉天の事情が一寸も判らぬ」と稱し奉天の樣子を聞き言葉巧に欺罔して道連れとなし城內に向ふ際又一名の支那人が同名と接近して何知らぬ振りをして追ひ越し所持してゐた財布を故意に道路上に落した郭を道連れとしてゐた支那人はその財布を拾ひ上げ中を見ると金票が三百圓も這入つてゐるのでその支那人は大喜びの色を示し之を二人で分配しやうと千代田通卅四番地裏の人影ない處につれ込み分配せんとしてゐた處そこへ先に追ひ越し財布を捨てた支那人が他の一支那人を連れて來り「自分は道路上に財布を落したが君等二人が之を拾つて持ち去つた事を洋車夫から聞いて來た財布があれば直ぐ出せ」と云ひ出し詰問中郭と同道した支那人は自分は決してそんなものは拾はないと稱して懷より財布を出して見せ一方郭に對しても「君も出して所持する財布を見せたらよいではないか」と云つたので郭は現大洋百六十一元入りの財布を出した支那人は自分の財布と郭の財布を白布に包み郭に渡しそれを見た後より來た二人の支那人はそのまゝ姿を消した郭と同道した支那人はいかにもまことしやかに今の二人は怪しいから調べる必要があると稱して彼等を追跡し去つた郭は自分の財布と支那人の財布を所持してゐると思ひ追跡した支那人の歸るのを待つてゐたが一時間も待つても歸らぬのでその白布の包みをあけて見るとこはいかに財布と思つたその包の中には煉瓦の破片が二個這入つてゐたので始めて詐欺に掛つた事が判りその筋に屆出たが目下犯人搜查中である

つらゝ 旅順支那街所見

露國勢力の一掃は困難 將來東支鐵道から

【ハルビン發】平行線は永遠に平行し最後まで一點に於て會するものではない、これは物理學の原理であり東支鐵道の有する運命である、露支紛爭は一時的に解決しても根本の精神に於て對抗線を畫いてゐるならば時と場合によつては再び

爭ひの種を 蒔くことになるのが原則である

露支兩國の背景がこの平行線を通して今後色々の形をして現はれて來るだらうが、和親關係を無理に一致せしめることは殆ど不可能と稱するも過言でない、其れに不戰條約を正義の旗として東支の紛爭渦中に觸れた英、米、佛の和平勸告は第二、第三期の騷擾時に必ず何等かの形式を以て容喙的勸告が生れ來るものであることは露支兩國に於てあらかじめ豫期して置かねばならない問題である、ソウエート政府は右の勸告に對して「いらぬおせつかいだ」──「國交のない米國がロシヤに忠告するなんて他人の

夫婦喧嘩に 花を咲かすやうなものだ」

と一蹴したことは當然であつたかも知れぬが、ソウエート政府として政治的には米國の主張を鐵袖一觸しても米國が有する世界資本戰の前には甚しい誤謬を屈服せなければならない弱點がある、其の腕鐵は米國が歐洲諸國の更生のために大戰以後經濟的に施術をしたあの資本萬能力はプロレタリアート共產黨の世界宣傳よりは遙かに強い力を有してゐることだけは否定することはできない、若しも米國がソウエートの屈倒に憤慨し經濟封鎖の最後的手段を講じた場合反プロレタリアーの黨は

歐洲諸國に 翕然として

起るだらう、反動分子の各國家に潛在してゐることはソウエート政府の幹部は明瞭に意識してゐる筈だ、從つて最もソウエートに接近してゐるドイツが米國の資本力によつて左右されソウエートの背景を蠢動するに至ればソウエート政府の無慘なる敗北を意味するものではないとも限らぬ、これはソウエート政府としても一番苦痛であり今後十年間資本主義國家の團結的經濟封鎖により反動的勢力が擡頭した場合ソウエート國內の疲弊から來る政治變革を豫想せねばならぬであらう、この點に興味を有するソウエートは第三國の和平勸告は一蹴したもの〻實質的力──それは

武力對抗を 意味するものではないが

支那政府を通じて經濟力が働く時は大勢に反抗することができない缺陷があり或はソウエートの屈倒に於て降伏と讓歩を餘儀なくされる運命にあるものだ、故に英、米、佛の三國干涉が支那政府の味方として現はれ來ることはソウエートとして希望しない筈である、今回のハバロフスク市に於ける和平交涉に對し正式會議に讓る可き爭點は第二としてソウエートが一日も早く列車を運行し七月十日前の原狀恢復を試いでゐるのも──寧ろ焦燥氣味態度となつて來たことは何を意味するであらうか、第三國の居仲調停に對する茶々を入れられることを

成可く回避

し早く原則的に直行しやうとした肚裡が窺はれるのである、これに對して南京政府は兎も角として東北政權は何と考へてゐるか、支那政府としてみると「不戰條約國の日本と獨逸が米、英、佛の和平勸告に參加せず傍觀的態度をとつたのは不思議だ獨逸は別として日本が──」との感を懷いてゐる、張學良氏などは日本は當然本問題に支那に味方しソウエートを牽制して然るべきであるとさへ考へてゐたと云はれてゐる程であつた、ロシアが日本の公平なる態度に對して感謝しただけ其れだけの反動は支那少くとも

東北政權は

日本に對してはその公平なる處置を怪しんだのみならず不快に思つたことでそして反宣傳として「日本はロシアに飛行機を賣却し飛行操縱には日本人が乘つてゐる」とさへ一部軍閥間には報道されたのである、張學良氏などは今も尙日露のさうした關係を深く信じてゐると云ふ斯うした猜疑心は暗い支那としては持つのが當然であるかも知れないが、日本は非常な迷惑である、英、米、佛三國の勸告が出されるまでにドイツを介し日本は非公式に調停者として立つたのであるが支那政府は「東鐵の實力回收」を

夢想してゐた當時であるから

ドイツ政府の斡旋に強がりを言つて耳を傾けなかつたのであるそして最後に米國を煽動し不戰條約を唯一の武器として支那の立場に同情を得やうと試みたのである、米國政府がこの遠交近攻の術策に誤魔化された爲めか兎に角にも不戰條約を基調とした勸告が露支兩國に發されたのであつた、英國外務大臣は「東支問題に對し露支兩國は未だ交戰狀態に這入つてはをらない」と下院で聲明した、ボグラ、滿洲里の東西兩國境で行はれた干戈が國の戰爭を意味するかどうかは疑問であるが、常に東支問題の發生來

露支兩國が 駈け引き外

交の轍を脫せず鵺的な態度で抗爭してゐたことだけは事實である然しロシアの聲明と主張は七月十日來一步も讓步せず強硬論を一貫してゐたに反し支那は始終變化して考へられてゐるかも知れない、道のドイツ政府も匙を投げたのである、支那政府としては出來るだけロシアの勢力を驅逐するため第三國の力を援用しやうとしたのである、日本が英、米、佛の共同勸告に參加しなかつたのは充分支那國家の將來及現狀の立場を熟慮した結果ではなかつたらうか──支那が直に不平等條約を撤廢し一獨立國家としての體面を保つためには東支問題の解決に第三國の力を借らんとすることは支那其れ自體の危機であることを銘記すべきである、支那の分割論が生れ或は列國の共同管理論が久しく提唱される原因は果して奈邊にあるかを考究すべきである、傳統的の以夷制夷が今日の支那をして半殖民地國家たらしめた過去の歷史を想起すれば判るだらう

英、米、佛三國が東支問題に勸誘を試みる

眞の肚裡は どこにある

かは輕々に推斷を許さぬが、支那鐵道の共同管理は今も尙相當列國間に於て東洋市場の投資物件として考へられてゐるかも知れない、ロシアの勢力を東支鐵道の上から排除することは鐵道が敷設された露支の史的關係を無視したものであり、ロシアは如何なる場合があらうともこの權利を徒らに放棄するものでないことだけは支那は考へて置いてしかるべきであらう

社告

今般前田松藏氏元奉天入江新聞舖跡に於て滿洲日報の販賣に從事致候間此段讀者諸彥に御通知申上候

滿洲日報社

謹告

入江新聞舖從業中は多大の御眷顧を賜り奉謝候 今般同店との關係を斷ち滿洲日報の取扱ひを開始致候間 何卒一層の御愛顧賜度御願申上候

奉天春日町前田新聞舖 前田松藏

偽店員飲逃げ

十六日午前一時頃柳町十一番地料理店富田屋に瀋陽通近藤洋行店員藤原某と稱する男と他の一名とが登樓し十圓餘の遊興をなしたがいざ勘定となるや懷中無一文なるため金調達に一時間の猶豫を請ひたいと云ひ出したので歸宅せしめたしかし何時間經つても一向來る樣がないので近藤洋行に聞き合せた處さやうな店員は同洋行にはゐないとの事で始めて詐欺に掛つたことが判り奉天署に屆け出た

筆頭試問は行はぬ 奉中高女入試

奉天中學校並に高等女學校における明年度の入學考查は去る十三日大連に於て開かれた滿鐵中等學校長會議の決議に基き施行されることになつてゐるが昨年の變りなく奉天中學校では小學校側の內申を主として必要あれば筆頭試問を行ひ高等女學校では昨年と例によつても小學校の內申に何等弊害を認めぬので內申によつて合格不合格を決定し筆頭試問は全然行はぬ意嚮である入學考查期日は校長會議で決定した三月四五の兩日で沿線は一齊に同期日に施行されるが第二志望も許されることになつてゐる

冊子を刊行した內容は滿蒙の各種事情を詳記しなほ寫眞百數十葉を挿入しアート紙に印刷した記錄的の冊子で該冊子は母國の各官公衙會社に無料頒布すると

經濟問題意見交換

奉天商工會議所書記長野添孝生氏は經濟問題に關し滿鐵及關東廳の意見聽取のため十一日夜赴連した

石炭檢斤成績

奉天署では市內運搬馬車の石炭斤量につき十六日第二回檢查を行つたが今回は唯寶來號のみは廿四貫內外を以て一包としてゐるに對し廿二貫五百目、廿三貫の成績を除く外以前より良好な成績を納めた猶今後も臨時檢斤を行ふと

滿蒙の文化と產業 奉日の記念出版

奉天日々新聞は昨年を以つて創刊滿二十周年を迎へたが同社に於てはこれが記念の爲め四六四倍大の「滿蒙の文化と產業」と題する大

遼陽

高級學校の罷業惡化の傾向 縣長排斥運動起るか

遼陽の高級學校、師範學校等は今尙罷業狀態にあり、表面終熄の觀あるも其の內實は縣長が武裝警官を各學校に配置し毆打壓迫果ては檢束等の事ある爲め鳴りを鎭め居る模樣で、父兄の反感となり有志は遼寧省政治委員を訪問し學生の有志は東北大學學生會と連絡して縣長排斥の相談中だと云へば近く問題は更に勃發するものと觀られて居る

子供を人質に五千元を要求 一千元で連れ戾す

遼陽城東光山子豪農王益山方に十六日夜拳銃を携へた五名の馬賊闖入、家人を脅かして現大洋五千元の提供を要求したが折惡しく現金の持合せがなかつた處、長男の小栓子(一〇)を人質として拉去したので家人も驚き近所から借り集め現大洋一千元だけを潛伏の地點に持參可愛い子供を連れ歸つたと

來年度豫算準備會 十六日に開催

遼陽公費區に於ける五年度歲入出豫算の準備會は十六日午後一時半から地方事務所會議室に於て開催委員十名の外見坊所長、石田、三澤兩係長、平原公費主任、委員會書記出席各款項目に亘り愼重審議されたが、工場移轉が實現せんか忽ち小學兒童百五十餘名の減少となるを初め各款目全部豫算の播き直しとなる傾向である

地方委員聯合會 提案と出席者

奉天に於て新春早々開催される全滿地方委員聯合會には遼陽公費區から生田、安藤の兩氏出席のことに內定因に遼陽からの提出案は

▲地方生活を脅やかす既設市場の移動は少くとも一ケ年前に豫告せられたき件

町の便り

支那側では露支交涉の開始と共に露支事件の損害調查會を設け胡靈氏を會長として各委員を設け損害の實狀を調查する由

◇

彌生小學校の若荷、大谷及び露人サポーツの三名は豫てから繪畫研究會を設け昨年第一回作品展覽會を開いたが來る廿二、三の兩日滿鐵社員俱樂部に於て第二回作品展覽會を催す由

◇

柳町松の家に小千代と名乘つた可愛らしい雛妓が出ることになつたこれは大正五年生れの今年やつと十四歲になつたばかりで粹さんによろしくと流石に愛嬌がよい

◇

奉天浪速通某銃砲店々員藤田弘(三八)假名は十七日午前零時頃警察の許可を受け大連より獵銃用雷管一萬發、火藥二貫八百匁、實包二千發を十三列車に積み込み奉天に輸送の途中積込規定の目方より超過してゐるにも拘はらず無責任にも泥醉して亂暴を働くので危險極まりなく遂に營關店驛に下車せしめた

◇

近頃市內電話加入者に無代進呈として獎勵されてゐる大連カルラ社製作の職業別奉天電話番號拔書簿はその內容が全部加入者を網羅して居らず之れに洩れた加入者は常に不便を感じてゐるが從來民間に於て電話番號簿を發行することは種々の弊害があるため遞信局ではその發行を許可してゐない殊に今回のは公平を無視し廣告料を出したものゝみに限られてゐるので一般加入者から非難されてゐる奉天局では右に關し大連遞信局に照會中である

人事

▲猪子滿鐵々道部參事 十七日大石橋へ ▲鄭四洮路局副局長 十七日安奉線にて來奉 ▲西村拓務省事務官 十七日來奉 ▲中村謙介氏(東亞土木重役) 十六日來奉 ▲辻村主計總監 十六日夜大連へ ▲周四洮鐵路局長 十六日夜來奉 ▲ラチモア氏(米國人種學研究家) 十六日北平より來奉 ▲折笠總領事館書記生 十八日內地より歸奉

瀋陽駄話

太田所長の後任は下馬評だに上らなかつた小倉社會課長の任命を見た▲瀋陽所は言はずもがなで月並の讚辭は止すとして前任太田所長の功績だけは賞揚大いに努めずばなるまい▲安東から一躍國際都市の所長となつた太田さんは精力無盡一見頗る貧弱だつたが人は見かけによらずでその抱負經綸を行ふ道に奉天人士をして舌を卷かしめた其の行事は一々擧げるに遑ないが陸軍用地問題の解決などは非凡な事蹟である◇今や事情に精通し支那人側の關係も所謂好朋友となり、いよく手腕の發揮に移らんとする時氏を失ふは奉天として又奉天人として忍びないが御本人榮進の爲めとあれば是非ない▲好漢の前途を祝福し潔よく送ろう▲奉天國際運動場も仙石總裁の承認を得ていよく解氷を俟ち着工するが差當り野球グランドを設ける事になつた◇こゝ三四年來の奉天球界は往年の黃金時代にも似ず萎微沈滯、僅かに滿俱が其の佛を止むるの狀態だが國際的野球グランド設の手前實業團たるもの再起せずんばあるべからずである

旅順

張宗昌氏が再擧を夢む 劉智明氏のお土產話

元張宗昌旗下承啓處長と云ふ肩書を有つ劉智明氏は去る十一月九日張氏母堂張候氏に隨伴して別府なる張宗昌氏の許に至り本月十六日の香港丸で歸滿し十七日午前來旅張候氏及張氏第一夫人を歷訪懇談し同日大連に赴いたが別府滯在中の張宗昌氏は中央政府が反政府軍蜂起の爲め危地に陷れる狀勢に例の如くヂツとしてゐられないと見え機會を覗つて再擧を計らむと畫策し我々腹心の股肱數氏を南支方面に派遣して各軍の動靜を偵察せしめつゝあると

筆記試驗の合格者 警官高等科生

關東廳巡查の幹部候補者たる本年度高等科生合格者は口述試驗施行の結果筆記試驗合格者四十四名中左記二十名と決定昨十七日發表した

▲旅順 鹽島廣次郎、土居公則、高野榮五郎▲大連 黑瀨始、松島仁平▲小崗子 竹下又吉▲水上 永松增朗、伊東茂敏▲金州 藤井英夫▲貔子窩 河本三郎▲瓦房店 島崎成美▲大石橋 後藤芳雄、吉田兵衛▲營口 大井幸太郎▲撫順 浦部東一郎▲鐵嶺 山口銀三、荒木通▲四平街 山內俊信▲公主嶺 安川伊八▲長春 長安武男

營口

地方委員會

昭和五年度營口入豫算諮問の爲十八日午後一時から地方事務所會議室に於て地方委員會開會

柔劍道の納會

武德會營口支所では二十日劍道は午後一時から柔道は同二時から警察署道場に於て納會を行ふ、試合終つて柔劍道の型もある筈

撫順

銃器を揮ふ強賊橫行す 十六日市中二ケ所で 殺人掠奪の暴狀

十六日午後八時ごろ本籍河北省現千金寨前新市街兩替店金蘭軒(四〇)方に兇賊侵入出先きより歸宅せる金蘭軒に拳銃を擬し現大洋二十五元をせしめ尙も金庫を開かしめんと強要中店員張某が官憲に急報せんと裏口より出でんとするや張の後頭部に二發の貫通銃創を負はせ是を即死せしめて逃走した、亦同日午後五時頃千金寨後新市街の主起有(三〇)同寶武[illegible]、同蕭[illegible](二七)田玉山(四〇)譚振凱(三一)方を軒別に疾風の如く五人組の拳銃強盜現ひモーゼル、ブローニング拳銃を突きつけ金票九十圓その他を奪ひ逃走何れも犯人不明

撫順炭發送狀況 昨今の書入時に波瀾重疊

石炭需要書入れ時の十二月位撫順炭山元發送數に波瀾のあつた月は珍しい過般の吹雪以前の十二日は正炭社內炭のみ九百六十三車三萬一千七百七十九噸と云ふ巨數を示し撫順炭礦開礦以來の最高記錄を作つたかと思ふと十四日は例の吹雪に祟られ急轉三百三十車その翌十五日は更に二百五十四車に激減してゐる、結局山元では

貨車廻入 さへ順潮なれば何時でも前記發送實數の示す如く九百六十車乃至一千車の發送準備は出來てゐるのであるが事故頻發し缺車につぐに缺車を以てする關係上發送最高記錄を作り乍ら十七日現在では十二月の山元發送計畫數

一日平均 八百五十車、計二萬五千七百十七車に對し計畫數より約二千十車の缺車を示すの外なき狀態である、本月も殘す處十日であるが果して計畫通り發送し得るや否やは一に貨車の廻入如何に依りて決せられる有樣である

圖太い華人請負 出資者と勞働者を喰物に 二千餘圓を拐帶逃走

計畫的に多數の勞働者や出資者を見事ペテンに掛け金票二千七百圓を拐帶して十七日未明何處ともなく雲隱れした圖々しし男がある、右は本籍山東省現住撫順平康里瀋陽組下請把頭[illegible]と云ひ本年九月以來大倉組の下請をなし儲けはお互に分配すると言葉巧に市內西六條三十二番の喩齋に現大洋四百元同裕順恒には食料品金票四百圓、奉天燕東公司には通日人夫百五十人その他の賃銀一千圓その他出資せしめ工事完了するや本月十四日大倉組よりは工費二千七百圓を請取り當初の契約を全然履行せぬのみか借りた金は勿論年末に食料もなく僅へてゐる多數勞働者に一文の賃銀も拂はずかねての計畫通り逃走したものであるとの理由で十七日午前各關係者より一件書類を添へ撫順署司法係へ訴へ出た

州外卓球個人選手權大會 二十二日開催

二十二日午前九時より千金小學校に於て撫順體育協會主催州外卓球個人選手權大會が開催される奉天安東、長春、鞍山等の各猛者連の出場申込み殺到し大に盛況を期待されてゐる、ルールは滿洲卓球會の規則によりゲームは五回、使用球はBA印

煤都雜信

昨十八日午後六時半より新公會堂に於て滿鐵社會課主催社員家庭慰安活動松竹映畫時代劇「小金井小次郎」全八卷現代劇「雲雀鳴く里」を映寫頗る盛會を呈した

◇

撫順に於ける關東廳よりの貸付資金五萬圓を基金とする小口金融組合はその設立準備全く完了同組合書記谷口氏は十八日、坂倉事務理事は二十日ごろ來撫の筈で各組合員への貸出實施期は一月下旬はまづ間違ひないと見られその金額は大した事はないが小商人連は大いに助かると喜んでゐる

安東

貯金週間の初日頗る好成績 貯金加入者百七十五 降雨中に係員大奮鬪

滿洲公私經濟緊縮委員會が全滿的に行ふ貯金獎勵運動の貯金週間の第一日の十五日は日曜で且つ年末多忙にも拘らず安東郵便局では局員十名を各方面に派して戶別訪問をさせ大に勸誘に努めた結果貯金口數百七十五、貯金高五十一圓八十九錢と云ふ初日としては可なりの成績を上げ引續き十六日よりは每日局員五名を市中に巡回させ勸誘せしめて居るが局員は連日の降雨中を戶別訪問して他地方に劣らぬ好成績を上げんと極力奮鬪しつゝある

公費滯納で大頭痛の安東地方事務所 近く聯合會で對策協議

安東公費の滯納は全滿一との稱ある位にて此の弊風一掃に就ては地方事務所側では頭を痛め地方委員に於ても每年其善後策に就き研究を重ねて居るが現在の制度としては強制的處分の方法なく今尙六萬餘圓の滯納額を有し來年度豫算を目の前にして當事者は頭痛鉢卷の態であるが愈々地方委員會と計り此の弊風を一掃することに決し近く委員區長の聯合打合會を開催し其方法を講究する筈であると

電力需要の激增 來年度五十萬圓の豫算で 滿電支店の施設

南滿電氣安東支店の電力需要狀況は兩三日前迄は二千キロ內外に過ぎなかつたが、增加し現在では其額の四千キロ內外に激增した、鴨綠江製材と三十萬キロ內外の需要者たる新義州王子製紙工場とが事業の發展に伴ひ前者は五萬キロ後者は約三十萬キロの需要增加の必要に迫られ、倘地方面にても逐日增加の傾向があるので來年度に於て約五十萬圓の豫算を以て發電所並に機械の增設をなすことに決定し、來年の解氷期を待つて大連の電所より五千キロの機械一基を送付し來り同時に据付工事に着手することゝなつた、同支店は最近隣家類原洋行を買上げ營業部を增築して業務を擴張し今又發電所增築並に機械の增設を見るに至る等同支店近來の發展振り著しく目覺ましいものがある

安東機關區の獻金 四百圓に達す

安東機關區では豫て國債償還獻金を募集中であつたが締切當日迄に四百八圓四十錢に達したので藤[illegible]區長から地方事務所を通じこれが送金方を依賴して來たと

地方委員會 十八日擧行

十八日午後一時地方事務所會議室に於て昭和五年度公費豫算諮問のため地方委員會を開催した

故飯島曹長敍勳

客月五日中所屯信號所の危急を救ふため勇戰奮鬪遂に壯烈極まる名譽の戰死を遂げた故飯島曹長は今日勳八等に敍せられ白色桐葉章を授けられた

大石橋

積雪中の猛練習

來る二十四日當地守備步兵第三大隊に於ては銃劍術競技會を施行する事となり目下各中隊は早朝より酷寒風雪を物ともせず營庭の積雪を蹴散らし將卒一同猛烈に稽古中であるが競技會當日は肉彈の接戰定めし見ものなるべしと

第七回 滿日勝繼碁戰(乙部段二回)(勝繼四回目)

先二先番 豬田[illegible] 乙部 勇氏

●六一カの十六 ○六二ワの十五 ●六三ヨの十七 ○六四ルの十六
●六五カの十四 ○六六ワの十四 ●六七ハの八 ○六八ハの[illegible]
●六九ロの十六 ○七〇ロの十五 ●七一ロの十七 ○七二ロの[illegible]
●七三ロの十 ○七四ロの十一 ●七五ロの九 ○七六ハの十二
●七七ニの十一 ○七八ハの十一 ●七九ホの九 ○八〇ロの十三

家庭科學

ミツワ家庭講座

(二十・四)

ストーン・ヘンジの話(下)

歴史の曙光がさし初めた時から三四千年も以前に於ける、眞夏の朝の、ウイルト・シャイヤの高原を思ひ浮べて見ませう。ほの〴〵さし初めて來る東明の、炬火の光は、次第に靑み行く。並樹の樣に立つた石柱の中を、通つて行く僧侶、酋長達、一般の男女、裸體の子供達の列が通つて行く。僧侶は、皮と角と恐ろしい色に塗つた面で不思議ないでたちをして居る。酋長達は、齒の首輪で飾つた皮を着、鎗と斧を持ち、のびて大きい髪を、骨の針でとめてある。女は、皮や麻の衣を着て居る。彼等は遠い所から集つて來て居るので、スイルベリーの丘と並石の間の土地には、此人達の野營が點在して居る。祭の樣な樂さが此あたりに行渡つて居る、此群集の中を、指命された犠牲の人々が、柔順に、頼りなく進んで行く。彼等が其處で死ぬ事になつて居る遠くに煙る祭壇を瞻めながら進んで行く。收穫が豐かになり、種族が殖えて行く爲の犠牲である。潮の濱の泥にある出發點から、三四千年以前までに、生命は斯う云ふ狀態に進歩して來た。

これが、小說家であり、歴史家であるエッチ・ジー・ウエルスが、ウイルトシャイヤにあるストーン・サークル即ちストーン・ヘンジの起原について下した臆說であります。

もう一つの臆說は斯うであります。ジウリアス・シーザーに築窟や沼や洞穴の居住者として記載された古代ブリトンの賢者である僧侶が、天文觀測所か寺として此のストーン・ヘンジを建てたと云ふ說であります。

イギリスのジエームス一世の建築家であつたイニゴ・ジョーンスは、此のストーン・サークルを調査して、その紀元を僧侶に歸する說を攻擊しました。僧侶は之を用ゐたかも知れない。けれどもストーン・ヘンジは、僧侶の起るよりは、幾百年も前に建てられて居たと云ふのであります。

一萬二千年から二萬年も前に、牧畜を始め磨製石器を作つた人間が、地中海の盆地、西アジヤ、北アフリカからヨーロッパへ進みました。彼等は穀物を蒔いて收穫する事を始めました。彼等は不思議な推理から人間の犠牲が好收穫を助けると考へました。到る所にピラミッドと塚山、天文觀測の爲の石の周列を建てました。

長い間辛抱強く探究した後、今日に至るまで、ストーン・ヘンジが三四千年以前、如何云ふ目的で建てられたものか、確かには分らないのであります。法廷の爲であるか、酋長や、王達が儀式の集會の爲に建てたか、人間犠牲を捧げる太陽の寺か、死者に對する儀式の場所か、誰にも分らないのであります。

□指先と眼

はつきりと澄んだ眼は、顔を生々と見せるものであります。濁つた眼、眠不足や酒などで赤くなつた眼は、顔全體まで、濁つて居る樣な印象を與へるものであります。手先指先も、あれたりして居りますと、丁度此の濁つた眼の樣に、はつきりしないものであります。年末、年始には、人と會ふ折も多い時で、先づ眼、指先と眼に立ちます時でございますから、はつきりと見える樣な指先にして置き度いものでございます。

ミツワ雪の雫を脫脂綿に浸して、これを皿に入れて、水をお用ひになるお臺所に置きまして、水をお用ひになりました後、きれいに濕氣を拭きとりまして、指先を此の脫脂綿に浸して、果を、指先から手の甲へ擦り込む樣にしまして、ねと〳〵と殘つた分を輕く拭きとつて置きますと、手先、指先のあれを知らずに過せます。

これは膚の營養を助けて、肌理を細やかにする健膚液ですから、戸外から歸つた折、湯上り、水を用つたあとなどに、これを用つて居りますと、膚があれず、ひゞやあかぎれも出來ずに過せますことになります。

これからの寒い折に、あれ性の方は、指先のあれない内から、これをお用ひになる樣におすすめいたします。

□壁のトーキー

發聲映畫が、ブルックリンでは、物を聽くに困難な人にとつての娛樂の深泉になることを證明して居ります。此處では、劇場の一區劃が、聽力を損じて居る人の爲に、特に聽覺の設備が取つけられて居ります。その區劃の席はそれ〴〵、受話機とかぶる冑と萬年筆の樣な電信計があります。調節ボタンが此の器械にとりつけてあつて、聽く人の必要に應じて音響の量を調節するのであります。

政府の統計表に從へば、合衆國には千五百萬の聾者があります。その人々の大多數がトーキーを觀て行くことは出來まいと恐れて居た所に、此音の聽かれるトーキーに接して驚いて居ります。

□高價な石鹸が必ずしも良質ではない。

日常の家庭生活に用ひます石鹸も、之を見分ける標準がありませんと、つい人に頼る事になつて、高價だから質がいゝだらう、廉價だから、ものも惡からうと云ふ考へにもなり勝であります。けれども、石鹸にいたしますと、原料や製法は、最上等を盡したところで、決して、さう高價になるものではありません。舶來石鹸の高いものなどは、輸入税とか、香料とか、包裝とかに贅澤を盡すから高價にもなりますもので、これは、石鹸の根本の品質とは關係のないものであります。

石鹸のいゝ惡いを、先づ鑑別けますには、泡立ちを見ることです。泡立は汚垢を除る力と密接な關係のあるものであります。泡立の惡い石鹸は、汚垢をとる作用にも力がありません。と云つて、餘り大きい泡の立ちますものは、刺激性の伴ひ易いもので、膚の爲によくありません。細かな泡が豐かに立つて、よく持ち續くミツワ石鹸の樣な石鹸が除垢作用にも力がありますし、膚を刺激することもありません、又經濟からもお德です。

溶解の力から見まして、溶解の惡い石鹸をこれからの寒い時、水で溶いたりすると、考へるだけでも痛々しい樣です。と云つて、溶解の過ぎる石鹸は、必要以上の量が溶けてしまつて、不經濟です。必要な量だけ樂に溶けて、途中で溶崩れがせず、三倍以上保つミツワ石鹸が、膚の爲にもよく、お德用です。

文藝

劇壇近事
帝劇の經營難

青木實

【二】

過去二十年來、自己の座付俳優をもち、劇場を所有し經營に獨歩の道を進んできた帝劇が、十二月興行を最後として、今後の經營、興行の一切を擧げて、松竹の手に委ねるに至つた。

一時は松竹と對立して劇壇に覇を爭ふかとみえた程の帝劇が、その敵手に城を明け渡すに至つた理由としては、毎興行の缺損に續く缺損がつひに經營困難を招いだといはれてゐる。

震災後、缺損なしに興行をした月が、たつた一回ときいては今更ながら驚かされる。或ひは、帝劇なればこそよく今日まで持續したと言ふべきかも知れない。一般經濟界の不況とはいへ、何故帝劇のみが、毎興行ごとに缺損をつゞけたのであらう。そこには當然なんらかの原因がなければならないと思ふ。

今こゝに、いろ/\と直接、間接に、その根元となるところはあるだらうが、一寸頭に浮ぶその二三を擧げてみるに、

一、帝劇座付俳優が固定するため倦かれやすいこと。
一、帝劇といふ小舍が歌舞伎劇上演に適切でない點。
一、帝劇、特ともいふべき女優劇が、一部有閑頽落階級の惡趣味から、半裸體の陳列品にまで成下つた。これがため觀客の好劇心を失墜させた。
一、舞臺監督の權威行はれず、主要俳優の專横に任した點
一、時代錯誤ともいふべき樂屋内部に於ける舊制度の殘存
一、觀劇料の高價及び官僚的なる客扱ひ
一、狂言選定に對する保守主義、新作物上演に案外無關心であつた點

等々を擧げることが出來る。尙、見逃すことのできないことは、一時的に歌舞伎劇に對して、民衆の支持が、弱刀となり、多くを期待しなくなつた點である。

以上列擧した點が、相關聯して帝劇を經營困難におち入らしめたと言つてよいだらうと思ふ。

一例を擧げてみるに、十一月興行に帝劇が上演した「野崎村」に對して、片岡仁左衛門は反撥的に「合邦」を主張した。「合邦」といふ芝居がもつ暗い味はひは、決して今の觀客の好劇心をそゝるものではない。今のやうな世相には「野崎村」なぞの方が輕くて、小味があつていゝのだが帝劇としては、一俳優の前に何らの權威もないのである。勿論、仁左の主張通り「合邦」は上演された。元來、仁左といふ俳優は、劇場の要求に對しては反撥的に出る人とのことだが、彼をして斯くの如く我儘に導いたには劇場側に誤ちがなかつたとは言へまい。

十二月興行には、菊池寛作「東京行進曲」といふのが上演されたその舞臺稽古に際し、田劇團は舞臺監督國池兌功氏の失言に憤慨して、臺本を投げ出して歸宅してしまつたこの間にいろ/\といきさつがあつて、結局、國池氏が舞臺監督を辭して、やうやく劇團を納得させ出演を得た。

これらは俳優專横の一例にすぎないが、推して一般を知るに困難ではないと思ふ。

帝劇の、松竹合名社への克服は日本劇壇に、松竹王國を樹立した譯である。世これを稱して松竹トラストといふ。

『未來のうへに』
宮原欣氏の創作を讀む

大内隆雄

──承前──

つぎに、支那の現實の巧な描寫を私は强調すべきであらう。宮原氏の力ある、簡潔で、克明な筆力と、巧妙な話術をもよ。世界の讀者が支那の現實の社會を斯くも迫力を有たしめて彫り刻んだか？

「……苦力になんねえ、呑氣なものだよ、けれども實際はそう呑氣でもない、機械に關する工場方面の苦力になると、何かの會に加盟して居て、種々と運動がたえないらしいや、しかし思ふのに、終局何さ、政權や、州落廳がどうなつても、苦力の世界も近づいてくるよ、おらはそれを知つてゐるよ……力の勝利といふ時代になるよ、勞働者の天下もくるよ……」(三五五頁)

いやそれや止すがよい。勞働ほど氣樂な割のよいものはない商人になれば朝も晩も、嘘言で暮さにやならない。そしてうまく儲けて百萬の富を積んで見ろもう人間ではない。守錢奴だ、金持だといふて大きな顔をしてゐて太つてゐる奴らは、人間ではない。あれは野獸だ、二人前三人前いや千人分萬人分の生活費を一人で冗費してゐる奴らだ……」(三六四、五頁)

かりに、現實支那の描出の點からのみ言つても、この作は高き地位を占むべきだと私は强く言ふ。

次に、作者も「過去の」と斷つてはゐるが、可成りにながながと日本の家族制度を中心にした紛糾が展開される。戀愛の問題もあるが其處では舊い。主人公長井純一郎の場合を別としても、物語りの筋の發展の大部分は男女間のいざこざだ。小說が大衆に讀まれるためにはそれは本質的に必要なものであらうか？しかも、それ等はみな喰ふに困らない中産、上流の青年淑女だ。それが、新しい日支の青年の代表者か？讀んでこの點に不滿を感じ得ぬものは多いだらう──もとより、暴露小說としての意義は存する。しかし未來へ驀進しつゝあるものは彼等であるのか？

次に、農民と分配などに就いて考へることもあるが、創作を論ずる場合の根本的な問題ではないから他の機會に譲る。

以上、私は忌憚なく思ふ所を書いた。最後に簡單に言ふ。

この作は、滿洲が生んだ、貴重な小說である。も少しはつきり言へば、在滿日本移民知識階級がその丸質を書いた作である。九百六十頁、量に於ても大きいが、この小說は、質に於ける我々の重要なる問題を内包する。この小說を讀む者は、いま轉換期に立つ移民としての我々自身の自己批判をこれに要請されるであらう。第一にこの意味から、私は本書を滿洲に奬める。

更に、この作は、前言した如く支那の現實を强く彫り刻んだものだ。動きつゝある滿洲を映し出したものだ。──これが本書を賞むる第二の理由である。

社會を思ひ藝術を思ふけれども學淺い私の所感、作者並びに他の讀者の是正を願ひ、濟かに宮原欣氏の筆健を祈る(十二月一日稿)

文壇内輪話
其五─直木三十五その他

東京　南洋三

直木三十五は貧乏の札附だ。頭のウッスラと禿上がつたところ、また、丹前を何時も着た姿は、蝙蝠安を思はせるものがある。この直木は三年越しに市ヶ谷の牛肉店から買つた肉代を一文も拂はない拂はうとて文なしだから萬已むを得ないにしても、牛肉店の主人も變つた男でこの賣掛代金〆て七百八十圓に及んでゐるが曰く

小說家てのは、一つあたりやア金が入つて來るもんだ。直木さんが借り疲れるか俺が貸しつかれるか、こゝんところは根氣くらべだ。どう/\御用が承つて來ねえ

こんな話は他人ごとながら、臨分うれしくなつて、仲間の文士共うれしかつたり、羨ましがつてゐるとは、文士の生活といふものは妙なものだ。

老文豪田山花袋──と云へば、もう老人だから、世間ていにはひどく落ちついた隱居のやうに思はれてゐる、が、さて何處かに桁外れのところがある。

家は代々木だ。創作に疲れると、よく青山の通りを散歩する、或日疲れて來たのでペンをすてゝ、羽織をひきかけ散歩に出た。ところが、それは眞晝中、人通りのはげしい青山神宮前に、あのづんぐりした花袋が姿を見せると通行人はクスリと笑ふか、呆れたやうに花袋を振り返り/\見る、鼻たれ餓鬼は二三人、飴をしやぶりながら花袋の尻についに行く、

「何んで俺を見て笑ふのだ」

花袋は氣色惡く、すた/\と足を早めてしまつた。散歩が面白くなく、家の方にと足を向けたところ肩のあたりがいやに、こつ/\とつゝくし、痛くなつたので思はず手をやつた花袋は

「しまつた……」

と叫んで殆ど臨足になつた。花袋はぼんやりして、羽織を着るときに衣紋竹のまゝ着たので、肩がいやに角張つてゐたのであつた。

家賃なんざ、二三ヶ月位ためて居るのは上の部だ、川崎市に住む詩人で市會議員の陶山は二十六ケ月ため込んでけろりとしてゐるが陶山にはそこに立派な理窟をこねてゐるから笑はせる

陶山自身は人のために、家賃をとゞこうらしてゐるといふのだ。自分がキチ/\支拂ふのはいゝが附近のものが一月でもおくれたとき、家主に面目なからう。二月、三月家賃をためた勤め人など、自ら憂鬱になり、仕事の能率は上がらない。そんなとき、陶山を見ろ二年二月も家賃をためてゐる、二月三月、が何んだといふことになつて一般の清涼劑の役目をするからなア。

こんのにかゝつては、家主などたまつたものでない。

ひどいのになると、その日の小使錢に困つた名のない文士などは聯染の雜誌社に乘り込み、その月の雜誌を寄贈させ、歸り途にたゝき賣る、月初めなら一册五十錢のが二十五錢には賣れるので、五、六册、うまくやれば米代はあらうといふもの。

かういふ連中でも、原稿料が入れば、すぐ呑むか、遊んでしまふ女あそびは多く玉の井あたりの淫賣婦のところへケシ込むことになる。こゝなら二、三圓もあれば上々で一夜を明かすことができるから──

死んだ芥川龍之介も、玉の井によくくり込んだもので、神經質な、蒼い顔の長髪の彼を見て、玉の井の女たちは化物だと云つたものである。

痛快な方になると、不良少年の閲兵式を正月元旦にやるのがある佐藤紅綠の伜の佐藤八郎、これは小說や民謠を作つてゐるが、どうしたのか不良仲間に顔が賣れ、目白、池袋あたりでは王者だ。この八郎が毎年、元旦になると、廣つ場に不良共を左右に整列させ御當人は自轉車に乘つて、そのまン中をスーッと走らせての閲兵振り、キメツキテレツな閲兵式として有名だ。

八郎は、もう、暮れが近よつたので、文士連にこの閲兵式參列の勸誘をやつてゐる。案内された文士中には、眞面目になつてそれに參列する。もう、妻も子もあり、頭のテッペンの禿たのが、二年越しに參列したのなどある。文士なればこそだ。

滿洲短歌會
十二月詠草

宮士ふさ江
底石のあらはに見ゆる多川の澱みに落葉は朽てたまれり

西内しづ枝
冬の雨音のさびしくたそがれぬかゝる日君のひたに戀しき

境野一觀
枯々の犬蓼の葉のゆれかすか時雨音なく過ぎて行きけり

鈴木千草
山狭のひるの靜かさ多たけて枯枯葉のをりをりに鳴る

中尾千代子
この如く人のいのちもはかなしと落葉踏みつつ染々おもふ

井上壽光
多林落葉の雨に行く我を夢見て覺めし曉の雨

内山義雄
井の底に落ちかさなれる葉の色にあたらしきありふるきありけり

菊池滿洲子
氷のごと冷たく澄めるおんひとみもの思ふなと我にやのたまふ

本間倭文子
落葉木の梢さやさや揺れてゐぬ雨一ときを小止みたるまに

西島貞子
乳色の朝靄ふかし落葉せる林よぎりて生徒らの行く

松山みそぎ
水上の落葉なるめりしかすかに流れのまにまに流れこの葉よ

長谷川[illegible]
足もとに寒く落葉のたわむれてやがて飛び去る木枯の夜

近藤銀子
西山の峰に夕日の消えて暮れ行く空にふくろ鳴き出づ

鈴木澄秋
谷川の底に朽たる落葉にも夢の世界はありしならんを

寺本初音
多の來てしのびやかなる雨ふれば寢ざめの床のなまめかしけれ

阿部[illegible]
初冬の雨降りそゝぐ向つ山道あらしも衒傘の見ゆ

永原いね子
つゝましき大臣のむねをかしこみて酒は酔まずてあら玉をほぐ

西澤流
靴はくと腰かゞむれば冷々し土間にこぼれし石油は匂ふ

末野[illegible]
傑生の山越すあたり落葉おほく一人あゆめば寂しかりけり

北一草
あけがたに嵐をさまり帆ばしらの折れたる船もありてひそけし

映畫界展望
一九二九年の記錄
─雨ふつて地固まる─

山村水太郎

一九二九年はもうすぐ暮れる、顧みればいたづらにあわたゞしい時の流れであつた。といふのは、この一年のあいだに、大連映畫界にいかに多くの問題が湧きまいたか それらは餘りにもみぢめな物語りであつた、陽氣で晴れやかで、愉快でモダーンで、人の心の底をチク/\とくすぐる、いはば魅惑的な魅惑を添へ勝ちな、さらにもまた、所謂「斷然尖端を行く」この映畫界の噂ばなしが、いつも/\暗い影をそえてゐたのはどうしたわけであつたらうか。

中華學生映畫會の問題があつたかと思へば、興業映畫館のごたごたが續いて起る、それに配給ブローカーの問題だとか、やれ、どうのこうのと、餘りにもそれは、現代暴露の悲哀の渦巻きであつた、そこへもつて來て、腐つた屋臺の興行へ問題がやかましくなり、大日活といふモダン映畫館が出現したのにも拘らず、興業違反があつたとかで開館が延びる、またその古巢の空家が、家賃をまけて浪速町繁昌の爲めに復活する、まだ開けもせぬ常盤座が、きまりもせぬ映畫の宣傳を始める、いかに、それが商賣道の策略であつたかも知れないが、映畫人にとつてそれは正にうるさい世情輕浮の姿であつた。

古い言葉だが、雨降つて地固まる、もうこの位の處で切り上げやうではないか、このいさこさを、一九三〇年に持ち越すには、あまりに新らしい年が可哀さうだ、願はくば來年には、きれいさつぱりと景氣のよいスタートを切つて輝かしい一九三〇年の懷出を作らうではないか。

◇

一九二九年には、協和會館で三つの記錄が出來たと思ふ、それは「モン、パリ」を「チエペリン伯號來る」と「キング、オブ、キングス」とでなかつたらうか、だが細かくその三つの記錄を祕討すると、何れもその情勢がちがつてゐるのに氣が付く「モン、パリ」は裸形の肉塊の躍りが大衆をうならした「ツェッペリン伯號來る」に對しては大連市民の期待があれだけ大きかつたのだ「キング、オブ、キングス」は多少教會側の手がはいつてゐたとも噂されてゐる、して見ると、この三つの記錄を、映畫人はどう觀るのだらう、市中の映畫館が興行本位に上映するのと稍違つた意味に於ての協和會館が持つこれら三つの記錄は映畫人に面白い問題を投げるものでなからうか、見たまへ、これに反してあの名畫「ソレルと其子」が上映されたときの成績を、私だちには、おぼろげながらも大連映畫ファンの期待が察せられるではないか。

◇

一九二九年の收穫、それは何といつても「第七天國」と「灰燼」とであつた、そして、せめてそれに、も一つ加へれば、それはフオックス、ムーヴイートーン、ニュースであつた「灰燼」はわれらに日本映畫の進境を見せてくれたもの「第七天國」は所謂映畫藝術の香味を味はせてくれたもの、フオックス發聲ニュースに至つては、われらに、まだ滿洲だけにしか來ぬ發聲映畫の片鱗を見せてくれたものである。

◇

かうして、大連映畫界の一九二九年は暮れる。

次頁一九三〇年にはまだブランクだ、さあ、これで、とに角筆を洗ひませう、そしてその白紙へ來年は愉快な漫談を綴りたい、年の暮れになれば、いつも思ひ出されるものは「ゴールド、ラッシュ」のあのクリスマスの夜の蠟燭だ、そうしてあの爺さんの涙で唄ふオールド、ラング、サインとポンとピストル一發で踊り出す愉快な姿だ、このあひだ、多の國の雪を見たあの蓉子、しかもしぼり鹿の子の振り袖友禪で、人形のやうな雛鳥を飾つて行つたあの蓉子がいふとしたクリスマスの映畫を作つてのに、私は雪を見ると、しんみり見たいと、蓉子でさへそういふからとて別に不思議はないが、年の暮は、お互にクリスマスの氣分になりたいね(一二、一五)

愛慾の窓（192）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

審判（三）

「……まあ何うしたつていふんですか？　貴方が青い顔をなすつて、いつものあなたにも似合はないぢやありませんか」

実知子は眉をひそめながら、まじ／＼と黒田の顔を見戍つた。

「だつて君、これが落着いてゐられるか！　君だつて聞けば吃驚して顔色を變へるにちがひないんだ」と、黒田は衝撃的な微笑で唇を歪めた「……小森さんがね死んじまつたんだよ！」

「えツ？　小森さんが……」

実知子も喫してさーつと顔色を變へてしまつた。

「そりや何ういふ事情なんですか詳しく詳しく話して下さい……」

「……工場の方へね、群馬の小森鑛山事務所から話がかゝつて來たんだ……小森社長は銅山の爭議で向ふへ出張してゐたんだが、何でも鑛山技師や事務主任なんかと一緒に、銅山を視察してゐたらしいのだ。さうして第何番坑とかいふ坑へも入つたりしたんだね、その時、何でも爆發が起つて、みんな生埋になつてしまつたといふんだ……多分、もう助かるまいといふ報告なのだ」

「……まあ！　飛んでもないことになつたもんですわねえ！」と実知子は顫へる心臓に手を宛ながら

「……以前のあの人なら、わたし好い氣味だと思ふかも知れないわ……けど、小森さんもすつかり人間が變つて、これからはほんとうにわたし達の仲間になつて貰へるのにねえ……それに草野さんの次の公判には、大切な參考人になつてゐるのよ……若し小森さんが亡くなつたとすれば、その方もまた一頓挫だわ……」

「……僕の方もさうなのだ、もとの小森なら、われ／＼だつてざまあ見やがれ、天罰覿面だと笑つてゐるんだが……しかしあの人もすつかり心機一轉して、これからはわれ／＼プロレタリアの身方なんだ……今、死なれたら、折角の小森紡績の方の問題もまた逆轉なのだ……」

黒田も腕を拱いて、眼をつむつた。

「困つたことになつたわねえ……」

「……しかし、まだ次の報告があるだらうと思ふんだ、工場の方からも、職工長が専務のお供をして群馬の方へ急行していつたから、その後の消息もやがて判明しようと思ふんだ……まだ、絶望とは云へんよ」

「さうね、それをせめても心頼みにするより他はないわね……」

「全くだ……可哀相に、あの人もえらい目にあひつゞけだな、全く災難といふものは、來る時には手をつないでやつてくるものならね……先代が殺人罪を犯す、自殺する、女房には逃げられる、そこへまた此度はこの災難だ……」

「……それもあの人がすつかり前非を後悔して、これから人間らしく生きてゆかうとしてゐる矢先にねえ……ほんとうに意地の悪いものねえ」

「世の中のことつて、萬事そんなものなんだ……だから平素からの心掛が肝腎なのさ！」

「……それにしても、倭文子さんは何うなすつたか知ら？　わたしあの方、草野さんの公判がすむまでは、決して自殺なんかなさるまいと信じてゐるだけれど……」

そんな話をしみ／＼と交してゐるところへ、格子戸が手荒に明いて

「……郵便！　速達ですよ！」

飛んで出てみると、二通の封書速達で、実知子宛に來た手紙、鉛筆の走り書だが、はつきりと裏には倭文子といふ文字だ。

「あら！　倭文子さんからよ……」

彼女はおぼえず聲を出して叫びながら、おのゝく指で封を切つた。

——実知子さま。

今日の公判、わたしは傍聽席の一隅に身をひそませてをりました。あなたのお姿を蔭ながら眺めて、心に永別を告げました。

あの遺書が、辯護士の手から提出されたことを知つた刹那のわたしの歡び、危ふく卒倒しさうでした。よくあれがお手に入りましたのね。もうこれで思ひ置くことはありません。

満日文藝

満日柳壇

『落』　高橋月南選

大連　泉意静
落書に子は純情を生き寫し
立候補みんな落選せぬつもり

大連　華市坊
落付かれちと間の悪い御踊り
落付いて見れば部屋中とり亂れ

旅順　夏山
落付かぬ挙動が私服見逃さず
落書の似顔先生に見つけられ

大連　満山
落葉して胡藤並木明る過ぎ
落第の言譯け先生に額をつけ

春川　鴬樓
酒饒舌へ落ちたを言はぬなり

瓦房店　登志郎
下落する品へ御客の目が肥える
落成へサラの國旗がひるがへり

大連　農夫
落武者は語り傳へんものもなく
落弟も偉人となれば箔がつき

大連　愛申
墮落の夢も短かい留ヶ場

萬家嶺　一柳坊
疑惑を落ちても夢は未だつゞき
落ちてゐる煙草の數に苦力の目

大連　白山
一票の差で落選を悔しがり
昔から稲も落すに墨をぬり

大連　玉光
落札にほつと一呼吸年の暮

旅順　白榮
購兒の手紙へ娘の落付かず
結婚がきまつて落付く女の子

旅順　都一
落草に月影悲しさうに冴え

新刊紹介

▲醫學常識（第一卷）小畑惟清博士の婦人病の種々相、宇澤光德博士の小兒の榮養、川添正道博士の姙娠と出産の三篇一般に判り易く記述されてある、家庭用醫書第二回配本、東京京橋區町九東西醫學豫約出版

▲菊池寛全集（第十一回配本）長篇小説不壞の白珠に短篇小説廿七篇戯曲三篇を收錄、平凡社版豫約出版

▲新青年（新年特大號）博文館發行定價六十錢

▲文藝倶樂部（新年號）博文館發行定價五十錢

▲講談倶樂部（新年號）大日本雄辯會講談社發行定價五十錢

▲ツーリスト（十二月號）定價金五十錢、東京市麹町區丸ノ內一丁目一番地ジャパンツーリストビューロー發行

夕刊 滿洲日報 十二月十八日

露支の和平正式會議は哈爾賓で開催に決定 委員は東鐵の理事會を以てす

【ハルビン特電十八日發】續行中の露支ハバロフスク會議は十六日新にロシア側はメリニコフ氏を全權委員として加入し支那に於ける勞農領事館及び國營貿易機關の復活問題を討議し蔡全權と交渉を進めたが五月支那軍憲の武力的高壓手段により露國領事館の檢擧、家宅捜索を行ひたるは一國政府の代表機關を侮辱するものであるに鑑み將來斯かる暴擧に出ぬやう根本的に排除する意味からロシアは兩國は双務的に兩國領事館の絶對權を尊重すべきである事を要求した、尚東支問題及び其他の正式會議は場所を哈爾賓とし委員は東鐵理事會を以てする事を支那側より提案し交渉は圓滿に進行してゐると

露支兩代表は來廿日着哈

【ハルビン特電十八日發】二十日歸哈の豫定である蔡全權のため東支管理局は六輛編成の貴賓車をポグラに回送した、露國代表も來哈する由

豫備交渉圓滿に進捗

……國又は支那の國籍を取得したものは二十五日露領に押送した、貧民階級勞働者に對してはコペラチーブから食料品を供給し自由商業を許し露領から引揚を希望するものは二十一日第一回送還した比較的滿洲里は破壞個所少きも札來諾爾は民家其他に支那兵が防禦陣地を作つたゝめ徹底的に破壞され炭礦は露天掘以外採炭不能である、札來諾爾の邦人九名中

婦人三名 は二十一日領事館警察署員が同地に到り保護を加へた上六名を殘し滿洲里に引揚げた 目下市内の通貨は大洋票とチョルオネッツで同一の價格で流通してゐる、物價は二十日前に比較し二倍に暴騰した

海拉爾邦人の安否 滿洲里以上に懸念さる

【ハルビン特電十八日發】國際列車の滿洲里行を阻止された一行は支那側の無誠意に憤慨し歸哈する事になつたが海拉爾に於る米國系チャイナ・インダストリアル・バンクの露國人支配人が露支交戰のドサクサに掠奪をうけ一名慘死し銀行は掠奪されたとの報あり、其眞偽を調査する必要あり支那軍の故意に阻止する態度に米代表は憤慨してゐる、海拉爾の狀況は先月廿三日から一切不明で邦人は食料、燃料等を如何にしつゝあるかと滿洲里以上に不安がられてゐる

露軍政下の滿洲里 平穩なるも物價は二倍に暴騰 田中領事の報告內容

【ハルビン特電十七日發】滿洲里の狀況につき出中同地領事から當地日本官邊は今回左の如く詳細な報告に接した

去月十七日滿洲里の支那側代表は田中領事を訪ひ札來諾爾は勞農軍に占領され、海拉爾の援軍望みなく支那軍一部撤退中なれば勞農軍が入市すれば武裝を解除し市內の秩序を依賴すとあり、日本側で三名の委員を設け藤野書記生を派遣し支那側軍司令部員と共に十八日國境八六待避驛に向はしめ勞農側に對し

調停に立 つて欲しい、勞農

一、勞農軍は平和なる滿洲里市民に對し戰鬪行爲を中止すること
二、交渉委員の組織、會見場所、時刻を協定す
三、支那軍は武裝を解除す

の三項につき同意を認め之に對し勞農側は一は承認、二は軍使を勞農軍に派遣することゝし交渉成立し十九日勞農の砲擊は止んだ、二十日札來諾爾の勞農軍司令部から司令官が來り、田中領事と會見し梁忠甲の支那軍三千を

武裝解除 し勞農側は二千をチタに送り一千をダウリヤに駐め戰爭により破壞された個所を修理した此時一部の支那兵は掠奪放火し危險であつたが梁司令の命令で止み、日本領事館に砲彈が流れて來たのは十九日であつた、二十三日市內は全く平穩となり滿洲里の勞農軍は早くも海拉爾に前進し新たに衛戍司令部を設けられ司令官は

ロシアは戰爭を宣告するものにあらず、國境方面の支那軍が屢々平和を脅威するため之を一掃したるにある

と聲明し廿四日迄夜間通行は禁止してゐたが廿五日から八時迄許すに至りロシアの

軍政後は 支那軍隊以外の者は自由に釋放しロシア人で無罪……

滿洲に特に多い愛國の献金 取扱規則の制定が遅れて 拓務省で此頃漸やく成案

大藏省告示を以て國債償還資金の献納が許されることになつて以來、國民の誠意は各方面に現はれ殊に滿洲各地に於ては母國を離れて居る關係からか內地などに比し一層愛國的精神の發露著るしきものあり所謂「献金熱」の流行さへ見て居る。

所が大藏省では未だその献金の收納手續に就て明確な規定を得るまでに至つて居ないので目下攻究中だが何れは其內の決定を見るだらう。

◇

內規に於て先づ定めなければならぬのはその献金に對する歳入徴收官であるが內地ならば勿論各府縣の長官がこれを取扱ふことになるであらう。

然るに各植民に於てはこれを如何にするか、それ／＼組織も違ふし事情も違ふから一概にきめ難いこと言ふまでもないが、第一献納を許す大藏省告示そのものが內地にのみ公布されて居るもので植民地にもこれを適用されることにはなつて居ない。

◇

と云ふと誰しも「ぢや滿洲のやうな外國に居住してゐる者の献納は許されぬか？」と思ふかも知れぬが、まア待つた、然う早合點されては困る、この献納金——換言すれば國家に對する寄附金だから一たん許されることになつた以上內地に住まうと植民地に住まうと外國に住まうとも、居住場所の違ひなどで寄附が出來ぬ譯はない。

殊にそれが國民の愛國的精神の發露である以上——內地に於ける愛國的精神は受け入れるが、植民地や外國に居住して居る愛國的精神は受け容れぬ……其麼ベラ棒なことなんテあるものぢやない。

◇

若し大藏省告示の適用範圍の關係で歳入徴收官は內地にのみ限るとすれば、內地の府縣、例へば東京府ならば東京府へ、と纏めにして寄附すればよい譯だ。

東京府に寄附しても、その献金の落ち行く先は九州相良……ぢやない、結局納まる所は政府の國庫だ。

◇

だから此の手で行けば献金者は必ずしも日本國民である必要はない、日本の國家の恩惠を受ける外國人、例へば在滿支那人の好意も喜んで受けてよい理窟だ。

故に實際上に於ては何うするか所で拓務省邊りでも研究し、ソンなシチ面倒臭い手續きを踏まんでも、矢張り植民地關係官を直接の歳入徴收官として受け入れるやう具體案を作り既に大藏省に通牒したらしい。

故に献金問題としては案外簡單に片づけられるらしい、只お役所と云ふ所はコンな馬鹿々々しいことにも萬事暇を使はねばならぬといふ話題を茲に提供したのみだ。（東京支社の一記者）

第三國と關係ある問題には觸れまい 我全權と米長官會見

【ワシントン十七日發電】日本全權一行とアメリカ國務長官との會見につき、一部では若槻全權は英米均勢の問題、一萬噸巡洋艦問題等につき更に突き込んだ意見を述べ日米下交渉は相當廣い範圍に及ぶものとならうと考へられてゐるが確聞する處に依れば若槻、財部兩全權と國務長官との會談は第三國との關係ある問題には全然觸れない模樣である

臨時法院問題は年內に解決困難 支那側讓歩せぬ限り

【上海特電十七日發】上海臨時法院改組會議は去る九日以來南京において善後租界の會議を開いたが支那側と列國側との意見の相異甚だしく十六日の會議を最後に停頓に陷り列國代表者は同夜發列車にて當地に引揚げてしまつた支那側の消息によれば今次會議に支那側より提出した案の骨子は大要左の如きものである

一、支那の司法系統を統一するため上海臨時法院を司法行政部の管轄に移す
二、陪審觀審制を廢止す
三、司法警察と監獄を改良す

而して列國側にては右第一項に對しては何ら異議なく承諾の旨を表示したが第二項の陪審觀審制の廢止は領事裁判權に關係するところあるので極力これに反對しまた第三項に關しても、これは一種の自治機關たる上海工部局と關係あるため列國代表者としては單獨的に意見を發表するを得ず、かくて會議は停頓するに至つたもので列國の訓令到着を待ちて十九日再び開會するはずだといはれてゐるが支那側が、その主張を替へない限り臨時法院問題は今年中には解決するには至らないであらうと觀られてゐる

全米國民に好感を與ふ 華府ポ紙社說

【ワシントン十七日發電】若槻全權が渡米第一聲として日本の對軍縮態度を表明したことは全米に多大の好感を與へ、十七日ワシントンポストは社說にて左の如く述べてゐる

日本全權が本國政府の意向其儘……メリカ海軍力の如何に拘はらず其比率を保つ決心を示し且つ飽くまで軍備擴張を阻止せんとする誠意を示し其態度は確固たるものがある、アメリカ國民は一方にて一般的縮小に協力する準備と誠意を有し同時に又其國防を強硬に主張する日本國民に對し滿腔の敬意を表さゞるを得ない

日本全權に對し最大の敬意表明 米下院議長の挨拶

【ワシントン十七日發電】若槻全權一行は華府滯在第二日の本日正午過下院議長ロングワース氏を訪問したが、一行が下院に到着するやロングワース自身一行を議場に導き議事は一時中止され、議長は立つて

若槻、財部兩全權並に出淵大使に對し下院は一行を熱心に歡迎し且つ最大の敬意を表す

と述べるや滿場總立喝采の如き拍手喝采鳴りも止まず感激に滿ちた劇的光景を呈した

滿鐵明年豫算案 一兩日中に主務省へ

明五年度の滿鐵豫算認可に關して十六日は大體に於て太田長官の承認を得たが、十七日は更に植田主計主任關東廳に豫算說明材料を持參、水谷地方課長外土木、衛生、殖產、財務等關係各課に說明しかくて特記すべき事項もなく關東廳を通過することゝなつたが同廳では一兩日中直に主務省に向け副申書を添へ豫算案一切を送附の筈

警察官七八十名を州內外に增員配置 地方法院の新築は明年度着手 關東廳の新規事業

【東京特電十八日發】昭和四年度豫算に於て議會を通過したるも實行豫算で削減された關東州地方法院新築費は明五年度豫算に於て三ケ年繼續費二十數萬圓中三萬圓を計上することを大藏省より認められた、又繼續事業費中國勢調査費、長春局電信電話改良費など認められたが、旅順郵便局新築費二萬圓、工大圖書館費三萬圓は何れも次年度計上することにして削減された、警察充實費十五萬五千圓認められた結果關東廳では州內外に於て警官七、八十名の增員配置を行ふことゝなる筈

荻川放談 商賈（廿四）(134)

支那人の話は續いて、曰く、支那人側は日本人側からする滿鐵炭値下の叫びが高いので、これはまつぽと儲けて居るものと思ひしに、さて今度の値下を眺ると餘りに少額、而も工業炭に對する割引までを止めるくらゐにしての此値下からすると、餘りこれ以上の値下も出來ぬらしく、さすれば滿鐵は、日本人側がいふほど、炭價で人々の生活を脅かしては居らなんだのである、併し其値下額を積れば百五十萬圓にもなると云ふ、これは大きい、こゝぢや、若し俺じやつたら、此問題を世間に出さぬ。

◇

それで支那人なぞに、滿鐵橫暴などを思はすやうなことをせぬぞつと滿鐵に談判して、其百五十萬圓を懷には入れぬが、斯樣まつたものを、何か日本人發展の途に使ふのである、支那人として斯んなことを云へば、莫迦と笑はらるゝに違はぬが、釈は俺が支那人から日本人に位地を換へてのこと、併し日本人は正直である、莫迦である、それに日頃標榜しある滿洲での日支共榮共存を徹底させんとしては、そんな事は出來ぬ、こゝが我々支那人の有難いとこで、日本人から見て些々たる炭價値下も、日本人に比べて生活の低き支那人には、福音である、これでまた日本人との一競爭が出來ますわい。

◇

支那人の言ひ草は、滿鐵の炭價値下を、褒めるのか腐すのか判らぬが、その判らぬ裡に面白味を藏するではないか、詰まるところ外に出て、內輪同志の揉め合ひは、損こそあれ得はなく、其得をば他に奪はるゝ恐れがある、そこで筆を再び、昨今の滿鐵消費組合問題に戻すが、既に述べし如く、滿鐵消費組合にも改革の餘地があらう、滿鐵社員にも此點へ反省を求めたい、さればと云つて、小賣商側がいつもの調子で、滿鐵消費組合、それは滿鐵のことじやと、攻擊の矛先をたゞそれに向くばかりが能じやあるまい。

◇

押寄せ來る時代の趨勢と、內輪喧嘩に漁夫の利得を收めんとする第三者とに注意して、第三者とは支那人ばかりじやない、旺盛なる滿洲の發展には、外商の眼までが光つて來た、此邊にも充分な考慮を拂ふて、我小賣商の覺醒こそ大切である、聞けば在滿我商工會議所が、北滿に一肌脫ぐことになつたとか、然らば此一肌脫ぐうえに、滿鐵、滿鐵消費組合を目標にするなど云はぬが、こゝ最後に述べたところに思ひを寄せ、單に小賣のことのみならんや、延いては滿洲に於ける我商權の保持確立、發展につき盡瘁するあらんことを祈る。

鐵道會計豫算解決

【東京十八日發電】江木鐵相は十七日午後五時官邸に井上藏相を訪問し保留された二十三建設線につき協議した、五時半辭去した鐵道會計豫算は之で全部解決す

信陽奪回のため夏斗寅軍進擊中 京漢線方面の衝突

【北平十七日發電】當地に達せる情報に依れば夏斗寅軍は鐵甲車の援護に依り信陽奪回を爲すべく進擊し唐生智軍獨立五十一師と交戰中、蔣軍方、陳誠兩軍の一部は蔣氏の命に依り夏軍の應援に向ひつゝあり又洛陽附近に在つた徐源泉、王金鈺氏は何成濬氏の命と稱し許昌に向ひ前進し京漢線唐軍の後路を遮斷せんとしたが孫殿英、韓復榘三軍と交戰し双方多數の死傷者を出したと

改組派の策動を警戒

【北平十七日發電】多數の改組派黨員を抱擁せる北平各黨務指導委員會は聯合辦事處なる機關を組織して省黨部接收事件以來秘密に種々策動し居る爲め官憲當局は武裝巡査を增加し夜間は依然戒嚴令を布き警戒してゐる

市長不信任案と監督官廳の態度 或は監督權發動か

大風一過後に於ける石本市長、市會各派及び民政署側の意見並に情報を綜合すれば大略次の如きものである、即ち先づ市長は既報の

聲明書に 明かなるが如く辭意更になく所信を貫くと稱してゐる、市長排擊の市會側では市長の愛市と道義觀念に一縷の望みを囑してゐたが事態茲に至つた以上飽くまで大連市民のため、市政擁護のため石本市長辭職運動を進めて目的を貫徹すべく腕を固め、一方民政署としては市會の經過を

重大視し 慎重に之が成行を注視してゐることいふまでもない、既に紛糾が表面化したのであるから其成行次第では斷乎たる監督權を行使することになるであらうが、目下のところ直に積極的に發動する理由を認めてゐない模樣である

拓務懇談會特別委員

【東京十八日發電】十七日の拓務懇談會に於て松田拓相は各諮問案特別委員を指名したが、諮問第一號案は左の如し

朝鮮、臺灣、樺太、關東州及び南洋群島における重要產業に關し施設改善を必要とする事項如何

……委員左の如し
宮尾舜治、藤原銀次郎、櫻井軍之佐、東鄕實、阪谷芳郎、水野錬太郎、下村宏、鶴見宇八、牧山耕藏外七名

米穀調査委員會

【東京十八日發電】米穀調査會特別委員會は十七日午後一時半より首相官邸に於て開かれ米價基準案を議題として審議したが、物價指數を標準とすべしとの案と生產費及び生計費を標準とすべしとの案と一般物價に米價趨勢を加味して基準を設定すとの三案につき討議したが容易に決定せず其儘四時散會、次回は二十日開會し農業倉庫獎勵案、低利資金融通案、特別會計缺損金補塡案を附議するはずである

八千代生命整理案

【東京十八日發電】商工省は八千代生命問題につき十七日商相官邸に省議を開き契約金額切下げは二割と否定し、未拂込み三百八十萬圓は理論上徴收するが徴收不能の分は之を抛棄することに決定した

露字紙記者一行 大連埠頭を視察 けふ、滿鐵の案內で

十七日來連した在哈露字新聞記者ザリヤ社ウフトモスキー氏外三氏は十八日午後一時繁忙期の大連埠頭を視察すべく滿鐵差廻しの自動車で來り先づ埠頭ビル屋上において關根船舶長、合田機械係員紺野案內係員等より現在における埠頭の施設及び荷役狀況、特に保管能力等に關し詳細に說明を與へた上小蒸汽奉天丸にて港內を一巡し寺兒溝棧橋に上陸豆油重油タンクを見學し次いで新設の穀類燻蒸乾燥場の說明を聞きヤマトホテルに引揚げた、尚十九日も午前九時より到着貨車、荷卸狀況保管狀況カーダンバー、三十一三十二倉庫の豆粕混保狀況、十號倉庫、船客待合所六號倉庫並に岸壁荷役狀況を視察し最後に第四埠頭の特定バースを見學すると

旅大視察日程

十七日夜來連した露字新聞記者團一行四名は十八日午前鐵道部を訪問後大藏、小日山兩理事に會見挨拶をなし涉外課員の案內で市內を見物したが午後一時より四時頃まで埠頭設備を見學する筈、尚十九日も午前中埠頭を視察する豫定であるが午後は福昌華工會社の寺兒溝苦力宿舍、中央試驗所、沙河口工場其の他を見學二十日自動車で旅順に赴き戰跡を視察後旅順發列車で歸途につく豫定

西國獨裁政治廢止

【マドリッド十六日發電】スペイン首相プリモ、ド、リヴェラ將軍は新聞記者に對し明年中に適當の時機に獨裁政治を廢止する意向あることを斷言した

滿鐵東鐵連絡運賃割引

滿鐵、東鐵連絡輸入貨物に對する季節運賃割引は目下兩鐵道に於て協議打ち合せ中なるが前年の例により割引は多分十七、八日頃より實施されやう、該割引は勿論概ね期までのものであるが本年は長春發のものにも適用されることゝな

人事

▲遠藤隆清氏（醫學博士）十八日香港丸にて內地へ
▲高橋是孝氏（商工省官吏）同上
▲白川友一氏（實業家）同上
▲原田猪八郎氏（同）同上
▲日本國民高等學校生徒一行二十三名 野々山彥猛氏に引率され同上
▲松永傳事氏（天津丸事務長）十八日大連丸にて青島へ

大觀小觀

陸軍部內の疑獄運動も甲斐なく、前朝鮮總督陸軍大將山梨半造閣下朝鮮疑獄事件で遂に起訴さる。

◇

時も時、日を同じうして前文相小橋一太氏は越後鐵道事件で檢事局に召喚取調を受けた。

◇

植民地の統治主腦者や文教の最高府にある者にしてこの忌まはしき疑獄事件を見るは聖代不祥事の極。

◇

自國軍の非違を糊塗せんがために國際列車の運行を阻止する支那軍が、住民に勞農飛機の襲擊を恐れられたのは當然。

◇

治外法權撤廢が遲れる原因が、支那自體にあること、之でも判る。

◇

露支正式會議、愈々ハルビンで開くに決定、交渉の圓滿成立を望む。

天氣豫報

十九日（西の風）晴れ

	昨日最低	十一時
大連	零下二、九	零下一〇、六
旅順	同 一〇、七	同 一〇、四
營口	同 一七、八	同 一二、五
奉天	同 二三、一	同 一五、五
長春	同 二〇、三	同 一六、七

前文部大臣小橋一太氏 今朝遂ひに召喚さる

警視廳刑事と同行し檢事局へ

越鐵事件の收賄嫌疑

【東京十八日發電至急報】豫て病氣の理由で東京檢事局の召喚に應じなかつた小橋前文相は十八日朝七時五十分拘引狀を發せられ警視廳刑事と同行檢事局に連行直に石郷岡檢事の取調が開始されたが、右は越後鐵道事件で佐竹三吾氏を通じ二萬圓を收受したる嫌疑に因るものである

起訴か否か各方面から注目されてゐたが、十七日午前九時大阪着の列車にて密かに來阪した宮田氏は直ちに大阪檢事局に出頭夕刻に至るまで長時間の取調べを受けた同氏は峻烈に取り調べられたるもその七萬八千圓は全く運動費金等とは思はず單なる政黨への寄附として受け取つたものだと抗辯し續けて居り目下豫審中の平渡信氏と對質訊問の上起訴不起訴の決定が與へられる模樣である

山梨前總督を繞る 詐欺收賄瀆職事件

道廳移轉と取引所運動が中心

けふ記事解禁さる

【東京十八日發電】所謂朝鮮事件として大田道廳移轉問題釜山取引所事件に關し山梨前總督を中心として總督府囑託尾間立顯京城の有力者大村百藏谷野滿藏等の詐僞收賄瀆職事件は新聞記者の恐喝事件に端を發して昭和四年六月檢擧引續き審理中の處事件は次から次と芋蔓的に發展遂に山梨大將の身邊に累を及ぼすに至り當局は朝鮮統治上重大關係ありとして新聞記事の掲載を禁止し審理を進めつゝあつたが、山梨大將は陸軍首腦部の勸告たる一切の位記を返上して謹愼する模樣もなく濱口首相は十七日渡邊法相宇垣陸相と長時間に亘り凝議の結果遂に起訴手續を執る事となり本日午前十一時に御裁可を仰ぎ一切の手續を終り本日午後三時記事の解禁を行ふ事となつた

取引所新設の運動費 金五萬圓を受取る

事件は東京に移し取調

【東京十八日發電】事件發覺と同時に東京地方裁判所よりは北條檢事が京城に出張各種事件につき綾然なる取り調べを行ひ中心人物たる

肥田理吉 を京城より東京地方裁判所に護送審理を續行した結果、山梨大將の瀆職嫌疑は漸次濃厚となり數次に亘つて司法首腦部會議を重ね十一月二十日遂に任意出頭の形式を以つて鎌倉の別邸より東京地方裁判所に召喚し北條檢事が取り調べたる上更に秋山豫審判事に依つて朝鮮内地の詐欺事件(被告肥田理吉)の證人として取り調べを行ひ歸宅を許し二十二日再度召喚訊問をなしたのであるが

その結果 昨年十二月中四谷大番町の自邸に於て川崎商事會社々長川崎德之助氏より金五萬圓を收受した事は自白したが取引所新設等の事につき便宜を與ふる内諾の下に收受したものではなく政治的の意味合ひから寄附的に融通を受けたもので、後日に至つて肥田の策動があつて右の如き不純な金だと知つたから之れを突き返したと述べ此の日も歸宅を許されてゐたが、取調べの進捗と共に當日川崎德之助氏より取引所問題には一言も觸れなかつたが

同席して ゐた肥田氏は露骨に金錢贈與の意味を取引所設置に關する運動金なる旨を云つた事判明するに至り檢事局に於ては直ちに起訴する意嚮であつたが、政府部内に於ては山梨大將が一切の位記を返上して謹愼の意を表すれば事件は朝鮮統治上にも重大なる影響あり不起訴とする意見を有し陸軍首腦部より種々勸告する處あつたが大將は此の勸告に對して何等誠意なく遂に起訴を決するに至つた、此の間十一月二十一日辯護士大井靜雄ブローカー後藤長等、波津久劍の三名を

召喚して 何れも肥田と共に策動した事實明瞭となつたので直ちに瀆職並びに詐欺罪として起訴收容するに至つた

關係者氏名

山梨半造 前朝鮮總督 陸軍大將(起訴決定一兩日中御裁可を仰ぐ筈)

肥田理吉 (十一月十二日京城地方法院より東京檢事局に護送、同日市ケ谷刑務所に收容「瀆職罪」として起訴)

川崎德之助 日本橋、川崎商事會社々長(十一月廿三日不拘束のまゝ「贈賄瀆職罪」として起訴)

川崎謙三 德之助の嗣子(父と同樣の罪にて不拘束のまゝ十一月二十三日起訴)

大井靜雄 府下大久保百人町三十一番地、辯護士(十一月二十一日收容「詐欺並びに瀆職幇助罪」として起訴)

後藤長榮 府下蒲田町北蒲田五八八番地(十一月二十一日收容「同上」起訴)

波津久劍 第二復興局疑獄で服役中(十一月二十二日「同上」起訴)

大村百藏 京城府元町一丁目七八(本籍福井縣福井市佐佳枝上町四〇)元京城府協議員、會社員

谷野滿藏 京城府太平通二丁目三二六(本籍鳥取縣西伯郡高麗村)會社員

尾間立顯 (本籍東京市赤坂區青山原宿)元總督府囑託、無職

瀆職罪として 山梨氏起訴

けふ上奏し御裁可

【東京至急報十八日發】濱口總理は十八日午前十一時館内閣書記官の手で山梨前朝鮮總督起訴の上奏手續をとり御裁可を得た東京檢事局では直に同氏を瀆職罪で起訴した

平渡氏と 對質訊問

宮田氏大阪 檢事局出頭

【大阪十七日發電】和歌山新設問題に絡まり平渡信氏より七萬八千圓の金を受け取り問題の渦中に捲き込まれて金は引き出したものゝ[illegible]元[illegible]宮田光雄氏は起訴か不

熊本縣下の 堤防決潰

被害莫大

【熊本十八日發電】八代郡金剛村明治新田の堤防は十六日朝十時の滿潮時ごろより決潰し始め十一時に至り四十間破壞し濁水は新田内に浸入したので村民は命からぐ避難し浸水家屋五十戸、田畑四百町歩に及んだが、十七日朝滿潮時には十六日よりも三尺高く浸水家屋三十戸を增しいれも屋根だけが浮び居る有樣で家屋流失家屋多數あり家畜類は流され村民は着のみ着のまゝで避難するなど慘狀目も當てられず、殊に測候所にては十七日暴風警報を發したので日奈久警察署では青年團消防組在郷軍人消防の總動員を行ひ警戒に努めてゐる、なほ大坪川尻の閘門は破られ金剛村數川の田畑は浸水し金剛、日奈久沿岸は大混亂を呈した

年賀郵便の 差出しに注意

取扱ひは二十日から

大連郵便局では例年の通り本年もこの二十日から二十九日まで年賀郵便特別取扱を開始するが、昨年から取扱種別が第一種郵便物(書狀)第二種郵便物(葉書)第四種郵便物の内名刺の三種類に限定されたから從前の樣にカレンダー類の嵩高郵便物は取扱はない、殊に名刺入小形開封ものは取扱上不便なばかりでなく往々間違ひが多いから出來るだけ避けられ度いと局では希望してゐる、また差出しに際し少數の時は封筒に納め、多數の場合は別途配布の「年賀郵便特別取扱」の宣傳ビラを使用するか又は表面に成る丈け「年賀郵便」と朱書し緊縛の上差出すがよろしいとのことである

尚ほ十二月三十一日から一月五日迄は一般郵便物が非常に輻湊するから内地及び朝鮮行の通常郵書は幾分遲延するから急ぐ通信は封書(四匁毎に三錢)又は封緘はがきを用ゆる方が便利で肩書は詳しく書かれたしと

歐洲遠征の 愈よ壯途に上る

來る廿五日奉天出發

醫大アイスホッケー部選手

【奉天特電十八日發】滿洲醫大アイスホッケー部選手一行は十川教授に引率され愈々二十五日花々しく歐洲遠征の途につく事になつたが、本年始めて日本から遠征の途に上る重大な責任があるだけに各選手の意氣込み物凄く毎日朝夕の二回に亘り猛練習を續けてゐる、既に準備も萬端整つたので十六日午後四時から體育館に於て選手一行の前途の成功を祈れる悲壯な送別會が開かれた、猶旅行日程と試合日程は左の如く決定した

旅行日程 ▲十二月廿五日十五時三十分發安奉線急行で出發▲同廿六日釜山着▲同廿七日下關發▲同日京都着▲同廿八日敦賀出帆▲同卅日浦鹽斯德着▲同卅一日浦鹽斯德發ウスリー線經由赴歐▲一月十二日伯林着▲同二十二日瑞西着▲同廿五日佛國シヤモニー着▲二月三日パリー着▲同六日倫敦着▲同十一日伯林着▲同十三日歸國の途に着く(西比利亞線經由)▲三月三日六時廿分歸奉

試合日程 一月十二日より伯林において伯林學生チーム並に伯林倶樂部その他二、三のチームと試合▲同廿二日より瑞西に於てインターナショナル倶樂部その他歐洲各地より來れるチームと試合▲同廿五日よりシヤモニーに於て全歐洲スケート選手權大會でカナダ、トロント大學チームと試合▲二月三日よりパリーに於て倶樂部チームと試合▲同六日より倫敦に於てオクスフォード及びケンブリッヂ兩大學並に倫敦倶樂部チームと試合▲同九日より伯林にて練習見學

奉中は三十日に出發の筈

ラ式爭覇戰へ

醫大奉中出場

全滿インターカレッヂラグビー選手權大會の覇者奉天醫大豫科及び中等學校の優勝校奉天中學兩チームは來春早々花園(前者)及び甲子園(後者)グラウンドで擧行される全日本專門學校及中等學校優勝ラグビー蹴球大會に出場する事となり、醫大チーム一行二十五名は二十七日大連出帆の定期船で内地に遠征する事に決定した、またぬと

雪で滑って落命

けさ檢番の車夫が浪速町で

十八日午前十時頃市内美濃町大連檢番方車夫李元貴(三)は藝妓を乘せ浪速町伊勢町角に差蒐りたる際昨日來の寒氣の爲め凍結した路上に足を滑らし轉倒したが腦震盪を起し人事不省に陷つたので直ちに小幽子宏濟病院に擔ぎ込み手當を加へたが死亡した

落部外郊の那支たつ埋に雪

大連航空線 急行便

四月から開始

【東京十八日發電】日本航空輸送會社の東京、京城、大連間の航路は早朝東京を出發した乘客は其の日蔚山に一泊し翌日でなければ京城に行けず、又大連を早朝に出發すれば同じく蔚山に泊つて翌日でなければ内地に行けぬ有樣にあるが、此の不便を除くため新に急行便を開始し明年四月より蔚山に一泊せずに東京、京城間は約九時間、大連、福岡間約七時間で直行するやうにされることゝなつた急行便の回數は一週一回とする計畫であるが都合に依つては當分上下の内一線だけにとゞめるやも知れぬと

共產黨の公判 明春に延期

二月頃から再開續行の豫定

被告五名が保釋出獄

滿洲共產黨事件公判第六日目は愈々十八日午前十時より證據調に移る筈のところ昨日來風邪の爲發熱し出廷してゐた川畑陪席判官は本日遂に缺席したため公判を延期し證據調べ及び辯論は來春二月頃再開續行する豫定である、尚未決收容中の五被告は夫々保釋金五十圓を納め十八日保釋出獄を許された

松田豐市内八幡町二古賀辯護士方△伊藤進止郎同△田中鶴男市内伏見町十四番地三の二迫喜平次方△廣瀬滿市内聖德街二百一九七立川辯護士方△小林周三同

靜岡高校の 同盟休校

試驗延期から

【靜岡十八日發電】靜岡高等學校では選手制度廢止問題につき學校當局と生徒間に十餘日に亘り睨み合を續けてゐたが、同校長の同盟中止撤回と云ふ事で解決を告げ試驗をしなかつたから試驗を來月迄延期され度いと陳情したが校長は之を拒絕したので全生徒百名は十七日午後六時全生徒大會を開き十八日より同盟休校をことを決議した

ダグ夫妻が 撮影所へ

けふ奈良見物

【京都十七日發電】京都に於て沸き返る歡迎を受けてゐるダグ夫妻は午後三時から各撮影所を訪問した先づ日活では仲木嘉一、大河内傳次郎、酒井米子、夏川靜江等のスターと握手を交し太刀を拔いて振り廻す等要領を振り撒き次で阪妻を訪ひ妻三郎から「波平行安」の銘刀を贈られ更に牧野東京を訪ひ本語で別れを告げ更に松竹の下加茂撮影所を訪れダグは鍍扇とメリーは友染襦袢を贈られ子供の樣に喜び夕闇迫る頃物凄い人波を分けてホテルに歸つた尚明日は奈良に向ひ夕方大阪放送局からファンに向つてラジオで挨拶をなす筈である

市外電話線 殆んど全通

市内線に故障

電話の使用障碍は既に電信と共に餘線修理し扇子線と普蘭店も本日中には全通の見、であるが市外電話も殆ど全通し最早の御用上別段支障なきに至つた距離線も相當電線を除き全て復した

るに大連市内線は昨十七日の氣のため僅かに一線線出し今約百回線の障碍を有する狀況であるが目下鋭意修理のため別市内班を組織し極力復舊工事急いでゐるので間もなく回復するものと見られてゐる

天滿屋ビル 近く許可

救助袋を用意

先月末既に竣工したが設備不完全のため營業を許可されぬ市内常盤橋際天滿屋ホテルに關しては十七日午後大連署原田保安主任現場に赴き實地調査したが、營業者側の懇請に依り來春解氷期を待つて非常梯子を取り付ける事を條件とし取敢ず救命袋を用意せしめて數日中に營業許可する事に決した

岸上博士遺骸

十九日上海着

【上海十七日發電】長江魚類調査中四川省成都に於て客死した岸上博士の遺骸は十九日日淸汽船大古丸で當地着の筈であるが、當地では祖光總領事發起で二十日告別式を行ひ遺骸は茶毘に附し博士の長男俊彦、次男多彦兩氏が二十二日發巴里丸で持ち歸ることゝなつた

支那人の凍死

十八日午前七時市内淺間町二四番昌公司新倉庫内に氏名不詳年齡二十二、三歲位の苦力體の支人が凍死してゐるのを發見取調べたところ前夜倉庫内に入り込み寢を貪いて眠つた儘窒息死し更に寒氣のため凍死したものらしい

昨夜大連て 地震を觀測

昨夜七時過ぎ近來稀なる遠地地震あり大連測候所の觀測に發震時は七時、七分五十八秒、初期微動繼續時間は十分四十秒、最大動廿七分十一秒に起り其全震幅は六千三百五十ミクロ、週期は五秒五、全震動は一時間五十分四十八秒、震源距離は大連より四千九百六十キロメートル東京の遙か東方三千キロメートルの海底で東京附近は相當大きく震動を感ぜられたことゝ思はれるが發震地が海底で且つ遠距離であつた爲め陸地には被害はなかつたものと觀察されると

家出人歸る

本紙夕刊既報の當時浪速ホテル止宿高島實(二二)は東京の實母より保護方を大連署宛依頼して來た處同人は十六日外出の儘歸宅せず漸々心配り搜査中であつたが十七日午後六時頃同ホテルにひよつこり歸宿して來たので直に大連署にては保護を加へ實母の引取りを待つてゐる

台所メモ

品名		前日	今日
いか	百匁	四五	三〇
たこ	同	三五	一五
ちぬ	同	四〇	二〇
かき	同	一六	一〇
なまこ	同	二三	一〇
にんじん	同	三	七
ごぼう	同	七	二
さとう芋	同	六	五
かぶら菜	同	二	四
白菜	同	三	二
ほうれん草	同	七	二
ねぎ	同	四	四
大根	同	四	三
水菜	同	二	二
ウド	同	〇	一
蜜柑	同	一三	一八

平安異香（203）

葉多默太郎作　中一彌畫

奔流（一）

禪臨寺の辻の立札——

何か變つたことでも起つたのかと思ひ、もしや尋ね人の札ではないかとも思つて群衆の肩越しに覗くと、眞白の板に、目に滲いやうな濃い墨で

大和山の賊徒の張本冷泉夢之助の首級を持參したらん者には、勸賞所望にまかすべし。

治承四年八月　檢非違使廳

そして巧な似顏の圖が、立札の大半を占めて、あざやかに書かれてゐる。

幸は思はずはつとなつた。が、人に疑はれてはと、被衣を綿深く下して面を包んだ。が、人の噂が聞きたくて、俄に立去ることは出來ない。

「持參したらん者には、勸賞所望にまかすべし、か。おい、所望にまかすべしだとよ。夢之助の素首を擾いて、黄金五百枚でもせしめるか」

「黄金五百枚、大きな話だ。だがおぬしなら黄金五百枚よりも、もつと欲しいものがあらうが」

「欲しいもの？何だな」

「所望にまかすべしだから何でもしてくれる。お前が坊と添へますやうに、一つ頑固な親父を説伏して下さりませ——どうだ、さうだらう」

「馬鹿なことをいふな。」人が笑つてゐる」

つまらない話なので、左の耳へ來る噂に耳をすます。

「今更、足下から鳥が立つたやうに——何かあつたのでせうかね」

「近頃、夢之助が一味徒黨を引連れて、京に潛伏してゐるといふ噂を聞きましたよ。だから……」

「さうですか。そりや大變だ。今に何か始めるでせうな」

「どうもね、さうらしい。何しろあんな男のことだから」

「しかし、お前さん、私共微之人は大丈夫でせうな。夢之助といふ男は、賊は賊でも大物ばかり狙つて、弱い者いぢめはしないさうぢやありませんか」

「いや、なんでも、此度やらうといふのは物盗りやなんか、そんな小ぽけな話ではない。天下を奪らうといふ大それたことを目論んでゐるのださうですよ」

「それぢや、やつぱり源氏方ですかな」

「それは分らない。源氏の騷ぎに乘じて、火事場泥棒をやらうといふつもりかも知れません」

「それぢやどつちにしても一騷ぎですな。こりやどうも困つたことだ」

彼方の話も此方の話も大體これに似たやうな話、つまり夢之助が一生一代の大仕事をやらうとして、既に一味と共に京洛の何處かに潛んでゐるらしいといふのだつた。

聞いてゐるうちに、幸は落着かぬ心持になつた。一刻もぢつとしてゐられないやうな不安が、胸を波うたせるのだつた。春光に取返しのつかぬ事が起りかけてゐるやうな氣がしてならない。どうでもかうでも探しあてゝ、此度こそはどんなことがあつても離れまい。放したら最後、もう二度と會はれないかも知れない。それにしても何處を探せばよいのだらう——心はあせるが、足の向けやうもない。

ふとして、この群衆の中に、姿を變へて紛れこんでゐるやうなことはあるまいかとも思はれて、つぶさに一人一人の顔を見廻したが、それらしい者は見つからなかつた。とにかく、廻り會ふまで、歩き廻つてみるより仕方がない——

踵を返して歩き出した。

その時、群衆にまぢつてあんぐり口を開けて立札を見てゐた一人の男、手頃な木羅を肩から臑へかけ、大きな鏡を掲げた鏡磨師らしい男が、かたはらの百姓風體の小兵な男に、意味ありげな目をくれた。

同時に、百姓男は歩きだしてゐる、幸の後から附かず離れず——

映畫と演藝

浪速館のプロ　松竹映畫編入

浪速館にては既報の如く南帝國館主より松竹映畫を毎週一本づゝ配給を受けることゝなりその上映期は未定であつたが、愈々明十九日よりプロに編入することに決定し第一回は右太衛門映畫「三下野郎」を上映すると、同経營者その他の名義一切を吉田氏に書換へるとのことである

協和會館映畫會

久し振りで滿鐵社員俱樂部主催の下に十九日午後六時半より協和會館で映畫會が催されるが、物はジヤックロンドンの「海の狼」七卷と「大西洋横斷」八卷で會費は五十錢と三十錢會員外八十錢である

噂話

小波氏の葬儀で上京を一日延期した長大日活館主はけふの船で正月のプロ編成に内地へ▲大日活の食堂はけふから愈々開業することになつたが、日本間はまだ未完成▲浪速館を名義上經營することになつた吉田氏は館の從業員を[illegible]に招待して今夜鬪つなぎをやる▲大日活の滿日讀者慰安映畫會は連日雪の惡天候であつたが素晴らしい景氣で昨日盛況裡に終つた▲けふから寫眞替であるが既報の番組以外にダニエル孃の「女シーク」を加へて三本立になつた▲帝國館は「江戸育ち」と「鳥邊山心中」で長二郎週間と言つたところ▲演藝館はモンテイ・バンクスの「無理矢理空の大統領」を上映して譯もなく笑はしてゐるが竹井昌二郎氏が解說

◇◇百面相◇◇ 滅び行く江戸寄席藝人の狂戀を描いた小杉勇主演梅村蓉子助演の日活現代劇作品で如月敏の原作脚色伊奈精一の監督になる十卷物（大日活上映）

映畫案内

滿洲日報

ハーレーダビッドソン

正隆銀行
頭取
安田善四郎

自家製造 品質本位
カバン馬具
ゴルフバッグ
寫眞ケース
銃獵具
パッキング
滿團袋
電話三三五三番
堀井商店
大連西通四八野津ビル

白堊館「赤の間」に我全權ら 米大統領を正式訪問
十五分で辭去、海軍長官を歷訪 出迎への答禮をなす

【ワシントン十六日發電】若槻、財部兩全權、川崎、榊山、山川、安保四顧問、左近司中將、山本少將、齋藤情報部長等の一行は本日午後二時十五分白堊館にフーヴァー大統領を公式に訪問した一行は先づ綠の間で小憩後大廣間の赤の間で大統領フーヴァー氏を始め駐日臨時大使キャッスル氏、駐支公使ヂョンソン氏等に出淵大使より一々紹介されて握手を交換した、次で若槻全權は今次の旅行で米國政府及び國民より各地にて熱心なる歡迎行爲を受けた事を感謝する、日本國民は一齊に今回の會議の成功を禱つて居り自分も微力を盡し成功を期待し各國の協力を熱望すると挨拶をなしこれに對してフーヴァー大統領は大切なる使命を帶びた旅行中立ち寄られた厚意を深謝すると答へ會見十五分で若槻全權一行は白堊館を辭した、一行は次いで國務省に國務長官スチムソン氏海軍省に海軍長官アダムス氏を歷訪し出迎へに對し答禮の挨拶をなした

七割保持讓步の餘地なし
若槻全權の率直明快な態度を 米國記者團賞讚す

【ワシントン十六日發電】若槻全權は本日日本大使館に日米記者團を引見し

若しアメリカが一萬噸巡洋艦二十一隻を主張する場合には日本はその七割保持を主張するや

との質問に對し

日本は攻むるに足らず守るに充分なる國防安全の最少限度の勢力維持を欲するもので、潛水艦は別として他國の最高勢力の七割維持主張には讓步の餘地なし

と答へ主力艦廢止問題、英、米の均勢問題を論じ、更に潛水艦に就いては佛伊兩國と關係なく專ら帝國の國防上該艦數の維持を必要とすると明確に斷言し、五十名以上のアメリカ記者の質問に一々卽答を與へ鮮かに應答したので米國記者等は全權の率直明快な態度を賞讚した

滿足な空氣の裡に 話は進捗してゐる
スチムソン國務長官と會見後 若槻全權欣然語る

【ワシントン十七日發電】本日午後若槻、財部兩全權及び出淵大使はアメリカ國務長官スチムソン氏と會見したが、會見後若槻全權を訪へば上機嫌にて語る

ステートメント中に發表すること以外には一切話せぬが、スチムソン夫人手づから紅茶のもてなしをして呉れた位ゐだから察して貰ひ度い、スチムソン氏は風邪をひいてゐたが、それを押して話を進めるので先方の熱誠と共意獨が窺はれる、內容は話せぬが滿足すべき空氣の裡に話が進んでゐる

大審院長訪問 若槻財部兩全權

【ワシントン十七日發電】若槻、財部兩全權は今朝出淵大使に伴はれて大審院長タフト氏を訪問した

兩全權の訪問を受けたタフト氏は階上に招じ入れ先年日本を訪問した時の懷舊談を爲し殊に明治大帝の御遺德につき種々思出を語つた尙スチムソン國務長官との會見はスチムソン氏病氣の爲め同氏の私邸で行はれる事に變更された

日本服姿の 財部夫人 記者の訪問責め

【ワシントン十六日發電】日本軍縮全權一行中の紅一點たる財部全權夫人は婦人第一の米國では大持てで夫人のあでやかな裾模樣紋附の日本服姿は興味の中心となり新聞記者連の訪問責に會つてゐる

英佛首相が 非公式に會見？
主要問題審議のため

【パリ十六日發電】ロンドン會議の重要問題を審議するため佛國首相タルデュー氏は兩三日中に英國首相マクドナルド氏と非公式の會見をなすやも知れぬと見られてゐる、ロンドン會議佛國代表は首相タルデュー、外相ブリアン、海相レーグ三氏のほか拓殖相ピエトリ氏も加はる模樣で、ブリアン外相が中途で歸國する時は外務省總務局長ベルトロー氏が出席するであらうと、ロンドン會議に對する佛國側の態度決定のため今朝各省聯合會議が開かれたが、ロンドン會議で成立すべき取り極めは最終的のものでなく國際聯盟にて改訂を加へ得べきものであるとの意見が有力であつた模樣である、尙イタリーの對佛海軍均勢要求問題は協定商議着々進捗してゐる模樣である

拓務懇談會

【東京十七日發電】拓務省主催第二回拓務懇談會は十七日午後二時より工業俱樂部に開會、拓務省側より松田拓相、小坂、小村兩次官以下關係局課長、來賓側は齋藤朝鮮總督、樺太長官、橫田南洋長官始め學者實業家等約九十名出席先づ松田拓相より挨拶し次で諮問事項たる

一、朝鮮、臺灣、樺太、關東州、南洋群島等の重要產業關係
二、移植民關係
三、海外拓殖事業關係

の三方面に分けて討議を願ひたいと挨拶し次で諮問事項たる

一、朝鮮、臺灣、關東州、南洋群島等に於ける重要產業に關し施設改善を必要とする事項如何
一、我國の現狀に鑑み移植民の獎勵並に保護、指導上特に改善を行ひ又は新たなる施設をなすを必要とする事項如何
一、我が邦人の海外に於ける拓殖事業の指導獎勵上特に改善を行ひ又は新たなる施設をなすを必要とする事項如何

を提出議題に供し質問應答の後夫々各委員會に附託し晩餐を共にしたるのち八時散會した

未着手の鐵道線 廿三線を削除
十七日閣議で承認

【東京十七日發電】江木鐵相は十七日の閣議にて六十一線の鐵道建設未着手線中より五條阪本線（京都、和歌山）間以下二十三線を削除する件を附議し閣議の承認を得る處があつた

閣議決定事項

【東京十七日發電】十七日の定例閣議は午前十時半より首相官邸に開會江木鐵相より來年度鐵道建設改良事業の立案につき說明し議政務を決定暫時半散會した、決定事項左の如し

一、監獄官制中改正の件外十二件
一、特別會計第二豫備金支出の件
（臺灣其の他風水害）
一、國庫剩餘金支出の件
一、衆議院議決、建議及び請願三件處理の件

樞府本會議

【東京十八日發電】樞密院定例本會議は十八日午前十時から宮中東溜間にて開會

一、日本國と致馬共和國間通商航海條約新定取極に關する件
一、日本國と南米秘露共和國間通商航海條約更正に關する件

を可決し午前十時半散會した

打切線の緩和で
貴院各派態度硬化

【東京十七日發電】鐵道新線打切問題に關し貴族院側では研究會が先づ十六日の常務委員會で反對の意志を表明したのを始め公正會同和會方面でも

一、臺灣特別會計より三百萬圓融通をなすことは特別會計を設けたる本旨に反するのみならず既に決定せる各特別會計公債半減の政府の方針を根本的に覆へすものである
二、與黨の反對に依り新線打切計畫が斯く變更緩和されることは鐵道當局に確たる方針無きことを暴露するのみならず國民に黨略の疑ひを濃厚ならしめ政黨に對する信用益々失墜せん

等の諸理由を擧げ反對意見を抱懷して居り、貴院各派を通じ險惡の空氣漸く高まらんとしてゐる

解散は休會明け
研究會常務委員會で觀測

【東京十六日發電】貴族院研究會は十六日午後二時より常務委員會を開き五十七議會に臨む準備打合せをなしたるのち議會解散問題につき意見交換の結果

一、解散回避運動ありと言はれるが解散は避け得られぬであらう
しかし年內解散說は無理が多いから休會明けとなるであらう
二、政府は與黨の反對に潰ひ鐵道

『解散避け得べし』 政友會で樂觀氣分
超黨派的二重大問題を擧げて 元老側說落しの噂さ

【東京特電十七日發】議會召集も愈々數日の後に迫り政府及び與黨は解散斷行の大旆を高く掲げて着々これが準備を整へつゝあるに對し、野黨の政友會は未だ疑獄事件の進展を信じ對議會根本方針の確立を見ず黨內の意向は區々として犬養總裁はじめ一般の空氣は解散は免れ得べしとの樂觀々念に捉はれてゐる事實は見逃せない政府の

解散方針 聞き今日、政友會が議會開會を目前に控へて尙消極的觀念に支配され議會鬪志を缺いてゐる理由に就いては疑獄事件の進展による政機轉換を過信してゐる事も一つの原因ではあるが傳へらるゝ處によると犬養總裁は最近牧野內府らと頻々と交通してこれを通じて元老方面に對し金解禁の

善後處置 ロンドン軍縮會議の二大重要問題は國家安危の岐る處で、その處置を一步過らんか償に憂ふべき結果を招來せぬとも限らぬ、斯る超黨派的問題は擧國一致的決意を以て解決に當るべきである、政友會としては解散もとより恐るゝ處ではないが、國家が斯の如き重大問題を控えて政爭のための解散に猪突する事は國家のため寧ろ避くべきであるとの趣旨を吹き込み相當の信認を得たと謂はれてゐる、政友會方面では政府が解散を

奏請する 段取となつても元老その他の方面で之を默許すまいと觀て居り、これらの原因より政友會は解散避け得べしとの樂觀氣分に捉はれ、犬養總裁以下幹部は表面頗る平靜を裝つてゐる次第で、一方最近漸く熾烈となつて來た小泉策太郎氏らを中心とする解散回避運動の態度は非政友の立場と關連して議會開會後如何なる形に於て現れて來るか各方面より多大の興味を以て觀られてゐる

漢冶萍債權 肩替りに決定

【東京十七日發電】漢冶萍公司に對する預金部債權元利合計四千四百萬圓を製鐵所特別會計に肩替りの問題は大藏、商工兩當局間で折衝中のところ、十七日閣議席上井上藏相と俵商相と交涉の結果、四千四百萬圓全額製鐵所特別會計に肩替りするに略意見一致し、その具體的條件としては四十ケ年賦償還利率年四分とするに大體決定を見た

關東廳豫算と州稅制

【東京特電十七日發】明年度關東

られた稅制々度調査費は三年間位の繼續を以て行はれるもので、州稅制の體系を整へ負擔の均衡を圖るため先づ係員の人員增加をなし根本的研究をすることゝなつてゐるが地方稅中の根幹を成す營業稅は內地の制度に則り營業收益稅に改めるべく、また第三種所得稅の實施に就いても種々攻究し州內の實情に應じて稅率を決定する筈

新線打切りも變更し臺灣の公債發行額を流用することゝしたのは怪しからぬ、此の點よりも州道會議を權威あるものとし政府の勝手出來ぬ樣にせねばならぬといふ意見一致し同四時散會した

對支文化事業の 支那委員總辭職す
今後同事業に參加する勿れと 行政院に對し命令

【上海特電十八日發】國民政府は行政院に對し教育外交兩部をして日支東方文化事業總委員會の支那側委員柯劭忞氏等及び同上海自然科學研究會支那側委員秦汾氏等十數名の支那側委員を全部辭職させ再び同文化事業に參加せしめざるやう命令した

滿洲の將來
太平洋調査會の反響
(5)……保々隆矣

小マクドナルド君の批評

京都會議に出席せる外人中に特に人の眼をひき、大もてに、もてた一人は現英首相マクドナルド氏の令息であつた。親爺の光もあるが父現在下院議員であるロンドン市會議員でもあり若くて、明るい人であるからである不肖でない此子の父は恰もチヤタムが子のピットを訓へたる樣に[illegible]は日英國の大宰相にでも仕立つる考からか、其小手調べにとて日本見物をかねて此小國際會議にヘルシャム卿と共に出席せしめた。言ふ迄もなくヘ氏は保守黨の一方の首領であり、前內閣の一員で上院議長でもあつたので、小マック君とは反對黨であるこれが日本ならば平家の公達が源氏の大將と同道するので六ケ敷皮肉ばかりであらうがそこが英國政界のフェアな所で、佐

原君の話によると二人は極めて仲好しで何時でもキャッ〳〵と言つて居る、小マ君は京都の有志から毎日招かれて、秋の紅葉に旅の疲れを慰しゲイシャガールの美しい且つ不思議な服裝を面白くも奇しくも感じ喜んで居た或る夜の事日本人から滋器の立派な盃を貰つて嬉しくなつた、彼の滿座の中に立上つた英米人一流のウイットのスピーチである

僕は此立派な盃を親切な一日本からもらつた、これを親爺への土產にする考へだが、親爺はさぞ喜ぶだらう……いや〳〵これを持ちかへる時分には、政權は反對黨に移つて居るかも知れぬ、すると切角の此盃で飲むあの親爺の顏は一層晴かぬものが映るかも知れぬ……

一隅にヒヤ〳〵、と頻りにヘシヤグ白髮頭がある、これが日中は矢鱈しい大立物ヘルシャム卿であつた。日本の政黨者流は一體何時になつたらフェア、プレーが出來るかと解暮にも茲に憤慨して置く。兎に角、こんな氣持で、父に似たシッカリ者である。此小マック議士は京都會議後奉天に一泊して北平より上海に出てた、南京政府の要人は王外交部長主人となつて歡迎會を開いた。其席上彼は京都會議の有樣や英國管下の上海の共同租界の事を述べた、共同租界は其內に支那に返還はするが、自分がロンドンの市會や勞働一體の幹部をしての經驗から言ふと支那が今日の上海を自ら行政するには三十ケ年の實驗を要する位ど流石に甘いことをいつて巧に逃げて終つた。而して（ノース、チャイナ、デーリー、ニュース所載）彼は滿洲問題に關して率直に述べて曰ふ「京都では滿洲問題で日本側と支那側とは會議を決裂さするかと思つた位で、事實左樣な兆候もあつた。幸にして前數日間平和的の問題卽ち現代の機械文明が東洋の傳統的文化に及ぼす影響」などが取扱はれたは非常に好都合であつたと述べ支那の大官の前にも拘らず語を續けて曰ふ。

京都會議に於て滿洲問題の討論には支那は不利であつた。日本代表は松岡氏であつたが、彼は經驗に於ても、準備に於ても立派であつた。滿洲に關係の諸條約につき問題が起つた場合、彼は該諸條約を知悉其字句すら案んじて居つた。彼は滿洲に於ける經濟的發展が日本に負ふことや支那本土より數限りなく流入する人々が日本の治安下に喜び居ることや、ロシヤの南下、支那の防止能力なきことを極めて見事に論じた

反之、支那側は奉天の暗殺（張作霖事件）や、滿洲に於ける治外法權に對する批難や、日本が滿洲で經濟的のみならず政治的野心を有して居ることを怖れて居ることを訴へて居つた。雙方とも能く論じては居たが、兎に角双方とも對手方の言分に多少は何か感じた所が在つた樣であつた。

滿洲問題に關しては自分の意見は差控へるが、只一言すれば僅々廿四時間滿洲に滯在して感じたのは世界の如何なる地方よりも戰爭氣分一觸卽發が不斷の狀態に置かれてあることである。余は太平洋調査會の非常なる信者である。かゝる會の精神が廣がり各方面に亙り誤解が除かれゝば地上より戰爭を除去することが出來るのである。

之に對し王正廷は謝禮を述べた。

民政黨議長候補
賴母木、本田兩氏中推薦 院內筆頭總務には藤澤氏

【東京十八日發電】民政黨の院內總務につき十七日の總務會で銓衡を一任された富田幹事長は散會後首相官邸に濱口總裁を訪問し打合せをなし首相の裁斷に依り愼重審議することゝなつたが、院內筆頭總務には賴母木桂吉、小山松壽、中村啓次郎氏等の意向ありせぬので結局藤澤幾之輔氏に大體決定した、其場合は小山氏は院內に入り藤澤氏を助け、然らずんば來年一月の黨大會で本部總務となることになつてゐる、又藤澤氏は最初から議長候補となり居るが院內筆頭總務となれば今回だけ賴母木氏か或は本田恆之氏を議長候補に立て藤澤氏は解散後の議長候補として必勝を期したが良いとの意嚮が有力となつて來た

無產黨の選擧協定
日本大衆黨提唱

【東京十八日發電】來るべき總選擧に於ける無產黨の選擧協定は無產黨の進出が必須條件であるとして日本大衆黨では總に大會に於てこれが提唱をなすことを決定したが十七日の同黨中央執行委員會に於て左の如く決定した

一、社民黨並に勞農黨に對しては黨本部より協議委員會設立の提唱をなし具體的交涉をなす
一、各地方無產黨に對してはそれ〴〵各府縣聯合會をして交涉せしむること

右の決定に基き二十日更に常任執行委員會で組織の上各黨に交涉を開始する筈

つひに國際列車 布哈圖に引き返す
蒙古軍襲來し危險の理由で 懸念さる海拉爾の外人

【免渡河十七日發電】十七日海拉爾方面の外人の安否を確むべき重任を帶びた國際調査會は、支那軍當局の要求に依りやむなく十七日午後四時免渡河發布哈圖に引き返した、理由は呼倫貝爾に突如蒙古軍襲來し危險なりと云ふにある、支那軍は蒙古軍擊退のため物々しき戰備を整へてゐる、調査會は布哈圖で形勢觀望の上前進するか又は空しく哈爾賓に引返すかを決定する筈であるが、前途は恐らく絕望で斯く海拉爾の外人の安否は依然不明のまゝ推移せば同地の外人の運命は愈々憂慮さるるに至つた

布哈圖以西は殆ど 無人の境と化す
鐵道從業員十二名のみが殘留 支那側國際團を敬遠

【ハルビン特電十八日發】布哈圖に餘儀なく十七日引返した國際列車は最初札蘭屯で二三日滯在し露支兩軍當局と折衝する覺悟で出發し布哈圖に向ひ兎も角免渡河の最前線に辿り着いたが、布哈圖以西は流石に

戰時氣分 が濃厚で住民は露支人共避難し僅かに鐵道從業員が止まり二千の人口を有した免渡河は十二名の從業員が居るきりで居民家は大部分軍隊に徵發され唯一つすら殘つてゐないといふ掠奪振りロシア寺院內部の飾り物まで破壞され慘澹たるものである、電信技師で拉海爾から避難する際軍內に監禁された者あり、家族は同地に殘して居るは二行の海拉爾、滿洲里に向ふと聞いて可愛い妻子に音信を托しリストン米副領事の如きは託送品の身の上を傳へ一日も早くハルビン、滿洲里に行けば仕事にありつけるだらうかと不安さうに尋ね、露人從業員の八九割まではソウエート國籍人で他は白系の露人であるため支那軍憲は露語の出來る支那人を彼等の監視に派遣し嚴重監視してゐる樣は常識的では見られない、電報室、電話室に四、五名つめかけて監視してゐる、殊に一行の視察する事を極力避け

敬遠主義 をとつてゐた、併し露軍の攻擊が非人道的であることを宣傳するには輪に輪をかけて努め之に反し露國人は免渡河に對し一發も見ないと云ふに對し、面白き對照である、但し布哈圖の露機攻擊は猛烈で二百餘の爆彈を投下した事は事實である

滿洲里攻擊の際 日本婦人が卽死
市中商店九分通り掠奪さる

【東京十八日發電】外務省着電に依れば露軍は滿洲里攻擊の際飛行機より四十數個の爆彈を投下し甚大な損害を與へ支那人三名、露人三名卽死、支那人四名、露人七名の重傷者を出した日本領事館前に落下したのは領事館の十一の窓硝子を破壞し又滿鐵社員吉武氏は負傷し一婦人卽死した、之と前後して支那兵の放火、掠奪あり商店は九分通り掠奪されたが日本居留民は國旗を掲揚し四戶掠奪、一戶火災を蒙つた外無事である、滿洲里一帶は目下露軍占領下にある

奉馮妥協を畫策
吳光新氏近く赴奉

【奉天特電十八日發】日本內地に隱居して支那側政局の成行を觀望してゐる吳光新氏は近く來奉し張學良氏と會見の上根本的妥協策を講ずると傳へられてゐる

帝大理學部長更迭

東京帝國大學理學部長 中村清二
依願東京帝國大學理學部長被免
補東京帝國大學理學部長 東京帝國大學教授 松原行一

北寧線收入 融通交涉
張學良氏拒絕

【奉天特電十八日發】南方各地の軍費に窮るしく國民政府に迫つた中央政府では過般來張學良氏に對し北寧鐵道の收入を幾分なりとも融通するやう照會中であるが張學良氏は之に對し其收入は既に他に振り向けあるため送る事が出來ぬと婉曲に拒絕した

學堂教員資格問題

關東廳の明五年度普通學堂公學堂教員資格檢定試驗は一月二十二日から二十七日まで旅順師範學堂內に於て執行の豫定である尙右第一種より第四種まで全部施行さるゝのであるが今期受驗者は優に百名を突破するであらうと

關東廳辭令（十三日附）

陸軍步兵少尉正八位 大槻洋四郎
任關東廳水產試驗場技手
休職關東州公立高等女學校教諭 大熊充哉
復職を命ず
同（十四日附）
勳八等 渡邊猛
任關東廳警部補
同（十六日附）
正七位勳八等 立花知太郎
任關東廳郵便所長
同（十七日附）
關東廳技手兼關東廳水產試驗場技手 伏本政樹
免兼官
同
免本官專任關東廳水產試驗場技手 吉田稔
任關東廳農業試驗場技手兼關東廳農業試驗場技手 石井三美
技手
關東廳農事試驗場技手 蘆澤清見
任關東廳農事試驗場技手兼關東廳農事試驗場技手
關東廳農事試驗場技手 秋山松次郎
任關東廳技手兼關東廳農事試驗場技手

はいかる丸 十九日正午港着の豫定

人事

▲宇佐美滿鐵鐵道部長 風邪のため十七日から自宅にて療養
▲ウフトモスキー氏（露紙ザリヤ社記者）大連視察のため十七日廿時半着列車にて來連、ヤマトホテルへ
▲リヤーシンツイフ氏（ルスコエ スロヴォ社記者）同上
▲深水壽氏（鞍山製鐵所員）社務を帶び同上列車にて來連
▲村井啓太郎氏（滿銀頭取）開原支店開業披露の爲め十八日夜行で開原へ

安東齋子

昭和に新設された日滿倉庫會社の社長に內定したと傳へられる滿鐵木部庶務部長に御榮轉の祝辭を申上げると——▲ワシはまだ知らぬが此頃は滿鐵の社內に人事作製放送局が出來たと見えて、引切りなしの放送狀態のやうだ▲而も擴聲機が設備されてると見えてなか〳〵ヒドイぢやないか▲人事の如きは內定でなく決定でなければ何等有効のものではない、仙石總裁は此點を最も嚴格に取扱つてゐられるやうだが之は非常にいゝことである▲滿鐵に奉職してゐるワシ達は何處へでも命令通り行くが倉庫會社に行けとの命令はまだ受けてない▲從來ワシは倉庫會社と關係はないから內容は少しも知らぬ、業務課の方で仕事はしてるんぢやないかね▲所謂內命などは餘所事拔ひだが、滿洲は住みよい所だからノウ——といふ所どうやら內命の[illegible]があるらしい

特產

定期後場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百四十一車
▲普通大豆 出來不申

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬四千枚

▲豆油（保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四千箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 八十五車
▲包米 出來不申

現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保（袋込）	六五三〇	六五一〇
大豆（裸物）出來高	二十車	
普通大豆（袋物）	六四六〇	六四六〇
出來高	一車	
豆粕	二一八〇	二一七五
出來高	六千枚	
豆油	一七九五	一七九五
出來高	一千二百箱	
高粱	六三七〇	六三八〇
出來高	三車	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二百九萬圓

現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金八萬五千圓 銀對洋九千圓

商品

後場

麻袋（保合）
銘柄	約定期	値段
鐵筋	延十二月末	三〇、五

出來高 七萬枚

綿糸布 麥粉 出來不申

神戶特產（十八日）

品名	値段
大豆現物	[illegible]
先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株新	七一五〇	七一六〇
鐘紡新	五九一〇	五九一〇
大日糖	三四九〇	三四八〇
日郵船	九九〇	[illegible]
東新	不申	不申

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	[illegible]	[illegible]
品新	[illegible]	[illegible]
中先	[illegible]	[illegible]
先	不申	不申

東京株式（短期）

銘柄	後場寄	後場引
新	[illegible]	[illegible]
中	[illegible]	[illegible]
先	[illegible]	[illegible]

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]

	五品	東新
高値	[illegible]	[illegible]
安値	[illegible]	[illegible]
引値	[illegible]	[illegible]

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	[illegible]	[illegible]
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]

滿洲日報

議會は解散か 無産黨と新政黨

議院劈忙の折柄、帝國議會は例の如く開院式を擧げるのだが、實際の政治シーズンに入るのは來年一月末頃からであらう。解散斷行か、解散されたら何うなる乎、民政黨が全勝する乎、政友會はどんな風になる乎、一切の疑問を乘せて本年は暮れるのである。斯うした政治上の疑問は、來年になれば自ら解るであらうが、こゝに吾等の注意を惹起する一事は、無産政黨の現狀と新政黨の芽生え來つた事である。これ等の政治的新興勢力が議會政治のうへに實際的威力を示し來るのは、前途尚ほ多少の歳月を要するものとして、普選實施の今日、その邊の觀測をなすのも無益ではなからう。

◇

議會の解散された場合、無産政黨たる社會民衆黨と農民勞働黨とが選擧場裡にどんな活動をなすであらう乎、既成政黨に對する物議の多くなつた時節柄、彼等の行動如何は興味ある一問題である。だが恐らく大した活動は能きまいと思ふ。既成政黨といふ大敵を眼前に控へながら、彼等は相變らず同士打ち共喰ひ喧嘩をし、內輪揉めの醜態を暴露し、小異に捉はれて大同に就き得ないからである。政治界にも、經濟界にも、社會の間にも、我國には小異の爭ひが餘りに多過ぎる。大連市會の紛擾も煎じつめて見れば小異の爭ひに外ならぬ。小異の爭ひが多いのは、封建的割據思想の拔け切らないためと、島國根性がまた何處かに殘つてゐるためと、この二ツが原因であるかも知れない。斯んなことでは紛擾の絕えない封建的の支那を嗤ふわけにはゆくまい。

◇

畢に芽をふき出したと云ふばかりで、どんな花を咲かすか、どんな實を結ぶか、總べて未知數に屬する。日本國民黨と愛國大衆黨との結黨は、我國の政界における一新現象として、注目に値ひせねばなるまい。日本國民黨は十一月廿六日東京の青山會館において結黨式を擧げ、愛國大衆黨は十二月一日第一回全國準備委員會を青山神宮講會館において開き、來年二月ごろに結黨式を擧げるとのことであるが、その綱領や政綱および政策を見るに、無産政黨のそれを取入れたところがあり、そしてどちらも似たり寄つたりのものである。こゝにも大同に就き得ない小異の確執が窺ひ知られる。但しその質を吟味すると、前者は急進派の變形又は新裝、後者は保守派の變形又は新裝であつて、質と歷史からいへば、一體にあり得ないものと考へられるが、それにしても、似たもの〻對立といふことはおかしな現象である。

◇

試みに日本國民黨と愛國大衆黨との政綱を檢討して見やう。曰く一君萬民、君民同治、曰く重要產業の國家的統一、全產業の國家統制、曰く農民勞働者と小市民大衆の生活權の擁護、農民大衆と都市勤勞生活者との利害の調和、曰く有色人種の世界的解放、有色諸民族の解放、等々、いづれも似たり寄つたりのもので、根本に大きな相違はない。資本主義的特權政黨と國家を無視せる直譯的マルクス主義の無產政黨と鋭く對立し、その克服を謳す、といふ點も兩黨相ひ一致してゐるやうである。前に述べた通り、その異なる點は、前者が急進派より出で、後者が保守派より生まれたといふ、唯この一ツだけだ。この新興勢力たる芽生えの新政黨と社會民衆黨および農民勞働黨とが對立し、更に既成政黨たる民政黨と政友會と對立する事になれば、それは勿論近き將來に現はれぬにもせよ、我が議會政治の上にやがては一新期を作ることになり、悪くすると、ドイツやフランスのやうな小黨群立時代を現出するかも知れない。日本國民黨と愛國大衆黨とが社會民衆黨や農民勞働黨の如く大衆の生活權擁護を標榜してゐることも、注意すべき要點で、こは時代思潮の一反映と認むべきであらう。

◇

政府とその與黨とは議會解散を望んでゐる樣であり、反對黨の政友會はこれを回避せんと工風してゐる樣であるから、解散の如何はまだ分らない。しかし若し解散されたら、純社會主義の無產政黨と勤勞階級の生活權擁護を聲明せる芽生えの新政黨とは、選擧場裡において、何等かの活動を開始することであらう。解散と共に問題となつてゐる選擧界の廓清が行はれるなら、これ等の新興勢力にとつて都合のいゝ結果を招徠するかも知れないが、彼等のうちより多數の代議士を出すのは、まだ〳〵であらう。唯こゝに認められる一事は、議會の解散每に、我國の政界も漸次その面目を一新し來るであらうといふ事である。

先帝三年祭を迎へ給ふ 皇太后陛下御近狀
入江皇太后宮大夫謹んで語る

大正天皇葉山の宮居に神去りましてより早くも滿三年の星霜は流れて來た、來る二十五日には多摩陵と宮中皇靈殿で涙新たに三年祭が行はれる、この三ケ年の御歳月を青山東御所に御謹愼のうちに過させられる皇太后陛下の御近狀につき入江皇太后宮大夫は左の如く謹話した

◇

先帝神去りましゝより早既に三年になりまして今日より御大故當時を回顧致しまするに、實に恐懼に堪へざるものがあります。

◇

皇太后陛下には此の三年の間、御謹愼の上にも御謹愼遊ばされ、止むを得ざる時の外は公式の謁見並に行啓等の御事なく、固より御避暑、御避寒も仰せ出されず朝夕先帝の御影殿に御禮拜遊ばされ、さながらいませる君に仕へ給ふが如き御行には景仰し奉るほかありません。

◇

兩陛下を始め奉り御直宮、內親王及び皇族方の御訪問による御對面其他臣下の伺候の時御對面遊ばさるゝ外は御書見御修養等にいそしみ給ふのであります、大凡斯くの如き御日常にて別段定りたる御運動など遊ばされざるも御健康は頗る御良好にて三年の間是と申す程の御障りもあらせられざるは最も幸慶とする所であります。

◇

多摩陵には折々御親拜あらせらるゝ外、毎月二十五日の御日柄には御代拜として女官を差遣はされ御心盡しの御品々を御供へ遊ばされます、來る廿五日には御思出も深き御三年に相當致しますから其の前後に於て御陵に御親拜あらせらるゝ事と拜察致します。

◇

當東御所は假御所とは申しながら至つて御手狹にて街路に咫尺し、物の音騷がしきも一向嫌はせらるゝ御樣子も拜せず總て御簡素に住まはせ給ふは誠に恐れ入りたる次第であります、目下御造營中の實之の新御殿は稍閑靜なる地點なれば定めて御心靜かに過させられむ事と存じ上げます、新御殿は御趣味をも參酌して造營せられたるものにて至極御質素なる日本造であります、御間數等も御必要を超えざる程度のものなれど却て思召に叶はせらるゝ事と存ぜられます。

◇

三年の御心喪も來る廿五日にて終らせられ來春は高松宮殿下の御慶事新御殿御引移り等御目出度き事打續き晴々しき御樣子も拜する事でありませう、併しながら來年よりの御行啓若しくは行啓等に就きて世間にては色々と御想像申上げ說をなす向もありますが今の處にては未だ御治定の事も御豫定の事もこれなく畢竟來年となつてから追々御出される事と思ふ次第であります。

首相令息のお芽出度 濱口首相の二男巖根氏(三三)と福島縣師範學校長の令嬢富士子さん(二三)の結婚式は十四日日比谷大神宮で土方久徵氏夫妻の媒介で擧行〔寫眞は前列新郎新婦、後列左より濱口首相夫妻、土方氏夫妻、水町氏夫妻〕

![漫畫]

八ツ相

投書歡迎 中傷を目的とするものは採らず 新聞行數五十行以內のこと

滿電當局に注意
星ケ浦住人

十三日午後二時から翌朝まで星ケ浦線電車は事故のため全然不通となつたので滿電では臨時にバスを運轉してくれた、然し車臺が少かつた事と不潔の苦力の傍若無人の振舞とのため多くの乘客は實に長時間吹き卷くる雪と烈風の中に立往生するの外なかつた、殊に放課後の少年少女達はじめ多數の日本人達は見るも氣の毒で有つたが丁度來合した山滿電重役が之を見兼ねて吹雪の中を聲をからして斡旋し日本人少年少女達を優先的に自動車に收容して送り屆けさした事は目覺ましい働振りであつた只遺憾な事は水源地の滿電當事者は斯かる長時間の事故に對して何等の掲示も說明もしない、殊にバスは暫く時間より遊ばして置く時間が多かつた事と苦力の暴虐に對してポカンとして見て居た事等の野呂間さ加減である、最後にヤマトホテルのバスが自發的に援助活躍してくれた事は感謝に堪へなかつた、滿電當事者の反省を望む

電氣會社へ願ひ
一中學生

中等學生の通學回數乘車券では乘換が出來ません、之が出來るやうになれば我々中等學生はどの位助かるかわかりません、この事は當今の緊縮時代にも適ふのではないかと思ひます、何卒御一考を願ふ、出來る事なれば來春より實行して下されば結構です

京城覆審法院長 總督府判事 男爵 眞鍋十藏
退職を命ず
京城覆審法院檢事長 總督府檢事 草場林五郎
任總督府判事(二等)補京城覆審法院長
咸興地方法院檢事正 總督府檢事 堀勘治郎
昇敍高等官二等依願免本官
釜山地方法院長 總督府判事・ 橋本寬
昇敍高等官二等退職を命ず
京城地方法院檢事正 總督府檢事 長尾武三
補大邱覆審法院檢事長
大邱覆審法院檢事長 總督府檢事 境長三郎
補京城覆審法院檢事長
平壤地方法院檢事正 總督府檢事 赤井定義
任總督府判事(二等)補高等法院判事、退職ヲ命ス

鮮農自警團に解散を命令
支那官憲が不逞鮮人團から收賄

【吉林發】敦化縣黃土河子地方在住鮮農等は本春頃同地に設置された不逞團國民政府支部の爲めに金品の强徵を受くるに至つたので、同支部を撲滅して彼等不逞徒を驅逐する目的で自警團を組織して之れに抗して居た所、支那官憲は「何等の許可もなく斯る團體を組織するは不都合である」とて折角鮮農等の組織した團體にのみ解散命令を發した、そこで彼等鮮農等は數回に亘り代表を出して支那官憲に交涉を試みたが遂に容れられず、解散するの止むなきに至つた模樣であるが、右解散命令の裏面には支那官憲が不逞團國民府より大洋一千元を收賄し居る結果として不逞徒を庇護するのであると言はれて居る

朝鮮法官異動
【東京十七日發電】本日の閣議にて朝鮮司法官の異動左の如く決定した

露支交渉は廿日終了
正副管理局長直に實現か

【ハルビン十七日發電】ハバロフスクに於ける露支會議は十四日開始以來順調に推移しつゝあり、廿日午後には會議を終了し、奉派代表蔡運升氏は歸哈する豫定であるが、同時に新勞農正副管理局長ルウデイ、デニソフ兩氏外勞農幹部も一行と共に哈爾賓に乘込み正副管理局長の就任その他實質的解決を實現するものと觀測されて居る尚十七日東鐵管理局からは特別列車六輛をポグラニチナヤに向け一行出迎への爲め輸送した

南征雜錄 (62)
難波勝治

遺された沃地

東部臺灣と外界との交通に就ては、右の如く當局者不斷の行政的努力が傾注されたが、同區域內、即ち花蓮港臺東二州の縱貫鐵道にも苦心の痕が認められる、臺東線の敷設は明治四十二年度から九箇年繼續として著手され、大正六年十一月花蓮港王里間五十五哩の開通を見たが、更に大正十年七月より王里、里壠間二十四哩餘の三箇年繼續事業を開始し、その間臺東開拓株式會社所有の里壠より臺東に至る

二十七哩 の既設線を買收した、併し璞人埔、池上間の竣成に暇取つた爲に、全部開通したのは大正十五年三月で軌幅二呎六吋延長百七哩八分の鐵路建設に、前後十七年の星霜を經過した譯である、之は勿論人口の稀薄な富源の多い西部の開發策に忙殺された結果であらうが、人地生疎の東部施設が如何に困難不便であつたかを語る者である、交通機關の增設、殊に鐵道の開通は多大の刺戟を東部臺灣に與へた、それが著るしく今後の土地發展に資すべきは勿論

過去幾年 間に培かれた官業並に民衆に力强く元氣を鼓吹した、土地の面積からいへば總計僅かに八百二十八方哩、人口十三萬二千五百(昭和二年末)に過ぎぬ而も山岳の分布に於て平地七十六七方里、種族の類別に於て蕃人七萬三千九百八十九であつて、到底本島其の他の諸域と同日の論でないが、堅實な產業基礎を建設せんとする者に取つては實に有望な處女地である、北緯二十一度四十五分から二十五度三十分の間に橫はる臺灣が、如何に殖民的一大要素たる

氣候風土 に惠まれた地域なるかは言ふ迄もない、その中でも東部臺灣は南北中和の位置を占め、一年の平均溫度七十一度乃至七十四度、それが熱帶圈に踏るだけ植物の種類も非常に多い、唯問題は雨期に於ける河川の氾濫と、近く太平洋に直面する爲の颱風襲來とであるが、農業生活に就ての總ての要素を具備して居る、殊に西部が殆んど支那系の本島人に依つて壟斷されて居るに反し、東部は內地農業者の入耕すべき土地が多分に遺されて居る、之はその原因たる久しく蕃人の

橫行濶步 して居た爲であるが、それ等の種族も今は日本行政の治下に安住し、標悍であつた當時の野性は消滅して、寧ろ純朴な勞働力を重寶がられるやうになつた、試みに昭和二年末に於ける人口種別を見れば

種別	花蓮港	臺東廳
內地人	一二、四四五	三、七七八
本島人	一九、六〇九	一一、七六六
朝鮮人	一九	一〇
高砂族	三三、六〇八	四〇、三八一
支那人	一、三三〇	八〇〇
計	[illegible]	[illegible]

この中農業者は花蓮港廳に於て全人口の六割四分五厘、臺東廳に於て約八割を占め、昭和二年度の

耕地面積 は左の通りである

廳名	田	畑
花蓮港	七、三三五	一三、三五六
臺東	五、〇〇四	九、一四八
計	一二、三三九	二二、八〇二

即ち田畑の合計三萬の四千二百一甲歩だが、之を全可耕地面積に比すれば猶言ふに足らぬ、この事實は一たび東部臺灣を旅行した者の直ちに氣附く問題で、鳳林と玉里との間に大和平原あり、頭人埔から璞野までの間に里壠、月野の諸原野あり、更に臺東市西の卑南平野を望むに及んで、この小行政區域內に波の如き

大未墾地 ある事を驚嘆せざるを得ぬ、左れば久しく蕃人の巢窟として其橫行に任せた東部臺灣は、何れの日か之を開拓すべき新しい未耕者の爲に、保存されて居た約束の地だといへぬ事もない(寫眞はアミ族女子の田植姿)

滿日地方版

奉天

國際運動場愈よ設置に決定
十七萬圓で昭和六年に完成

太田前所長功績
在任は二年一ヶ月

百姓から巧に詐欺

遼陽居住農業郭永興(…)は同日遼陽より來奉し千代田通りを城内に向ふ途中一名の支那人が彼の側に來り「自分は田舍から來たもので奉天の事情が一寸も判らぬ」と稱し奉天の様子を聞き言葉巧に欺瞞して道連れとなし城内に向ふ際又一名の支那人が兩名と接近して何知らぬ振りをして追ひ越し所持してゐた財布を故意に道路上に落した郭を道連れとしてゐた支那人はその財布を拾ひ上げ中を見ると金票が三百圓も這入つてゐるのでその支那人は大喜びの色を示し之を二人で分配しやうと千代田通卅四番地裏の人影ない處につれ込み分配せんとしてゐた處そこへ先に追ひ越し財布を捨た支那人が他の一支那人を連れて來り「自分は道路上に財布を落したが君等二人が之を拾つて持ち去つた事を洋車夫から聞いて來た財布があれば直ぐ出せ」と云ひ出し詰問中郭と同道した支那人は自分は決してそんなものは拾はないと稱して懐より財布を出して見せ一方郭に對しても「君も出して所持する財布を見せたらよいではないか」と云つたので郭は現大洋百六十一元入りの財布を出した支那人は自分の財布と郭の財布を白布に包み郭に渡しそれを見た後より來た二人の支那人はそのまゝ姿を消した郭と同道した支那人はいかにもまことしやかに今の二人は怪しいから調べる必要があると稱して彼等を追跡し去つた郭は自分の財布と支那人の財布を所持してゐると思ひ追跡した支那人の歸るのを待つてゐたが一時間も待つても歸らぬのでその白布の包みをあけて見るとこはいかに財布と思つたその包の中には煉瓦の破片が二個這入つてゐたので始めて詐欺に掛つた事が判りその筋に屆出た目下犯人捜査中である

つらゝ 旅順支那街所見

社告
今般前田松藏氏元奉天入江新聞舗跡に於て滿洲日報の販賣に從事致候間此段讀者諸彥に御通知申上候

滿洲日報社

謹告
入江新聞舗從業中は多大の御眷顧を賜り深謝候 今般同店との關係を斷ち滿洲日報の取扱ひを開始致候間何卒一層の御愛顧賜度御願申上候

奉天春日町前田新聞舗 前田松藏

筆頭試問は行はぬ
奉中高女入試

奉天中學校並に高等女學校における明年度の入學考査は去る十三日大連に於て開かれた滿鐵中等學校長會議の決議に基き施行されることになつてゐるが昨年の變りなく奉天中學校では小學校側の內申を主として必要あれば筆頭試問を行ひ高等女學校では昨年と例によつても小學校の內申に何等缺陷を認めぬので內申によつて合格不合格を決定し筆頭試問は全然行はぬ意嚮である入學考査期日は校長會議で決定した三月四五の兩日で沿線は一齊に同期日に施行されるが第二志望も許されることになつてゐる

經濟問題意見交換
奉天商工會議所書記長野添孝生氏は經濟問題に關し滿鐵及關東廳の意見聽取のため十一日夜赴連した

石炭檢斤成績
奉天署では市內運搬馬車の石炭斤量につき十六日第二回檢査を行つたが今回は唯寶來號のみは廿四貫內外を以て一包としてゐるに對し廿二貫五百目、廿三貫の成績を除く外以前より良好な成績を納めた猶今後も隨時檢斤を行ふと

滿蒙の文化と產業
奉日の記念出版

奉天日々新聞は昨年を以つて創刊滿二十周年を迎へたが同社に於てはこれが記念の爲め四六四倍大の「滿蒙の文化と產業」と題する大…

僞店員飲逃げ

…册子を發行した內容は滿蒙の各種事情を詳記しなほ寫眞百數十葉を挿入しアート紙に印刷した記錄的の册子で該册子は母國の各官公衙會社等に無料頒布すると

十六日午前一時頃柳町十一番地料理店富田屋に浪速通近藤洋行店員藤原某と稱する男と他の一名とが登樓し十圓餘の遊興をなしたがいざ勘定となるや懷中無一文なるため金籌達に一時間の猶豫を願ひたいと云ひ出したので歸宅せしめたしかし何時間經つても一向來る模樣がないので近藤洋行に聞き合せた處さやうな店員は同洋行にはゐないとの事で始めて詐欺に掛つたことが判り奉天署に屆け出た

遼陽

高級學校の罷業惡化の傾向
縣長排斥運動起るか

遼陽の高級學校、師範學校等は今尚罷業狀態にあり、表面終熄の觀あるも其の內實は縣長が武裝警官を各學校に配置し毆打壓迫果ては檢束等の事ある爲め鳴りを鎭め居る模樣で、父兄の反感となり有志は遼寧省政治委員を訪問し學生の有志は東北大學學生會と連絡して縣長排斥の相談中だと云へば近く問題は更に擴發するものと觀られて居る

子供を人質に五千元を要求
千元で連れ戻す

遼陽城東光山子農王(…)山方に十六日夜拳銃を携へた五名の馬賊闖入、家人を脅かして現大洋五千元の提供を要求したが折惡しく現金の持合せがなかつた處、長男の小林子(…)を人質として拉去したので家人も驚き近所から借り集め現大洋一千元だけを潛伏の地點に持參可愛い子供を連れ歸つたと

來年度豫算準備會
十六日に開催

遼陽公費區に於ける五年度歲入出豫算の準備會は十六日午後一時半から地方事務所會議室に於て開催委員十名の外見坊所長、石岡、三澤兩係長、平原公費主任、委員會書記出席各款項目に亘り愼重審議されたが、工場移轉が實現せんか忽ち小學兒童百五十餘名の減少となるを初め各款目全部豫算の播き直しとなる傾向である

地方委員聯合會提案と出席者

奉天に於て新春早々開催される全滿地方委員聯合會には遼陽公費區から生田、安藤の兩氏出席のことに內定以に遼陽からの提出案は

▲地方生活を脅やかす既設無關稅驛動は少くとも一ケ年前に豫告せられたき件

町の便り

支那側では露支交涉の開始と共に露支事件の損害調査會を設け敢郞靈氏を會長として各委員を設け損害の實狀を調査する由

◇

彌生小學校の若荷、大谷及び畫人サボーツの三名は豫てから繪畫研究會を設け昨年第一回作品展覽會を開いたが來る廿二、三の兩日滿鐵社員俱樂部に於て第二回作品展覽會を催す由

◇

紳町松の家に小千代と名乘つた可愛らしい雛妓が出ることになつたのは大正五年生れの今年やつと十四歲になつたばかりで粹さんによろしくと流石に愛嬌がよい

◇

奉天浪速通某銃砲店々員藤田弘(三八)假名は十七日午前零時頃警察の許可を受け大連より獵銃用雷管一萬發、火藥二貫八百匁、實包二千發を十三列車に積み込み奉天に輸送の途中積込規定の目方より超過してゐるにも拘はらず無責任にも泥醉して亂暴を働くので危險極まりなく遂に普蘭店驛に下車せしめた

◇

近頃市內電話加入者に無代進呈として奬勵されてゐる大連カルラ社製作の職業別奉天電話番號拔書簿はその內容が全部加入者を網羅して居らず之れに洩れた加入者は常に不便を感じてゐるが從來民間に於て電話番號簿を發行することは種々の弊害があるため遞信局ではその發行を許可してゐない殊に今回のは公平を無視し廣告料を出したものゝみに限られてゐるので一般加入者から非難されてゐる奉天局では右に關し大連遞信局に照會中である

人事

▲猪子滿鐵々道部參事 十七日大石橋へ
▲鄭四洮路局副局長 十七日安奉線にて來奉
▲中村謙介氏(東亞土木重役) 十六日來奉
▲西村拓務省事務官 十七日來奉
▲辻村主計總監 十六日夜大連へ
▲周四洮鐵路局長 十六日夜來奉
▲ラチモア氏(米國人種學研究家) 十六日北平より來奉
▲折笠總領事館書記生 十八日內地より歸奉

瀋陽駄話

太田所長の後任は下馬評だに上らなかつた小倉社會課長の任命を見た▲滿材滿所は言はずもがなで月並の禮讃は止すとして前任太田所長の功績だけは讃揚大いに努めずばなるまい▲安東から一躍國際都市の所長となつた太田さんは藩籬無類一見頗る貧弱だつたが人は見掛によらずでその抱負經綸を行ふ道に奉天人士をして舌を卷かしめた其の行事は一々擧げるに遑ないが陸軍用地問題の解決などは非凡な事蹟である◇今や事情に精通し支那人側との關係も所謂好朋友となり、いよく手腕の發揮に移らんとする時氏を失ふは奉天として又奉天人として忍びないが御本人榮進の爲めとあれば是非ない▲好漢の前途を…

旅順

張宗昌氏が再擧を夢む
劉智明氏のお土產話

元張宗昌旗下承審處長と云ふ肩書を有つ劉智明氏は去る十一月九日張氏母堂張候氏に隨伴して別府なる張宗昌氏の許に至り本月十六日の香港丸で歸滿し十七日午前來旅張候氏及張氏第一夫人を歷訪懇談し同日大連に赴いたが別府滯在中の張宗昌氏は中央政府が反政府軍蜂起の爲め危地に陷れる狀勢に例の如くヂッとしてゐられないと見え機會を覗つて再擧を計らむと畫策し我々腹心の股肱數氏を南支方面に派遣して各軍の動靜を偵察せしめつゝあると

▲旅順 鹽島廣次郞、土屋公則、高野榮五郞▲大連 黑瀨始、松島仁平▲小崗子 竹下又吉▲水上 永松增朗、伊東茂敏▲金州 藤井英夫▲貔子窩 河本三郞▲瓦房店 島崎成美▲大石橋 後鄕芳雄、吉田兵衛▲營口 大井幸太郞▲撫順 浦部東一郞▲鐵嶺 山口銀三、荒木通▲四平街 山內俊信▲公主嶺 安川伊八▲長春 長安武男

筆記試驗の合格者
警官高等科生

關東廳巡査の幹部候補者たる本年度高等科生合格者は口述試驗施行の結果筆記試驗合格者四十四名中左記二十名と決定昨十七日發表した

營口

地方委員會

昭和五年度歲出入豫算諮問の爲十八日午後一時から地方事務所會議室に於て地方委員會開會

柔劍道の納會

武德會營口支所では二十日劍道は午後一時から柔道は同二時から警察署道場に於て納會を行ふ、試合終つて柔劍道の型もある筈

撫順

銃器を揮ふ強賊橫行す
十六日市中二ヶ所で
殺人掠奪の暴狀

十六日午後八時頃本籍河北省現住撫順驛前新市街兩替店金潤軒(…)方に兇賊侵入出先きより歸宅せる金潤軒に拳銃を擬し現大洋二十五元を强要中店員張某が官憲に急報せんと裏口より出でんとするや張の後頭部に二發の貫通銃創を負はせ是を即死せしめて逃走した、亦同日午後五時頃千金寨後新市街の主起有(…)同寶武順、同靈福河(…)出玉山(…)譚振凱(…)方を軒別に疾風の如く五人組の拳銃强盜押込ひモーゼル、ブローニング拳銃を突きつけ金票九十圓その他を奪ひ逃走何れも犯人不明

撫順炭發送狀況
昨今の書入時に波瀾重疊

石炭需要書入れ時の十二圓位撫順山元發送數に波瀾のあつた月は珍しい過般の吹雪以前の十二日は正炭社內炭のみ九百六十三車三萬一千七百七十九噸と云ふ巨量を示し撫順炭礦開礦以來の最高記錄を作つたかと思ふと十四日は例の吹雪に祟られ就轉三百三十車その翌十五日は更に二百五十四車に激減してゐる、結局山元では

貨車廻入 さへ順潮なれば何時でも前記發送實數の示す如く九百六十車乃至一千車の發送準備は出來てゐるのであるが事故頻發の缺車につぐに缺車を以てする關係上發送最高記錄を作り乍ら十七日現在では十二月の山元發送計畫數

一日平均 八百五十車、計畫數二萬五千七百十七車に對し計畫數より約二千十車の缺車を示すの外なき狀態である、大月も餘す處十日であるが果して計畫通り發送し得るや否やは一に貨車の廻入如何に依りて決せられる有樣である

圖太い華人請負
出資者と勞働者を喰物に
二千餘圓を拐帶逃走

右は本籍山東省現住撫順平康里陽…こと曹…鐸方土木請負業大倉組下請…と云ひ本年九月以來大倉組の下請をなし請計畫的に多數の勞働者や出資者を見事ペテンに掛け金票二千七百圓を拐帶して十七日未明何處ともなく雲隱れした圖々しい男がある、はお互に分配するとて言葉巧に市內西六條三十二…に現大洋四百元同裕…恒には食料品金票四百圓、奉天萬東公司には運日人夫百五十人その賃銀一千圓その他出資せしめ工事完了するや本月十四…大倉組よりは工賃二千七百圓を請取り當初の契約を全然履行せぬのみか借りた金は勿論年末に食料もなく困へてゐる多數勞働者に一文の賃銀も拂はずかねての計畫通り遁走したものであるとの理由で十七日午前各關係者より一件書類を添へ撫順署司法係へ訴へ出た

撫順
撫州外卓球個人選手權大會
二十二日開催

二十二日午前九時より千金小學校に於て撫順體育協會主催撫州外卓球個人選手權大會が開催される奉天安東、長春、鞍山等の各猛者連の出場申込み殺到し大に盛況を期待されてゐる、ルールは滿洲卓球會の規則によりゲームは五回、使用球はBA印

煤都雜信

昨十八日午後六時半より新公會堂に於て滿鐵社會課主催社員家族慰安活動寫眞會松竹映畫時代劇「小金井小次郞」全八卷現代劇「雲雀鳴く里」を映寫頗る盛會を呈した

◇

撫順に於ける關東廳よりの貸付資金五萬圓を基金とする小口金融組合はその設立準備全く完了同組合書記谷口氏は十八日・坂倉事務主事は二十日ごろ來撫の筈で各組合員への貸出實施期は一月下旬はまづ間違ひないと見られその金額は大した事はないが小商人連は大いに助かると喜んでゐる

安東

貯金週間の初日頗る好成績
貯金加入者百七十五
降雨中に係員大奮闘

滿洲公私經濟緊縮委員會が全滿的に行ふ貯金奬勵運動の貯金週間の第一日の十五日は日曜で且つ年末多忙にも拘らず安東郵便局では局員十名を各方面に派して戶別訪問をさせ大に勸誘に努めた結果貯金口數百七十五、貯金高五十一圓八…ゝある

十九錢と云ふ初日としては可なりの成績を上げ引續き十六日よりは每日局員五名を市中に巡回させ勸誘せしめて居るが局員は連日の降雨中を戶別訪問して他地方に劣らぬ好成績を上げんと極力奮闘しつゝある

公費滯納で大頭痛の安東地方事務所
近く聯合會で對策協議

安東公費の滯納は全滿一との稱ある位にて此の弊風一掃に就ては地方事務所側では頭を痛め地方委員に於ても每年其善後策に就き研究を重ねて居るが現在の制度としては强制的處分の方法なく今尙六萬餘圓の滯納額を兩し來年度豫算を目の前にして當事者は頭痛鉢卷の態であるが愈々地方委員會と計り此の弊風を一掃することに決し近く委員區長の聯合打合會を開催し其方法を講究する筈であると

故飯島曹長敍勳

客月五日141所の危急を救ふため勇戰奮闘遂に壯烈極まる名譽の戰死を遂げた故飯島曹長は今日勳八等に敍せられ白色桐葉章を授けられた

地方委員會
十八日擧行

十八日午後一時地方事務所會議室に於て昭和五年度公費豫算審議のため地方委員會を開催した

廣告

電力需要の激增
來年度五十萬圓の豫算で
滿電支店の施設

南滿電氣安東支店の電力需要狀況は兩三日前迄は二千キロ內外に過ぎなかつたが、增加し現在では其總額の四千キロ內外に激增した、剩さへ從來一ケ月六十萬キロ消費の鴨綠江製材と三十萬キロ內外の需要者たる新義州王子製紙工場とが事業の發展に伴ひ前者は五萬キロ後者は約三十萬キロの需要增加の必要に迫られ、鎭江方面に於ても逐日增加の傾向があるので來年度に於て約五十萬圓の豫算を以て發電所並に機械の增設をなすことに決定し、來年の解氷期を待つて大連の電所より五千キロの機械一臺を送付し來り同時に据付工事に着手することゝなつた、同支店は最近鴻原洋行を買上げ營業部を增築して業務を擴張し今又發電所增築並に機械の增設を見るに至る等同支店近來の發展振り蓋し目覺ましいものがある

安東機關區の獻金
四百圓に達す

安東機關區では豫て國債償還獻金の募集中であつたが締切當日迄に四百八圓四十錢に達したので藤區長から地方事務所を通じこれが送金方を依賴して來たと

大石橋
積雪中の猛練習

來る二十四日當地守備步兵第三大…

第七回滿日勝繼碁戰(乙組) (第三回)

イ ロ ハ ニ ホ ヘ ト チ リ ヌ ル ヲ ワ カ ヨ タ レ ソ ツ

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

—【4】—

家庭科學　ミツワ家庭欄　（二十・四）

ストーン・ヘンジの話（下）

歴史の曙光がさし初めた時から三四千年も以前に於ける、眞夏の朝の、ウイルト・シヤイヤの高原を思ひ浮べて見ませう。ほの〴〵と頽して來る東明の、炬火の光は、次第に寄み行く。並樹の様に立つた石柱の中を、通つて行く僧侶、酋長達、一般の男女、裸體の子供達の列が通つて行く。僧侶は、皮と角と恐ろしい色に塗つた面で不思議ないでたちをして居る。酋長達は、齒の首輪で飾つた皮を着、槍と斧を持ち、のびて大きい髪を、骨の針でとめてある。女は、皮や麻の衣を着て居る。

彼等は遠い所から集つて來て居るので、スイルベリーの丘と董石の間の土地には、此人達の野營が點在して居る、祭の様な樂さが此あたりに行渡つて居る、此群集の中を、指命された犠牲の人々が、柔順に、餘りなく進んで行く。彼等が其處で死ぬ事になつて居る遠くに燦る祭壇を瞻めながら進んで行く。收穫が豐かになり、種族が殖えて行く爲の犠牲である。

濕の濱の泥にある出發點から、三四千年以前までに、生命は斯う云ふ状態に進歩して來た。

これが、小説家であり、歴史家であるエッチ・ジー・ウエルスが、ウイルトシヤイヤにあるストーン・サークル即ちストーン・ヘンジの起原について下した臆説であります。

も一つの臆説は斯うであります。ジウリアス・シーザーに巣窟や森や洞穴の居住者として記載された古代ブリトンの賢者である僧侶が、天文觀測所か寺として此のストーン・ヘンジを建てたと云ふ説であります。

イギリスのジエームス一世の建築家であつたイニゴ・ジョーンスは、此のストーン・サークルを調査して、その紀元を僧侶に歸する説を攻撃しました。僧侶は之を用ゐたかも知れない。けれどもストーン・ヘンジは、僧侶の起るよりは、幾百年も前に建てられて居たと云ふのであります。

一萬二千年から二萬年も前に、牧畜を始め磨製石器を作つた人間が、地中海の盆地、西アジヤ、北アフリカからヨーロッパへ進みました。彼等は穀物を蒔いて收穫する事を始めました。彼等は不思議な推理から人間の犠牲が豐作穫を助けると考へました。到る所にピラミッドと築山、天文觀測の爲の石の周列を建てました。

長い間辛抱強く探究した後、今日に至るまで、ストーン・ヘンジが三四千年以前、如何云ふ目的で建てられたものか、確かには分らないのであります。

法廷の爲であるか、酋長や、王達が儀式の集會の爲に建てたか、人間犠牲を捧げる太陽の寺か、死者に對する儀式の廣場か、誰にも分らないのであります。

□指先と眼

はつきりと澄んだ眼は、顔を生々と見せるものであります。濁つた眼、眼不足や酒などで赤くなつた眼は、顔全體まで、曇つて居る様な印象を與へるものであります。

手先指先も、あれたりして居りますと、丁度此の濁つた眼の様に、はつきりしないものであります。

年末、年始には、人と會ふ折も多い時で、先づ眼、指先と眼に立ちます時でございますから、はつきりと見える様な指先にして置き度いものでございます。

ミツワ雪の素を脱脂綿に浸して、これを皿に入れて、水をお用ひになるお臺所に置きまして、水をお用ひになりました後、きれいに濕氣を拭きとりまして、指先を此の脱脂綿に浸して、雫を、指先から手の甲へ擦り込む様にしまして、ねと〳〵と殘つた分を輕く拭きとつて置きますと、手先、指先のあれを知らずに過せます。

これは膚の營養を助けて、肌理を細やかにする健膚液ですから、戸外から歸つた折、湯上り、水を用つたあとなどに、これを用つて居りますと、膚があれず、ひゞやあかぎれも出來ずに過せますことになります。

これからの寒い折に、あれ性の方は、指先のあれない内から、これをお用ひになる様におすすめいたします。

□高價な石鹸が必ずしも良質ではない。

日常の家庭生活に用ひます石鹸も、之を見分ける標準がありませんと、つい人に頼る事になつて、高價たから質がいゝたらう、廉價たから、ものも惡からうと云ふ考へにもなり勝であります。けれども、石鹸にいたしますと、原料や製法は、最上等を盡したところで、決して、さう高價になるものではありません。舶來石鹸の高いものなどは、輸入税とか、香料とか、包裝とかに贅澤を盡すから高價にもなりますもので、これは、石鹸の根本の品質とは關係のないものであります。

石鹸のいゝ惡いを、先づ鑑別けますには、泡立ちを見ることでゞす。泡立は汚垢を除る力と密接な關係のあるものであります。

泡立の惡い石鹸は、汚垢をとる作用にも力がありません。と云つて、餘り大きい泡の立ちますものは、刺戟性の伴ひ易いもので、膚の爲によくありません。細かな泡が豐かに立つて、よく持ち續くミツワ石鹸の様な石鹸が、膚を刺戟することもありません、又除垢作用にも力がありますし、經濟からもお徳です。

溶解の力から見まして、溶解の惡い石鹸をこれからの寒い時、水で溶いたりすると、考へるだけでも痛々しい様です。と云つて、溶解の過ぎる石鹸は、必要以上の量が溶けてしまつて、不經濟です。必要な量だけ樂に溶けて、途中で溶崩れがせず、三倍以上保つミツワ石鹸が、膚の爲にもよく、お徳用です。

□聾のトーキー

發聲映畫が、ブルックリンでは、物が聽くに困難な人にとつての娯樂の源泉になることを証明して居ります。此處では、劇場の一區劃が、聽力を損じて居る人の爲に、特に聽覺の設備が取つけられて居ります。その區劃の席はそれ〴〵受話機とかぶる冑と萬年筆の様な電信計があります。調節ボタンが此の器械にとりつけてあつて、聽く人の必要に應じて音響の量を調節するのであります。

政府の統計表に從へば、合衆國には千五百萬の聾者があります。その人々の大多數がトーキーを觀に行くことは出來まいと恐れて居た所に、此音の聽かれるトーキーに接して驚いて居ります。

文藝

劇壇近事 帝劇の經營難

青木實

【二】

過去二十年來、自己の座付俳優をもち、劇場を所有し劇壇に獨歩の道を進んできた帝劇が、十二月興行を最後として、今後の經營、興行の一切を擧げて、松竹の手に委ねるに至つた。

一時は松竹と對立して劇壇に覇を爭ふかとみえた彼の帝劇が、その敵手に城を明け渡すに至つた理由としては、毎興行の缺損に續く缺損がつひに經營困難を招いだといはれてゐる。

震災後、缺損なしに興行をした月が、たつた一回ときいては今更ながら驚かされる。或ひは、帝劇なればこそよく今日まで持續したと言ふべきかも知れない。一般經濟界の不況とはいへ、何故帝劇のみが、毎興行ごとに缺損をつゞけたのであらう。そこには當然なんらかの原因がなければならないと思ふ。

今こゝに、いろ〳〵と直接、間接に、その根元となるところはあるだらうが、一寸頭に浮ぶその二三を擧げてみるに、

一、帝劇座付俳優が固定するため倦かれやすいこと。
一、帝劇といふ小舍が歌舞伎劇上演に適切でない點。
一、帝劇、特ともいふべき女優劇が、一部有閑階級の惡趣味から、半裸體の陳列品にまで成下つた。これがため觀客の好劇心を失墜させた。
一、舞臺監督の權威行はれず、主要俳優の專橫に任した點
一、時代錯誤ともいふべき樂屋內部に於ける舊制度の殘存
一、觀劇料の高價及び官僚的なる客扱ひ
一、狂言選定に對する保守主義、新作物上演に案外無關心であつた點

等々を擧げることが出來る。尙、見逃すことのできないことは、一時的に歌舞伎劇に對して、民衆の支持が、弱力となり、多くを期待しなくなつた點である。

以上列擧した點が、相關聯して帝劇を經營困難におち入らしめたと言つてよいだらうと思ふ。

一例を擧げてみるに、十一月興行に帝劇が上演希望した「野崎村」に對して、片岡仁左衛門は反撥的に「合邦」を主張した。「合邦」といふ芝居がもつ暗い味はひは、決して今の觀客の好劇心をそゝるものではない。今のやうな世相には「野崎村」なぞの方が輕くて、小味があつていゝのだが帝劇としては、一俳優の前に何らの權威もないのである。勿論、仁左の主張通り「合邦」は上演された。元來、仁左といふ俳優は、劇場の要求に對しては反撥的に出る人とのことだが、彼をして斯くの如く我儘に導いたには劇場側に誤ちがなかつたとは言へまい。

十二月興行には、菊池寬作「東京行進曲」といふのが上演されたその舞臺稽古に際し岸田國士は舞臺監督關池及功氏の失言に憤慨して、臺本を投げ出して歸宅してしまつたこの間にいろ〳〵とうるさいいきさつがあつて、結局、關池氏が舞臺監督を辭して、やうやく岸田氏を納得させ出演を得た。

これらは俳優專橫の一例にすぎないが、推して一般を知るに困難ではないと思ふ。

帝劇の、松竹合名社への克服は日本劇壇に、松竹王國を樹立した譯である。世これを稱して松竹トラストといふ。

『未來のうへに』 宮原欣氏の創作を讀む

大内隆雄

—承前—

ぎに、支那の現實の巧な描寫を私は強調すべきであらう。宮原氏の力ある、簡潔で、克明な能力と、巧妙な活術をみよ。世界の誰が支那の現實の社會を斯くも迫力を有たしめて彫り刻んだか？

「……苦力になんねえ、呑氣なものだよ。けれども實際はそ、呑氣でもない、機械に關する工場方面の苦力になると、何かの會に加盟して居て、種々と運動がたえないらしいや、しかし思ふのに、終局何さ、政權や、州務廳がどうなつても、苦力の世界も近づいてくるよ、おらはそれを知つてゐるよ……力の勝利といふ時代になるよ、勞働者の天下もくるよ……」(三五五頁)

いやそれや止すがよい。勞働ほど氣樂な割のよいものはない商人になれば朝も晩も、嘘言で暮さにやならない。そしてうまく儲けて百萬の富を積んで見ろもう人間ではない。守錢奴だ、金持だといふて大きな顏をしてゐて太つてゐる奴らは、人間ではない。あれは野獸だ、二人前三人前いや千人分萬人分の生活費を一人で冗費してゐる奴らだ……」(三六四、五頁)

かりに、現實支那の描出の點からのみ言つても、この作は高き地位を占むべきだと私は強く言ふ。

次に、作者も「過去の」と斷つてはゐるが、可成りにながながと日本の家族制度を中心にした紛糾が展開される。戀愛の問題もあるが其處では舊い。主人公長井純一郎の場合を別としても、物語りの筋の發展の大部分は男女間のいざこざだ。小說が大衆に讀まれるためにはそれは本質的に必要なものであらうか？しかも、それ等はみな喰ふに困らない中產、上流の青年男女だ。それが、新しい日支の青年の代表者か？讀んでこの點に不滿を禁じ得ぬものは多いだらう？

——もとより、暴露小說としての意義は存する。しかし未來へ邁進しつゝあるものは彼等であるのか？

次に、農民と分配などに就いて考へることもあるが、創作を論ずる場合の根本的な問題ではないから他の機會に讓る。

以上、私は忌憚なく思ふ所を書いた。最後に簡潔に言ふ。

この作は、滿洲が生んだ、貴重な小說である。も少しはつきり言へば、在滿日本移民知識階級がその現實を書いた作である。九百六十頁、量に於ても大きいが、この小說は、質に於ける我々の重要なる問題を內包する。この小說を讀む者は、いま轉換期に立つ移民としての我々自身の自己批判をこれに要請されるであらう。第一にこの意味から、私は本書を滿洲に奬める。

更に、この作は、前言した如く支那の現實を強く彫り刻んだものだ。動きつゝある滿洲を映し出したものだ。——これが本書を賞むる第二の理由である。

社會を思ひ藝術を思ふけれども學淺い私の所感、作者並びに他の讀者の是正を願ひ、竊かに宮原欣氏の自愛を祈る(十二月一日稿)

文壇內輪話

其五—直木三十五その他

東京 南洋三

直木三十五は貧乏の札附だ。頭のウッスラと禿上がつたところ、また、丹前を何時も着た姿は、蝙蝠安を思はせるものがある。この直木は三年越しに市ヶ谷の牛肉店から貰つた肉代を一文も拂はない拂はうとて文なしだから萬已むを得ないにしても、牛肉店の主人も變つた男でこの貸掛代金〆て七百八十圓に及んでゐるが曰く

小說家てのは、一つあたりやア金が入つて來るもんだ。直木さんが借り疲れるか俺が貸しつかれるか、こゝんところは根氣くらべだ。どー〳〵御用を承つて來ねえ

こんな話は他人ごとながら、隨分うれしくなつて、仲間の文士共うれしかつたり、羨ましがつてゐるとは、文士の生活といふものは純なものだ。

老文豪田山花袋——と云へば、もう老人だから、世間ていにはひどく落ちついた隱居のやうに思はれてゐる、が、さて何處かに桁外れのところがある。

家は代々木だ。創作に疲れるとよく青山の通りを散步する、或日疲れて來たのでペンをすてゝ、羽織をひきかけ散步に出た。ところが、それは眞晝中、人通りのはげしい青山神宮前に、あのづんぐりした花袋が姿を見せると通行人はクスリと笑ふか、呆れたやうに花袋を振り返り〳〵見る、鼻たれ餓鬼は二三人、飴をしやぶりながら花袋の尻について行く、

「何んで俺を見て笑ふのだ」

花袋は氣色惡く、すた〳〵と足を早めてしまつた。散步が面白くなく、家の方にと足を向けたところ肩のあたりがいやに、こつ〳〵とつゝくし、痛くなつたので思はず手をやつた花袋は

「しまつた……」

と叫んで殆ど啞然になつた。花袋はぼんやりして、羽織を着るときに衣紋竹のまゝ着たのであつた。

家賃なんざ、二三ヶ月位ためて居るのは上の部だ、川崎市に住む詩人で市會議員の陶山は二十六ヶ月ため込んでけろりとしてゐるが陶山にはそこに立派な理窟をこねてゐるから笑はせる

陶山自身は人のために、家賃をとゞからしてゐるといふのだ。自分がキチ〳〵支拂ふのはいゝが附近のものが一月でもおくれたとき、家主に面目なからう。二月、三月家賃をためた勸め人など、自ら憂鬱になり、仕事の能率は上がらない。そんなとき、陶山を見ろ二年二月も家賃をためてゐる、二月三月、が何んだといふことになつて一服の清涼劑の役目をするからなア。

こんのにかゝつては、家主などたまつたものでない。

ひどいのになると、その日の小使錢に困つた名のない文士などは馴染の雜誌社に乘り込み、その月の雜誌を寄贈させ、歸り途にたゝき賣る、月初めなら一冊五十錢のが二十五錢には賣れるので、五、六冊、うまくやれば米代はあらうといふもの。

かういふ連中でも、原稿料が入れば、すぐ呑むか、遊んでしまふ。女あそびは多く玉の井あたりの淫賣婦のところへケシ込むことになる。こゝなら二、三圓もあれば上々で一夜を明かすことができるから——

死んだ芥川龍之介も、玉の井によくくり込んだもので、神經質な、蒼い顏の長髮の彼を見て、玉の井の女たちは化物だと云つたものである。

痛快な方になると、不良少年の閲兵式を正月元旦にやるのがある佐藤紅綠の倅の佐藤八郎、これは小說や民謠を作つてゐるが、どうしたのか不良仲間に顏が賣れ、目白、池袋あたりでは王者だ。この八郎が毎年、元旦になると、廣つ場に不良共を左右に整列させ御當人は自轉車に乘つて、そのまン中をスーッと走らせての閲兵振り、・・・・・キメツキテレツな閲兵式として有名だ。

八郎は、もう、暮れが近よつたので、文士連にこの閲兵式參列の勸誘をやつてゐる。案內された文士中には、眞面目になつてそれに參列する。もう、嫁も子もあり、頭のテッペンの禿たのが、二年越しに參列したのなどある。文士なればこそだ。

滿洲短歌會 十二月詠草

底石のあらはに見ゆる多川の淀みに落葉は朽てたまれり　宮士ふさ江

冬の雨音のさびしくたそがれぬかゝる日君のひたに戀しき　西內しづ枝

枯々の犬蓼の葉のゆれかすか時雨音なく過ぎて行きけり　境野一馭

山狹のひるの靜かさ冬たけて枯枯葉のをりをりに鳴る　鈴木千草

この如く人のいのちもはかなしと落葉踏みつつ染々おもふ　中尾千代子

冬林落葉の雨に行く我を夢見て覺めし曉の雨　井上壽光

井の底に落ちかさなれる葉の色にあたらしきありふるきありけり　內山義雄

氷のごと冷たく澄めるおんひとみもの思ふなと我にやのたまふ　菊地滿洲子

落葉木の梢さやさや搖れてゐぬ雨一ときを小止みたるまに　本間倭文子

乳色の朝靄ふかし落葉せる林よぎりて生徒らの行く　西島貞子

水上の落葉なるめりしかすかに流れのまにまに流れこの葉よ　松山みそぎ

足もとに裂く落葉のたわむれてやがて飛び去る木枯の夜　長谷川巖

西山の峰に夕日の消えて暮れ行く空にふくろ鳴き出づ　近藤銀子

谷川の底に朽たる落葉にも夢の世界はありしならんを　鈴木澄秋

冬の來てしのびやかなる雨ふれば寢ざめの床のなまめかしけれ　寺本初晉

初冬の雨降りそゝぐ向つ山道あるらしも番傘の見ゆ　阿部靏

つゝましき大臣のむねをかしこみて酒は酌まずてあら玉をほぐ　永原いね子

雜はくと腰かゞむれば冷々し土間にこぼれし石油は匂ふ　西澤流

櫟年の山越すあたり落葉おほく一人あゆめば寂しかりけり　末野稠

あけがたに嵐をさまり帆ばしらの折れたる船もありてひそけし　北一草

映畫界展望 一九二九年の記錄

—雨ふつて地固まる—

山村水太郎

一九二九年はもうすぐ暮れる、顧みればいたづらにあわたゞしい時の流れであつた。といふのは、この一年のあいだに、大連映畫界にいかに多くの問題が渦まいたかそれらは餘りにもみぢめな物語りであつた、陽で晴れやかで、愉快でモダーンで、人の心の底をチク〳〵とくすぐる、いはば魅惑的な戲劇を祭へ勝ちな、さらにもまた、所謂「斷然尖端を行く」この映畫界の噂ばなしが、いつも〳〵暗い影をそえてゐたのはどうしたわけであつたらうか。

中華學生映畫會の問題があつたかと思へば、興業映畫館のごたごたが續いて起る、それに配給ブローカーの問題だとか、やれ、どうのこうのと、餘りにもそれは、現實暴露の悲哀の渦卷きであつた、そこへもつて來て、腐つた屋臺の建替へ問題がやかましくなり、大日活といふモダン映畫館が出現したのにも拘らず、建築違反があつたとかで開館が延びる、またその古巢の空家が、家賃をまけて浪速町繁昌の爲めに復活する、まだ開けもせぬ常盤座が、きまりもせぬ映畫の宣傳を始める、いかに、それが商賣道の策略であつたかも知れないが、映畫人にとつてそれは正にうるさい世情轉變の姿であつた。

古い言葉だが、雨降つて地固まる、もうこの位の處で切り上げやうではないか、このいさこさを、一九三〇年に持ち越すには、あまりに新らしい年が可哀さうだ、願はくば來年には、きれいさつぱりと景氣のよいスタートを切つて輝かしい一九三〇年の門出を作らうではないか。

◇

一九二九年には、協和會館で三つの記錄が出來たと思ふ、それは「モン、パリ」を「チエペリン伯號來る」と「キング、オブ、キングス」とでなかつたらうか、だが細かくその三つの記錄を研討すると、何れもその情勢がちがつてゐるのに氣が付く「モン、パリ」は裸形の肉塊の踊りが大衆をうならした「ツエッペリン伯號來る」に對しては大連市民の期待があれだけ大きかつたのだ「キング、オブキングス」は多少教會側の手がはいつてゐたとも噂されてゐる、して見ると、この三つの記錄を映畫人はどう觀るのだらう、市中の映畫館が興行本位に上映するのと稍違つた意味にゐての協和會館が持つこれら三つの記錄は映畫人に面白い問題を投げるものでなからうか、見たまへ、これに反してあの名畫「ソレルと其子」が上映されたときの成績を、私だちには、おぼろげながらも大連映畫ファンの期待が察せられるではないか。

◇

一九二九年の收穫、それは何といつても「第七天國」と「灰燼」とであつた、そして、せめてそれに、も一つ加へれば、それはフオックス、ムーヴイートーン、ニュースであつた「灰燼」はわれらに日本映畫の進境を見せてくれたもの「第七天國」は所謂映畫藝術の香味を味はせてくれたもの、フオックス發聲ニュースに至つては、われらに、まだ滿洲だけにしか來ぬ發聲映畫の片鱗を見せてくれたものである。

◇

かうして、大連映畫界の一九二九年は暮れる。

[illegible]一九三〇年にはまだブランクだ、さあ、これで、とに角筆を洗ひませう、そしてその白紙へ來年は愉快な漫談を綴りたい、年の暮れになれば、いつも思ひ出されるものは「ゴールド、ラッシュ」のあのクリスマスの夜の蠟燭だ、そうしてあの爺さんの涙で唄ふオールド、ラング、サインとポンとピストル一發で踊り出す愉快な姿だ、このあひだ、冬の國の雪を見たあの麥子、しかもしぼり鹿の子の振り袖友禪で、人形のやうな都鳥を縫つて行つたあの麥子がいふのに、私は雪を見ると、しんみりとしたクリスマスの映畫を作つて見たいと、麥子でさへそういふからとて別に不思議はないが、年の暮は、お互にクリスマスの氣分になりたいね(一二、一五)

畏し皇后宮の思召
癩病の在滿邦人七名に
木綿縞織、裏地下賜の御沙汰
十七日關東長官宛

皇后陛下には今次歳末に際して斯く悲しき國民を御救恤遊ばさるゝ思召から十七日宮內省電報を以て、目下奉天赤十字病院にて療養中の邦人七名に對しそれぞれ木綿縞織一反、同裏地一反並びにお菓子料金七圓を御下賜あるべき旨太田關東長官宛御沙汰あらせられた、右御沙汰に接した長官は直ちにこの旨を內地併置の日本赤十字滿洲委員本部に移牒、奉天病院に通報すると共にこの限りなき國母陛下の御思召に對し厚く御禮を言上ある旨即日大森皇后宮大夫宛謝電を發信した

審理漸く終る
五日間にわたつて續行
十八日から證據調べに移る
滿洲共產黨事件公判

滿洲共產黨事件公判第五日目は引續き十七日午後一時より彌生高女生徒か多數傍聽裡に續行、午前公判廷に於いて裁判を拒否せる伊藤は保篠辯護人たる古賀辯護士に諭され裁判長の前に立つ伊藤は不愛想な口調で　鳥取縣米子中學四年修了後、松江高等學校に入學したが厭世思想に捉はれ

極端な 虛無思想に陷つたが、それを紛らはす爲寄宿舍に於て酒を飲んで暴れたところ、翌日寄宿舍の硝子を破壞し諭示退學となり、更に私立育英中學五年を卒業して鳥取縣の留學生としてハルビン日露協會學校に入學、昭和三年十月學生ストライキに連坐して放校となつた

經路を 陳述、更に裁判長との間に

「ストライキの時廣瀨が來たか」

「廣瀨君は當時和田遂三と名乘つて來たので廣瀨が本名だと知つたのは大連で逢つてからの事です」

「其時廣瀨は金を吳れたか」

「吳れました」

「いくら吳れた」

「十圓か二十圓か忘れました」

「他人から金を貰つて―しかも貧しい一學生から貰つた金を忘れるとはよろしくないぢやないか」

人に貸した事は忘れても良いがね―　と喩諭つて笑はせる、伊藤は更に

辯譯等 をしてゐた事を語り次でマルクス主義に關して

「國有にした財產は例へば土地等は個人が又國家から貰ふのか借りるのか」

「―借りるといふ事になるのですかね……よく分りません」

「日本の社會に對しては怎う考へてゐる」

「私有財產制度を廢止すべきだと考へてゐます」

「そしたら家屋の私有等廢止したら皆空家になつて了ひ誰が這入つたら良いのだ」

「そんな實際の事はよく考へた事はありません、唯無產階級が獨裁し、階級が無くなれば良いのです」

笑ふ聲 が聞える、次いでビラ郵送に就いて「常時偶然田中君の處へ遊びに行つて其仕事を手傳つたので法に觸れる等とは考へなかつた」と結び、二時半裁判長は十八日午前十時より證據調べに移る旨を告げ閉廷を宣す

極東オリンピックの
滿洲豫選會
明春五月四日に行ふ
體育協會で準備に着手

第九回極東オリムピック選手權大會陸上部競技は明年五月二十四日より二十八日迄（二十四、五日トラック、フイールド、二十六日リレー五種競技、十種前半、二十七日十種後半、オープン競技豫選、二十九日オープン決勝）東京に於いて擧行されるが、十八日滿洲體育協會にては全日本陸上選拔豫選大會よりの通知により大連にて同大會滿洲豫選會を五月四日に行ひ五月十七、十八の兩日東京に於て行はれる全日本の第二次豫選會に選手を送る事と決定したが右に就き林田體協主事は語る

萬國オリムピックや極東オリムピックの豫選は大抵春に行はれるので約半歳の冬期から漸く拔け切つた許りの滿洲選手に取つては非常な苦痛で兎角成績が思はしくないのも致し方ありますまい大連の選手達は一月十日頃から練習を始めやうとの話もありますから極東大會の準備には皆ベストを盡すでせうが零下何度と言ふ寒い氣候ですから滿足な練習は出來ず第二次豫選會から出場する選手に多くを期待する事は氣の毒だと思ひます

物價や勞銀調查
警察の手で
十七日の協議會で決定

今回關東廳より物價調查規定及び勞銀調查規定なるものが、制定され近く訓令の形式に依つて發令されるが右に關して十七日午後一時より大連署に目下關東廳文書課長、篠崎商工會議所書記長、岡谷市助役、滿鐵より二村社會課長及び市內四警察署長、警務主任、大連民政署よりも出席し協議した、從來物價取調べは州外は警察の手に依り行つてゐたが、

市內の 物價調查に就いては大連市內に於いては民政署、市役所、商工會議所等各自それぞれやつて居り、來年一月一日より實施さるべき右規定によつて一切右事務を警察の管掌に移しその統一を圖る事に決した

夫人の知らぬ間に
裏門から小橋氏の出頭
昨朝七時刑事の來訪を受けて
上大崎の自邸を出る

【東京十八日發電】越後鐵道事件に關し久須美東馬氏より二萬圓の金を東京ステーションホテルで受取つたと云ふ小橋文相は今朝七時五十分上大崎の自邸より

刑事同行 を以て檢事局に出頭した、これより先今朝七時過ぎ警視廳の金子刑事の來訪を受けた小橋氏は書生の取次ぐ名刺を見てすぐ大島絣の着物に黑羽二重紋付羽織、茶羅紗の外套を着て自動車にも乘らずそゝくさと裏門から出て行つた、鹿子木秘書も同行したが、これを見送つたのは書生だけで夫人は子供達の學校へ行く世話をしてゐた時で主人の引かれ行くのを知らず主人の居ないのは朝の散步のためとばかり思つてゐたらしい、後で

書生から 一部を聞いて夫人は流石いつもの氣丈に似ずおろおろして詰めかけた新聞記者にもまともに顏を上げ得ぬ程であつた

小橋氏は一旦法曹會館に入りそこで人目を避けて午前九時石郷岡檢事の登廳を待つて檢事局新館三號室に入り警視廳立山第二課長立會の下に取調が開始された、尙小橋氏の出頭は拘引狀なく任意出頭の形式に依るものである、小橋氏は單に證人の程度であり恐らく釋放されるものと觀られてゐる

大連丸損害
四、五萬圓程度

大連丸の失火に關してはその後水上署司法係大連汽船貨物係等もその損害程度に關し調査中であるが大汽が發表したところによると何分積荷が全部終了しない間は判然とした數字は判らないが船體自身には大した損害を認めないため貨物のみと見て概算四、五萬圓程度のものであらうと

海關保管の武器
近く南京政府へ送る

ドイツ汽船リツクマース號が齎載して來た武器百五十噸はその後海關の手にて寺兒溝危險倉庫に保管中であるが先般芝罘より國民政府の使として來る者が來り國民政府より同武器を引渡せと命令あつたと海關に對し種々交涉をなし同武器に關し世論が喧しくなつたが、この程國民政府より又復同武器を南京宛送附すべく當地海關に命令して來た、從つて同武器は不日南京に向つて送附の筈であると

僞せの航空軍曹
旅館で盜難の訴へ出
化けの皮を剝れ拘留十五日

十六日夜市內磐城町三杉旅館止宿香川縣生れ、平壤航空軍曹兩期兵山本某と自稱する男より旅館に於て約八十圓竊取されたと大連署に訴へ出たので直ちに刑事を派して嚴重取調べたが、何等盜難の證跡無く且本人の申立曖昧なので本人に就いて密かに內査せるところ、前夜逢坂町某妓樓に登樓せる際敵娼が密に財布を改めたところ僅かに三圓五十錢しか

持合せ てゐぬ事判明したので本人を嚴重追求したところ盜難の申立は宿錢が拂へぬ爲め、苦紛れの口實で本籍氏名も愛媛縣生れ中藤義信（二三）と云ひ肩書もでたらめな事と判明、大目玉を喰つたうへ氏名詐稱の廉に依り拘留十五日に處せられた

道路維持や
掃除協議

十七日午後一時より關東廳土木課大連出張所に川合關東廳衞生課長、竹內同土木課長、市より杉山衞生主任及び市內各警察保安、衞生主任等集り、大連市除雪、道路維持及び掃除事務に關して協議會を開いた、從來大連市に於いては車道の掃除は民政署、人道は市役所、道路修繕、塵芥掃除は土木課が行ふ事になつてゐたが、今後一切の事は市役所に讓り土木課は專心道路改良及び新設に從事する事を提議し市當局は經費の關係から

市會に かけたうへ決定する事となつた、なほ市より土木課に對し老虎灘文化住宅地域の下水施設を完備する樣依賴したが、これに要する費用約三十萬圓を要するので漸次實施するに決しその他市內住宅附近の道路掃除、塵芥箱の設置等について警察側で市と協力改善する事項等を決し午後四時散會した

私文書僞造で
貔子窩署員收容さる

貔子窩民政署員の不正事件として十六日召喚された貔子窩民政署雇譯生小柳仁及び法務係瀨川國太郎の兩名は、既に檢擧された細野定次郎及び高年某と共に高井檢察官の手に依り嚴重取調べられてゐたが、十七日午後六時半私文書僞造等の罪名に依り拘引狀を發せられ直に旅順刑務所に收容された

遲れ馳せながら
花代値下げ
愈よ大連三業組合が
明し花は從前通り

強て花代値下について協議中の大連三業組合にては幾度か流會をみて態度決定を見るに至らなかつたが遂に去る十五日の總會に於て左の改正値段を決議し十七日午後大連署より認可されたので、十八日再び協議會を開いて多分十九日か二十日より實施するに至らう、右改正値段によれば表面上二割値下げ斷行せるもの如くであるが

明し花 は從前の儘とし巧にその重點を避けてゐる

△花代一分　一時間一圓六十錢（但し花代一本四十錢一時間四本）但初の一時間は線香一本增（四十錢）貰ひ線香及び返し線香は各一本增

△約束花（三時間と定む）五圓二十錢

△明し花　自午前一時至午前九時二十五本（十圓）

△大仕切　自午前九時至翌日午前九時六十本（廿四圓）

△貸席　一席一圓六十錢以下

△飲食物　酒一本三十錢、ビール四十五錢　シトロン二十五錢、吸物一等自三十五錢至五十五錢、三等自二十五錢至三十錢、口取一等自九十錢至一圓三十五錢、三等自二十五錢至三十五錢、刺身一等自五十五錢至七十五錢、三等自二十五錢至二十五錢

『健全なる歌』募集

大日本聯合婦人會議聯社で目下右の歌を募集中、時宜に適した愛國的實業として大好評であるが、全國民の贊同投稿を希望する。

慌しい人の心を乘せて
疾驅するタクシー
雪が降ると餘り儲からぬ商賣
師走を行く（17）

車輪が疾驅する、ダイツクが走る、グラハムペーヂが滑る、フオードが搖れる、エセックスが喘ぎる、慌しい歲末情調にスピードとテンポが加へられて、何んとこれは颯爽たる姿ではないか？千九百二十九年と車輪の步幅が恐ろしい勢で嚙み碎いてゐるのだ。

◇

「おい九十五號ハイヤーだ」ぶるぶる車輪は寒天に悲鳴をあげる、ガソリンが文明の匂を煤んだ大連街路に漲らして行きずりの人に醜い僞りの香氣をあびせかけてゐる。

「これで三十四回目のハイヤーですよ、たまりませんね、だけど今のうちにうんと稼せいでおかなくちやあがつたりさあ、結局忙がしいのは年末ですよ、それに今日の樣に雪でも降りやオールナイトで五十回も出なくちやならない事もありますよ」

◇

大連にタクシーはどれ程あるか車はどれ程あるかそのうち自用車は幾臺か？この數は陸軍から絕對に秘密にする樣に固く命ぜられてゐる、だが大體の數はタクシー三十輛、車數は六百、昨年の四百臺に比較して恐ろしい跳躍ぶりである、この六百臺のうち自用車は約二百と見ても大差なからう、そして今この儚された年末の短い時日を氣狂ひの樣になつて走り廻つてゐるのだ。

◇

年末で雪でも降りや隨分儲かつてゐるだらう？こんな事を運轉手に聞こうものなら　お冗談でせう雪に降られてタイヤにチエンを卷いて走る段になると五十哩位のスピードを出すほどガソリンが要りますよ、結局うんとハイヤーに出ても儲けなんてそんなにありやしないんです　とくる、そこで忙しければ必らず儲けがあると定つてゐない事が裏書されてゐる、殊にタクシーの運轉手にとつて今一番つらいのは長く待たされる事で、十分も待ちしてゐるとガソリンが凍つてしまふ狀態である。

◇

昔、大連から老虎灘まで七圓時代があつた、今それが市內五十錢均一、逢坂町に入る車は四十錢といふ、そのうへ車を選ばれてガタつく車は後日にも掛けられない東京あたりのキザなモボは車の名を多數知つてゐる事によつて、そのモボ振りに箔がつけられてゐるといふ、とまれ慌ただしい年の瀨の巷頭を疾驅するタクシーの群はまた慌ただしい人の心を乘せて右に左に行交ふのである（寫眞は常盤橋交叉點）

支那貸座敷に
營業停止命令

市內宏濟街三三貸座敷業馬某は本年三月娼妓劉月卿（二〇）をその夫と稱する劉相巨より小洋七百元にて抱入れたが、馬はその際資金なきため劉、巨と連帶の上高利貸より劉月卿抱入れ金を借り劉に對し同借金を支拂ひたるも近來劉は小崗子六十二號に住せんとしたところ馬は前記高利貸より借り受けた利息を前借金に加へて差し引かんとしたので劉月卿は右の旨を小崗子署に屆出で保護を願出でたので同署にて取調べの結果馬は他にも許可なくして抱へ妓に高利貸より借錢せしめ更に許可なき抱妓に稼業せしめてゐる不正事實が判明したので十九日より三日間營業停止を命じた

六千哩無着陸
大飛行の壯擧

【イギリス、クランウエル十七日發電】ジョーンズ、ウイリアムス兩航空司令はチエンジャー機にて本日午前七時五十八分當地發ケープタウン又はダーバンに向つて六千哩無着陸飛行の壯途に上つた

雪で滑って
自動車轢く

市內文化臺一一二大倉商事會社員池一隆氏運轉手小原秀一（二二）は十六日午後九時五十分大連驛より主人池田氏を乘せて歸宅の途中青雲臺三十七番地先道路で雪のため自動車が橫に滑り折柄除雪作業中の市內□町一苦力王希臣外一名の作業員を轢倒し兩名は治療數日の輕傷を負つたが、治療費及び日給一日分を支給して示談解決

自動車追突

十六日午後一時五十分市內吉野町百番地滿電バス運轉手鈴木波平（二五）は自動車大一九一を操縱して監部通郵便局前にて前方にあつた北江町一七〇江慎濟（四〇）の人力車に追突し人力車は左右泥除外二十三圓の損害を蒙つたが加害者より二十圓を辨償して示談解決

けふのラヂオ

昭和四年十二月十九日（木曜日）

自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）

自午後〇時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース

自午後三時三十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース

自午後七時　ニュース

一、ニュース

二、支那語講座　第三十一課、滿鐵學務課、秩父固太郎

三、淸元舞臺劇　三千歲　唄淡月岡崎、臺詞田代賢二、三味線淸元延園松

四、筑前琵琶　豐公裂封册　法祭山、大賀旭染

五、地唄　殘月、三絃富森大檢校　尺八宮地泰風

六、支那唄　桃花甲、唱鵝舍桂

七、師付楊樹亭　料理獻立

八、天氣豫報

愛慾の窓 (192)

戸川貞雄作 淺枝次朗畫

審判(三)

「……まあ何うしたつていふんですか？ 貴方な眞似をなすつて、いつものあなたにも似合はないぢやありませんか」

眞知子は眉をひそめながら、まじまじと黒田の顏を見戍つた。

「だつて君、これが落着いてなんかゐられるか！ 君だつて聞けば吃驚して顏色を變へるにちがひないんだ」と、黒田は痙攣的な微笑で唇を歪めた「……小森さんがね死んじまつたんだよ！」

「えッ？ 小森さんが……」

眞知子も喫驚してさーつと顏色を變へてしまつた。

「そりや何ういふ事情なんですか詳しく詳しく話して下さい……」

「……工場の方へね、群馬の小森鑛山事務所から電話がかゝつて來たんだ……小森社長は銅山の爭議で向ふへ出張してゐたんだが、何でも鑛山技師や鑛務主任なんかと一緒に、銅山を視察してゐたらしいのだ。さうして第何番坑とかいふ坑へも入つたりしたんだね、その時、何でも瓦斯が起つて、みんな生埋になつてしまつたといふんだ……多分、もう助かるまいといふ報告なのだ」

「……まあ！ 飛んでもないことになつたもんですわねえ！」と眞知子は顫へる心臓に手を宛ながら

「……以前のあの人なら、わたし好い氣味だと思ふかも知れないわ……けど、小森さんもすつかり人間が變つて、これからはほんとうにわたし達の仲間になつて貰へるのにねえ……それに草野さんの次の公判には、大切な證人になつてゐるのよ……若し小森さんが亡くなつたとすれば、その方もまた一蹉跌だわ……」

「……僕の方もさうなのだ、もともと小森なら、われわれだつてざまあ見やがれ、天罰覿面だと笑つてゐるんだが……しかしあの人もすつかり心機一轉して、これからはわれわれプロレタリアの身方なんだ……今、死なれたら、折角の小森鑛山の方の問題もまた逆轉なのだ……」

黒田も腕を拱いて、眼をつむつた。

「困つたことになつたわねえ……」

「……しかし、まだ次の報告があるだらうと思ふんだ、工場の方からも、職工長が事務のお供をして群馬の方へ急行していつたから、その後の消息もやがて判明しようと思ふんだ……まだ、絶望とは云へんよ」

「さうね、それをせめても心頼みにするより他はないわね……」

「全くだ……可哀相に、あの人もえらい目にあひつゞけだな、全く災難といふものは、來る時には手をつないでやつてくるものならねえ……先代が殺人罪を犯す、自殺する、女房には逃げられる、そこへまた此度はこの災難だ……」

「……それもあの人がすつかり前非を後悔して、これから人間らしく生きてゆかうとしてゐる矢先にねえ……ほんとうに意地の悪いものねえ」

「世の中のことつて、萬事そんなものなんだ……だから平素からの心掛が肝腎なのさ！」

「……それにしても、倭文子さんは何うなすつたか知ら？ わたしあの方、草野さんの公判がすむまでは、決して自殺なんかなさるまいと信じてゐるだけれど……」

そんな話をしみじみと交してゐるところへ、格子戸が手荒に明いて

「……郵便！ 速達ですよ！」

飛んで出てみると、一通の封緘葉書で、眞知子宛に來た手紙、鉛筆の走り書だが、はつきりと裏には倭文子といふ文字だ。

「あら！ 倭文子さんからよ……」

彼女はおぼえず聲を出して叫びながら、おのゝく指で封を切つた。

――眞知子さま。

今日の公判、わたしは傍聽席の一隅に身をひそませてをりました。あなたのお姿を蔭ながら眺めて、心に永別を告げました。あの遺書が、辯護士の手から提出されたことを知つた刹那のわたしの歡び、危ふく卒倒しさうでした。よくあれがお手に入りましたのね。もうこれで思ひ置くことはありません。

滿日文藝

滿日柳壇 高橋月南選

『落』

落書に子は純悔を生き寫し　大連　泉意靜
立候補みんな落選せぬつもり　大連　華市坊
落付かれちと間の悪い胡魔り
落付いて見れば部屋中とり亂れ　旅順　夏山
落付かぬ騒動ヽ私服見逃さず
落胥の似顔先生にはつけられ　大連　滿山
落葉して胡麻並木明る過ぎ
落第の言譯け先生に鑑をつけ　春川　鶯樓
酒機嫌溝へ落ちたを言はぬなり　瓦房店　登志郎
下落する品へ御代の目が肥えそ
落成へサヲの國旗がひるがへり　大連　農夫
落武者は語り傳へんものもなく
落第も偉人となれば箔がつき　大連　愛申
墜落の夢も短かい留置場　萬家嶺　一柳坊
寢臺を落ちても夢は未だつゞき
落ちてゐる煙草の殻に苦力の目　大連　白山
一票の差で落選を悔しがり
昔なら眉も落すに鼎をぬり　大連　玉光
落札にほつと一呼吸年の暮　旅順　白樂
轉宅の手紙へ娘の落付かず
結婚がきまつて落付く女の子　旅順　都一
淺草に月影悲しさうに冴え

新刊紹介

▲醫學常識（第一卷）小畑帷清博士の婦人病の種々相、寺澤光德博士の小兒の榮養、出孫正道博士の姙娠と出産の三篇一般に判り易く記述されてある、家庭用醫學第二回配本、東京京橋加賀町九番西醫學豫約出版
▲菊池寛全集（第十一回配本）長篇小説「麥の白珠」に短篇小説廿七篇戲曲三篇を收録、平凡社版豫約出版
▲新青年（新年倍大號）、博文館發行定價六十錢
▲文藝倶樂部（新年號）博文館發行定價五十錢
▲講談倶樂部（新年號）大日本雄辯會講談社發行定價九十錢
▲ツーリスト（十一月號）定價金五十錢、東京市麹町區丸ノ内一丁目一番地ジャパンツーリストビューロー發行